

松戸市立博物館年報

第31号 — 令和5年度（2023）



松戸市立博物館
MATSUDO MUSEUM

はじめに

昨年、松戸市は市制施行 80 周年を迎え、松戸市立博物館の開館 30 周年、さらには千葉県誕生 150 周年という節目の年でもありました。

さて、令和 5 年度の当館の活動について、ご報告させていただきます。

春に館蔵資料展「どきどきクロノロジー」、夏に館蔵資料展「東北の伝統こけしと郷土玩具」、秋に企画展「あの日の“まつど” 一写真でふりかえる 150 年―」、そして冬には博学連携展示として「松戸探検 100 年前からのくらしのうつりかわり」を開催しました。これらの展覧会と常設展、さらには各種講座・講演会などを合わせた利用者数は 7 万人台に達し、ようやく新型コロナウイルス感染症の流行前の状況に戻りつつあることは大変喜ばしいことと思います。

また、「博物館アワード」につきましても、関係者の皆様のご協力により、これまでと同様に開催できましたことをご報告させていただきます。

日頃から「博物館友の会」をはじめ、多くの皆様のご支援・ご協力を賜り、御礼申し上げます。ただいま、博物館では総合展示室・主題展示室の全面リニューアルとこどもミュージアムの創設に向け、様々な議論を交わしています。そのような中、これからも市民の皆様に愛される博物館を目指してまいりますので、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

令和 6 年 9 月 13 日

松戸市立博物館

I	沿 革	3
II	施設の概要	5
III	事業の概要	6
1	常設展示	7
	(1) 総合展示	
	(2) 主題展示	
	(3) 野外展示	
	(4) 映像展示	
2	資料・企画展示	10
	(1) 館蔵資料展「どきどきクロノロジー」	
	(2) 館蔵資料展「東北の伝統こけしと郷土玩具」	
	(3) 企画展「あの日の“まつど” ―写真でふりかえる150年―」	
	(4) 博学連携展示「松戸探検 100年前からのくらしのうつりかわり」	
3	学習支援	37
	(1) 講演会	
	(2) 講座	
	(3) 体験学習	
	(4) ミュージアムシアター・プレイルーム	
	(5) 館内公開	
	(6) ガイドツアー（常設展示解説）	
	(7) 情報提供	
4	連携事業	46
	(1) 博学連携プログラム	
	①受入	
	②派遣	
	③事業	
	(2) その他	
5	調査・研究	52
	(1) 研究員の活動	
	(2) 学芸員の活動	
6	資料の収集と利用	55
	(1) 資料の収集	
	(2) 博物館資料の貸し出し	
	(3) 博物館資料の特別利用	
	(4) 資料の燻蒸等	
7	令和5年度 企画展・館蔵資料展アンケート結果	60
	(1) 館蔵資料展「どきどきクロノロジー」	
	(2) 館蔵資料展「東北の伝統こけしと郷土玩具」	
	(3) 企画展「あの日の“まつど” ―写真でふりかえる150年―」	
	(4) 博学連携展示「松戸探検 100年前からのくらしのうつりかわり」	
IV	組織と運営	64
1	組織	
2	歳出予算	
3	事務事業	
4	各種委員会等	
5	博物館利用者の統計	
6	来訪者	
V	条例・規則	69
	職員名簿	

I 沿 革

年 月	事 項
昭和39年12月	松戸市公民館に郷土資料室設置(50㎡)
昭和46年 4 月	(財)松戸市開発協会内に移転、松戸市郷土資料館となる。(227.47㎡)
昭和49年11月	松戸市文化ホール内に移転、郷土資料コーナーとなる。(330㎡)
昭和56年 3 月	松戸市文化ホールが博物館相当施設となる。
5 月	松戸市美術館(郷土資料館及び古文書館を含む)構想調査会条例制定 松戸市美術館構想調査会発足[委員 7 名]
昭和58年 8 月	松戸市美術館構想調査会、松戸市美術館(郷土資料館及び古文書館を含む)構想について答申(18回開催)
昭和59年 4 月	社会教育部内に美術館準備室設置
6 月	松戸市美術館(郷土資料館及び古文書館を含む)建設調査会発足[委員10名]
11月	松戸市美術館建設調査会、美術館について答申
昭和60年 3 月	松戸市美術館建設調査会、郷土資料館・古文書館について答申(7回開催)
昭和63年 9 月	市議会に文化施設建設対策特別委員会設置[委員15名]
10月	第4次総合5ヶ年計画で郷土博物館(仮称)建設決定 美術館準備室に博物館担当学芸員を配属
11月	松戸市立郷土博物館展示検討委員会発足[委員10名]
12月	建設用地を総合公園「21世紀の森と広場」内と決定 松戸市立郷土博物館設立懇談会発足[委員 8 名]
平成元年 3 月	文化施設建設対策特別委員会において建築設計事務所選定方式をプロポーザル方式と決定 松戸市立郷土博物館設立懇談会において展示の基本構想を決定
4 月	文化施設建設対策特別委員会において展示設計業者選定方式を特命方式と決定
8 月	総合公園「21世紀の森と広場」内に建設位置決定
11月	松戸市立郷土博物館建築設計事務所選定委員会発足[委員 8 名] 展示基本設計を(株)乃村工芸社に委託
12月	建築設計事務所を(株)佐藤総合計画に決定
平成2年 2 月	建築基本設計を(株)佐藤総合計画に委託
3 月	建築実施設計を(株)佐藤総合計画に委託
6 月	展示実施設計を(株)乃村工芸社に委託
9 月	博物館本体工事を大成・海老澤共同企業体と契約 博物館新築工事着手
平成3年 9 月	展示工事及び展示物製作を(株)乃村工芸社に委託、工事・製作着手
平成4年 1 月	外構工事着手
3 月	植栽工事着手
4 月	美術館準備室から分かれ、博物館開設室設置
6 月	建築工事、外構工事竣工
7 月	野外展示工事着手、植栽工事竣工
9 月	松戸市立博物館条例制定(館名「松戸市立博物館」に決定)
12月	野外展示工事竣工
平成5年 1 月	展示工事竣工 松戸市立博物館管理運営規則制定
3 月	松戸市立博物館開館(29日)
4 月	初代岩崎卓也館長就任 開館記念展(期間: 4月29日から6月13日まで)「松戸写真館—カメラがとらえた松戸の人々」を開催
10月	松戸市立博物館協議会発足[委員10名]

年 月	事 項
平成 6 年 4 月 6 月	機構改革にともない市立図書館より市史編さん係を移管 館蔵「千葉県幸田貝塚出土品」266点 重要文化財指定(28日付)
平成 7 年 6 月	博物館登録 千葉県教育委員会 平成 7 年 6 月 9 日 登録番号第30号 博物館資料数 4,385 点 （ 歴史資料 1,686 点 考古資料 2,650 点 民俗資料 49 点
平成 8 年10月	博物館等資料選定評価委員会発足[委員 5 名]
平成 9 年 3 月	博物館開館 5 周年記念特別展示(期間: 3 月20日から 5 月11日まで) 「シルクロードとガンダーラ」展を開催
平成10年 4 月	博物館事業として「自然史」を加える。(松戸市立博物館条例改正) 機構改革にともない市史編さん係を廃し庶務係に吸収する。
平成13年10月	観覧料に「共通観覧料」を設ける。(松戸市立博物館条例改正)
平成14年 6 月	松戸市立博物館友の会発足(16日)
平成15年10月	松戸市制施行60周年記念・松戸市立博物館開館10周年記念特別展示(期間10月11日から11月30日まで)「川の道 江戸川」展を開催
平成 20 年 3 月 4 月 10月	初代岩崎卓也館長退任 2 代関根孝夫館長就任 組織改革により、係制を廃止 ハイビジョンシアターをミュージアムシアターに改称 松戸市立博物館開館 15 周年記念特別展示(期間:10月11日から 12月 7 日まで)「縄文時代の東・西」展を開催
平成21年 5 月	市史編さん委員会に、原始・古代及び中世各部会を設置し、松戸市史上巻改訂事業に本格的に着手
平成23年 3 月 4 月	東日本大震災発生(11日) 観覧料「中学生以下は無料」となる。(松戸市立博物館条例改正)
平成24年 3 月 4 月	2 代関根孝夫館長退任 3 代望月幹夫館長就任
平成25年10月	松戸市制施行70周年記念・松戸市立博物館開館20周年記念特別展示(期間:10月 5 日から11月24日まで)「松戸の発掘60年史－市内の遺跡を再検討－」展を開催
平成26年12月	松戸市立博物館等資料選定評価委員会設置要綱」を条例化し、「松戸市立博物館等資料選定評価委員会条例」を制定(平成27年 4 月 1 日施行)
平成27年 2 月	『松戸市史 上巻(改訂版)原始・古代・中世』を刊行
平成30年 4 月	松戸市立博物館管理運営規則第 5 条の観覧料の免除等の(1)「大学生及び大学生以下の者を引率する者」を追加、(3)「身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者」の市内要件を撤廃
平成30年 9 月	松戸市制施行75周年記念・松戸市立博物館開館25周年記念特別展示(期間: 9 月22日から11月25日まで)「ガンダーラ－仏教文化の姿と形－」展を開催
平成31年 3 月	松戸市制施行75周年・松戸市立博物館開館25周年企画展示(期間: 3 月 9 日から 3 月 24 日まで)「日本の太鼓・世界の太鼓」展を開催。21世紀の森と広場に所在する21世紀の森と広場公園管理事務所、森のホール21、および当館による初の連携企画。
令和元年10月	消費税率引き上げに伴う観覧料改定
令和 2 年 4 月	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館(3 月 2 日から 3 月31日まで)
令和 4 年 3 月	まつどデジタルミュージアム開設 3 代望月幹夫館長退任 4 代渡辺尚志館長就任
令和 4 年 4 月	組織改編により、松戸市教育委員会生涯学習部文化財保存活用課博物館となる。
令和 5 年 4 月	「松戸市立博物館リニューアル基本構想・基本計画」策定
令和 5 年 9 月	松戸市制施行80周年・松戸市立博物館開館30周年記念企画展示(期間: 9 月23日から11月12日まで)「あの日の“まつど”－写真でふりかえる150年－」展を開催

Ⅱ 施設の概要

建築の概要

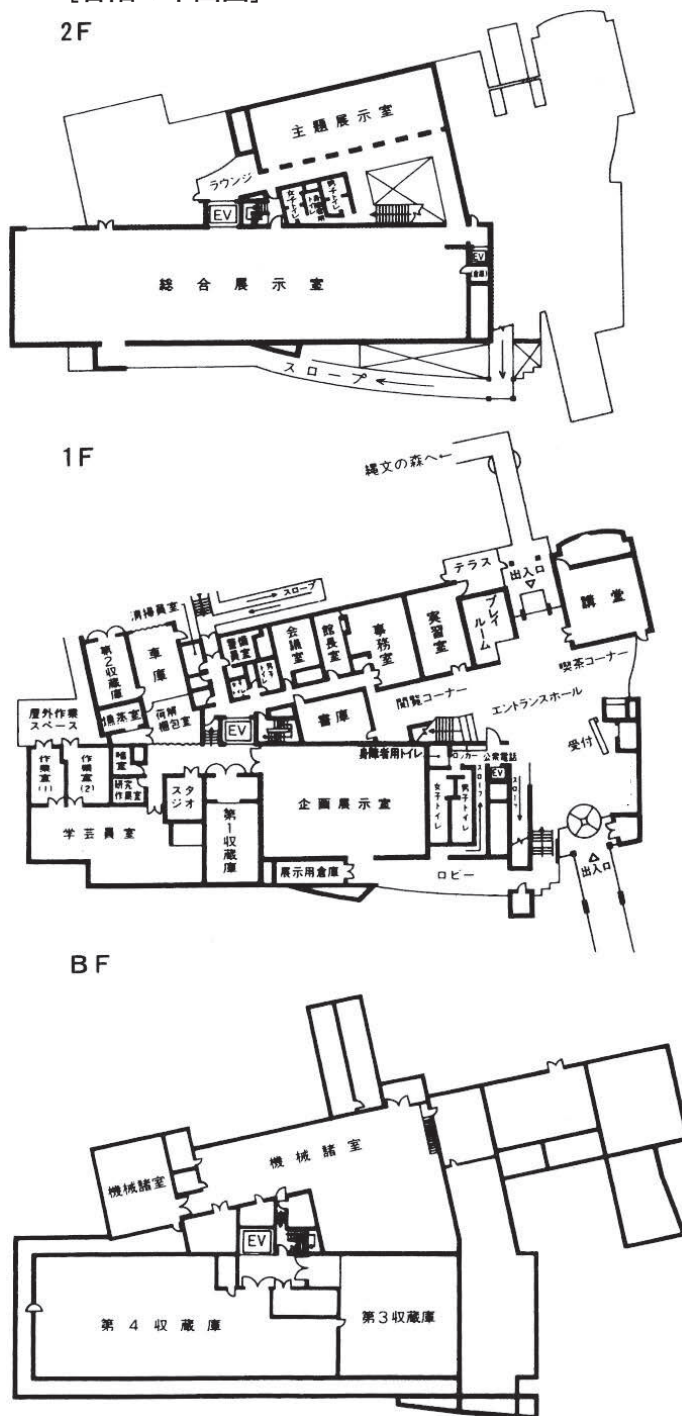
- 1) 敷地面積 7,795.81㎡ 2) 建築面積 2,709.92㎡
 3) 延床面積 5,446.73㎡ 1階 2,515.17㎡／2階 1,542.922㎡／地下1階 1,388.64㎡
 4) 階数 地下1階 地上2階 5) 構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造(展示室 PRC梁構造)
 6) 高さ 14.4m

注) 博物館周辺環境との調和をはかるために高さを15m以内に、また地下水などの水脈保全のため地下部分についても10m以内に制限して建設を行った。

[各室の面積]

区分	室名	室数	階層	面積(㎡)
展示部門	総合展示室	1	2	873.40
	主題展示室	1	2	215.09
	企画展示室	1	1	318.85
	展示用倉庫	1	1	33.12
	小計			1,440.46
収蔵・保存部門	第1収蔵庫	1	1	102.67
	第2収蔵庫	1	1	46.20
	第3収蔵庫	1	B1	231.38
	第4収蔵庫	1	B1	472.41
	車庫・荷解梱包室	1	1	109.54
	作業室(1)	1	1	33.71
	作業室(2)	1	1	42.98
	燻蒸庫	1	1	31.32
	小計			1,070.21
教育普及部門	講堂	1	1	124.88
	実習室	1	1	70.97
	プレイルーム	1	1	51.60
	閲覧コーナー	-	1	78.80
	倉庫	-	1	45.66
	小計			371.91
調査研究部門	書庫	1	1	50.19
	学芸室	1	1	193.49
	スタジオ・暗室	1	1	40.30
	研究作業室	1	1	16.99
	小計			300.97
管理部門	館長室	1	1	33.03
	事務室	1	1	83.98
	会議室	1	1	38.27
	警備員室	1	1	25.03
	清掃室	1	1	10.67
	機械諸室	-	B1	575.49
	管理共有部分	-	1	424.54
	小計			1,191.01
サービス部門	エントランスホール	-	1	333.12
	喫茶コーナー	-	1	56.29
	ロビー	-	1	106.32
	スロープ	-	-	196.91
	共有部分	-	-	379.53
	小計			1,072.17
	合 計			5,446.73

[各階の平面図]



Ⅲ 事業の概要

松戸市立博物館設置の目的・基本的性格

(1) 設置の目的

平成4年9月24日制定の「松戸市立博物館条例」第2条に、「本市は、市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、博物館を次のとおり設置する。」と明記されているが、その理念の淵源は、昭和58年8月31日付け「松戸市美術館（郷土資料館及び古文書館を含む）構想調査会答申」までさかのぼる。

博物館（当時は郷土資料館と呼称）を設置する目的は、以下のように明確に示されている。

松戸市は、長期構想を策定し、21世紀を展望した都市像として、『自然との調和』『人間尊重』を基調とし、市民連帯の下に心のふれあう豊かな都市を目指しています。市民が、国際的視野に立ち、将来を展望しつつ、自らのまちに限りない愛着と誇りをもち、自ら郷土の歴史をふまえ、文化的な生活都市への転換を図るためには、市民の活力と行政の条件整備が一体となった創造的活動が必要です。文化活動は市民の一人ひとりが個性を伸ばし、創造性を培い、自己の向上を図る自発的な行為です。本市においても、その活動は年々活発に行われ、市民はより充実した活動の機会を強く求めています。これらの機運に応えるとともに、豊かな情操と郷土愛を培う文化を未来社会へ継承する使命を果たすため造形美術部門、郷土資料部門、文書部門の機能を有する各文化施設が必要です。

(2) 基本的性格

上記の「設置の目的」から導き出される博物館の「基本的性格」は、以下のように集約される。

- ・市民生活に密着した親しみやすい特色ある郷土資料館とする。
- ・郷土の過去の姿を正しく理解し、未来を展望するために、松戸市域を中心とする原始・古代から現代に至るまでの歴史を概観することができる場とする。
- ・人類的視野にたって、松戸を中心とする地域の風土の中で生きた先人の生活と文化を明らかにしてゆく。
- ・縄文時代を中心とする考古資料をもとに、原始社会の生活文化がどのように展開したかを明らかにする。
- ・教育普及活動を重視し、生涯学習の一環として、市民が気軽に積極的に参加できる自己学習と交流の場とする。
- ・松戸市に関係する考古・歴史・民俗資料の保存に努める。
- ・収集・保存・展示・教育普及活動等をよりよいものにするため、調査・研究活動を重視する。

これらの「設置の目的」と「基本的性格」は今後も松戸市立博物館の上位の目的として堅持する。

1 常設展示

(1) 総合展示

ゾーン1 人類の登場

■ 松戸のあけぼの

旧石器時代の展示空間は常設展示室の入り口部分、展示全体の導入部であるので、短時間で旧石器時代に関心を抱いてもらえるように、見てわかる展示を心がけた。特に実資料(石器)の展示については、単に「石」の羅列にならないように、3つの展示スペース相互に関連をもたせた。

ゾーン2 狩りと採集のムラ

■ 縄文人の暮らし

近年の相次ぐ発掘調査の成果は、これまでの縄文時代の生活に対する私達のイメージを一変させている。ここでは、遺跡から出土する動物・植物遺存体を手がかりにして、ムラの外での生業活動の復元を行い、貝の花貝塚の復元模型を中心にムラの中での日常生活の復元を行っている。

■ ムラのうつりかわり

縄文時代は安定した食糧供給に支えられて、人々は定住を始め、やがてムラを営むようになった。この縄文時代草創期から晩期にいたるムラの盛衰と生活基盤の変化を、幸田貝塚・子和清水貝塚・貝の花貝塚など、市内の遺跡の出土資料等を使用して、明らかにしようと試みている。

■ 人々の交流

縄文時代の人々は、近隣だけでなく、遠く離れた地域の人々とも交流していたことが、遺跡から出土する土器・石器などによってわかる。ここでは、松戸市内から出土した石器石材の産地推定を通して、松戸を中心とした縄文時代の人々の交流圏や、石材の入手経路について、展示を行っている。

ゾーン3 稲作社会の誕生

■ 米作りの暮らし

弥生時代になって中国大陆や朝鮮半島から多くの人々が日本に到来し、様々な新しい技術をもたらした。とりわけ、古墳時代の変化を松戸市域の出土資料を用いて展示している。

■ 古墳の出現

前方後円墳という共通の形の墓が全国で築かれた古墳時代における松戸市域の特質を、河原塚古墳群や栗山古墳群などの出土遺物を用いて展示を行っている。

ゾーン4 下総国のはじまり

■ 古代の松戸

古代の松戸周辺は下総国西端の葛飾郡に含まれていた。下総国の国府は市川市国府台周辺にあったと考えられており、この時期の松戸市域は政治的求心力のある国府の近郊地域として位置づけられる。

ゾーン5 武士と民衆

■ 千葉氏と高城氏

武士が政権の座に就いた中世、鎌倉時代の松戸市域では千葉氏の一族が登場する。本拠とした風早郷を名乗った風早氏である。室町から戦国時代にかけては高城氏が勢力を伸ばした。戦国後期に大谷口小金城を本拠とした高城氏は、東葛飾地域最大の領主となった。高城氏は戦国大名間の争いの渦中で、次第に後北条氏の支配に属するようになり、やがて豊臣秀吉の天下統一により滅亡を余儀なくされた。関連する文書資料および小金城出土資料などから同氏の当該期における位置づけを解説している。

■ 中世人の生と死

中世の人々は現世のみならず来世での幸福を強く願った。市内に残存する資料からその具体的な信仰を探った。板碑は供養碑としてとくに関東地方で流行した。市内の武蔵型板碑の出土地を見ると、多くは小さな谷が入り組んだ台地の縁辺部であるところから、中世人の生活空間が推量される。また関東中世史の研究に欠かせない「本土寺過去帳」所載の地名と一致する場合も多い。過去帳はその存在自体が人々の往生願望の現れであるが、ほかにも合戦記事、多くの職人の名などが見える。展示においてはその豊富な内容の一端を解説している。

ゾーン6 町場と村

■ 近世の村

近世社会に入っところの松戸市域はほとんどが農村で、幕末でも松戸宿・小金宿を除き53の村(新田村を含む)に分かれていた。近世の領主は、村を行政単位として年貢などを徴収したり、宗門改めや五人組制度等によって農民を支配し、村では名主・組頭などの村役人を代表者として生産・生活を営んでいた。当時の農村生活の楽しみには、庚申講などでの共同飲食や、お伊勢参りなど寺社参詣の旅があった。

■ 宿場と河岸

松戸市域には水戸道中松戸宿と小金宿の2つの宿場町があった。幕府の交通政策によって公的に設定された宿は、単なる交通の拠点としてでなく、周辺の流通・経済の中心地として発展した。特に江戸川岸に河岸場が発達した松戸宿は、陸上交通だけでなく、江戸川と利根川の河川交通・流通の中継基地という性格が加わり、また江戸川の対岸金町に幕府が関所を設けたので旅籠も多く、下総北西部の重要な町場に発展した。

■ 小金牧と御鹿狩

下総台地には古代から馬の牧場が設置され放牧が行われていた。江戸幕府はこの台地に直轄の牧場、小金牧・佐倉牧を開設するが、大半が小金牧に含まれた市域は、牧を管理する野馬奉行役宅や金ヶ作役所が設けられ、牧支配の中核地だった。また、徳川将軍家は「御鹿狩」と呼ばれた大規模な狩りを小金原で計4回行ったが、その舞台は現在の松飛台周辺だった。この狩りには、小金原の地元はもちろん武蔵・上総など4か国から農民が勢子として動員されたが、めったにない娯楽的要素もあった。

ゾーン7 都市へのあゆみ

■ 松戸1868～1960

近代を迎えた松戸は葛飾県、印旛県をへて千葉県に編入される。郡役所、郵便局、警察、裁判所が置かれ、東葛飾郡の行政の中心となった。19世紀末から20世紀初頭にかけては常磐線、流鉄、東武野田線(いずれも現在の名称)が市内を通過し、交通網の整備がすすむ。やがて戦争の時代にいたると多くの市民が戦場へ駆り出され、あるいは銃後の生活を強いられた。戦後の松戸は常盤平団地に象徴されるように、首都圏の住宅供給地として、大きくその景観、産業構造を変貌させている。このような近現代での松戸の変化を絵年表を中心に、市域の変遷図、土地利用変遷図などの資料を用い、日本史全体の流れを考慮しつつ解説している。

■ 下谷・谷津・台

松戸市が現在のような姿になったのは、昭和30年～40年代の高度経済成長期に大規模な宅地開発や工業団地の造成が行われたことが大きい。この時期には人口の社会増が大きく、市民の生活も全体的な景観も大きく変貌した。ここでは、下谷・谷津・台というフォークタムから、市域を江戸川低地(下谷)、下総台地の開析谷周辺(谷津)、下総台地の平坦面(台)の3種類に分け、大きな変貌を遂げる直前の昭和30年代前半の景観模型をもとに、地形、水利、生産形態、住まい方などを例にとって先人の人々の生活の場がどのようなものであったのかを対比的に説明している。

■ 常盤平団地の誕生

松戸市は昭和30年代の半ばから、その大半を占めていた近郊農村から首都圏の住宅都市へと急激にその姿を変貌させていくが、その先駆けとなったのが常盤平団地であった。この団地の住民の大半が首都圏の企業に勤めるサラリーマンの家庭で、住宅都市を目指していた松戸市の新しい市民像を代表していた。この展示では、あるサラリーマン家庭の昭和37年の暮らしが当時の生活財によって原寸大の2DKのなかに復元されている。

(2) 主題展示

主題1 考古学と科学の眼

総合展示室で復元されている4000年前の縄文時代に存在した森はどのようにして復元されたのか、また、縄文時代の海岸線をどのようにして知ることが出来たのか。あるいは、文字などのなかった遙か昔の年代がなぜ分かるのか、といった主に自然科学的な手法を用いた歴史の復元方法を紹介している。

主題2 虚無僧寺一月寺

江戸時代の小金宿には、青梅鈴法寺とともに普化宗総本山だった一月寺があり、全国に知られていた。中国唐代の普化禅師を宗祖とする禅宗の一派だった普化宗と、その僧侶である虚無僧が、近世前期に成立して近世中期に最盛期を迎えたこと、また、映像によって虚無僧の姿や生活の歴史や、江戸時代虚無僧に独占された尺八の歴史・音楽などを紹介している。

主題3 二十世紀梨の誕生

果物のナシの代表品種「二十世紀梨」は、現在鳥取県での栽培が有名であるが、実は明治時代に現在の松戸市内で松戸覚之助少年に偶然発見され、次第に全国で栽培されたのであった。そのため、現在市内に「二十世紀が丘」の地名が残るが、この展示室では発見者松戸覚之助のことや、発見以前(江戸時代)から盛んであった下総東葛地域のナシ栽培の歴史、また映像により現在の市内梨園での二十世紀梨の開花から収穫までの栽培の様子を紹介している。

主題4 三匹獅子舞

松戸市内の3地区で演じられている獅子舞は、ひと組の踊り手が3人からなる「三匹獅子舞」と呼ばれるものである。シシ(獅子)が登場する芸能は日本国内ではなじみ深いものであるが、一口にシシといっても、頭の形・演技方ともにさまざまな違いがあることは意外に知られていない。ここでは山路興造氏の所説をもとに、三匹獅子舞の特徴、一人立ちの獅子舞と二人立ちの獅子舞の差異、絵画史料にみる一人立ちの獅子舞と風流踊、といった観点から三匹獅子舞の系譜と地域的広がりを映像を用いて解説している。

(3) 野外展示

竪穴住居復元

博物館北側の台地に、市内の遺跡から発掘された住居跡の資料に基づいて、縄文時代中期の竪穴住居3棟を原寸復元した。常時、竪穴住居1棟を開放し、住居内を自由に見学できるようになっている。

2 資料・企画展示

(1) 博物館開館30周年・千葉県誕生150周年・松戸市制施行80周年記念 館蔵資料展「どきどきクロノロジー」

◆展示意図

遺跡から出土した土器や石器がいつ頃のもので、どのような順番で変化したのかを調べることを編年(クロノロジー)といい、考古学の中でも基礎的な研究分野のひとつである。しかし、その方法や研究内容が一般向けに紹介されることはあまりなく、成果だけが示されることが多いのが現状である。そこで、本展示では松戸市域の縄文土器を題材にして、編年研究の基本的な方法や理論をわかりやすく紹介する。



- ◆主催 松戸市立博物館(企画担当 西村広経(当館学芸員))
- ◆後援 千葉テレビ放送株式会社、(公財)松戸市文化振興財団、(一社)松戸市観光協会
- ◆協力 新京成電鉄株式会社、流鉄株式会社、北総鉄道株式会社
- ◆会期 令和5年4月29日(土・祝)～6月11日(日)(開館日数:36日)
- ◆会場 松戸市立博物館企画展示室
- ◆観覧者数 4,041人
- ◆観覧料 無料

- ◆印刷物
- チラシ A4判 10,000枚
- ポスター B2判 300枚
- 展示資料一覧 A4判 1,000部 館内印刷 展示会場で配布。
- こどもワークシート A5判8頁 700部 館内印刷 展示会場で配布。

◆関連企画

1. 学芸員講演会

- 演題 「土器の古さの測り方」
- 講師 西村広経(当館学芸員)
- 日時 令和5年5月20日(土)13:00-15:00
- 参加人数 69人

2. ゲームで学ぶ土器の古さ／新しさ

- 概要 カップに埋めて隠された3つのアイテムを発掘して、出土層位をもとに古さを推理するゲーム。
- 日時 ①令和5年5月5日(金・祝) 10:00-15:00
②令和5年6月10日(土) 10:00-15:00
- 会場 プレイルーム脇屋外スペース
- 参加人数 32人(①19人 ②13人)

3. 縄文文様お絵かき伝言ゲーム

- 概要 土器文様を繰り返しかき写して、徐々に生じる変化を体感し、型式学的方法を理解するための一助とする。
- 日時 ①令和5年5月3日(水・祝) 10:00-15:30
②令和5年5月13日(土) 10:00-15:30
③令和5年6月11日(日) 10:00-12:00 13:30-15:30

会 場 ①企画展示室ロビー ②③プレイルーム
参加人数 30人(①4人 ②5人 ③21人)

4. わたしだけの縄文土器

概 要 スクラッチシートに文様をかきこみ、オリジナルのミニスタンドボードを作製。
日 時 令和5年5月13日(土)～6月11日(日) 随時
会 場 企画展示室ロビー
参加人数 307人

5. ギャラリートーク

概 要 担当学芸員による展示解説
日 時 4/29・4/30・5/14・5/20・5/27 11:00-12:00 13:30-14:30 のべ9回
※5/20は講演会のため午後回なし
参加人数 164人(26人、24人、17人、11人、14人、17人、20人、16人、19人)

6. 「みんなでつくる虹色貝塚」

概 要 展示室に設置したアクリルケースに観覧者が色付きの貝殻を廃棄していく。一定期間で貝の色を変え、時間経過とともに多色の貝層が堆積していく。時間経過と堆積の上下関係を体感的に理解できることが期待される。
情報発信 会期中の堆積状況をのべ16回Twitterに投稿。
発掘体験 「森のこども館はくぶつかんチーム」の活動の一環として、「虹色貝塚」の断面図作成、掘削など擬似的な発掘調査体験を実施。

◆展示資料

はじめに

資料番号	数量 (個)	遺跡名	資料名
1	1	二ツ木向台遺跡	深鉢形土器
2	1	貝の花遺跡	深鉢形土器

I 土の重なり、土器の古さ

資料番号	数量 (個)	遺跡名	資料名
3	1	貝の花遺跡	深鉢形土器
4	1	貝の花遺跡	台付浅鉢形土器
5	1	貝の花遺跡	浅鉢形土器
6	1	貝の花遺跡	深鉢形土器
7	1	貝の花遺跡	注口土器
8	1	貝の花遺跡	深鉢形土器 (貝の花III群土器)
9	8	貝の花遺跡	土器片 (貝の花III群土器)
10	1	貝の花遺跡	深鉢形土器 (貝の花IV群土器)
11	9	貝の花遺跡	土器片 (貝の花IV群土器)
12	1	貝の花遺跡	深鉢形土器 (貝の花IV群土器)
13	1	貝の花遺跡	深鉢形土器 (貝の花IV群土器)
14	1	貝の花遺跡	深鉢形土器 (貝の花IV群土器)
15	1	貝の花遺跡	深鉢形土器 (貝の花IV群土器)
16	1	貝の花遺跡	深鉢形土器 (貝の花IV群土器)
17	1	貝の花遺跡	注口土器 (貝の花IV群土器)
18	21	貝の花遺跡	土器片 (貝の花V群土器)
19	19	貝の花遺跡	土器片 (貝の花V群土器)
20	11	貝の花遺跡	土器片 (貝の花VI群土器)
21	12	貝の花遺跡	土器片 (貝の花VII群土器)

II デザインの変化

資料番号	数量 (個)	遺跡名	資料名
22	1	根本内遺跡	深鉢形土器 (加曽利EI式)
23	1	子和清水遺跡	深鉢形土器 (加曽利EII式)
24	1	子和清水遺跡	深鉢形土器 (加曽利EIII式)
25	1	紙敷遺跡	深鉢形土器 (加曽利EIII式)
26	1	下水遺跡	深鉢形土器 (加曽利EIV式)
27	1	一の谷西遺跡	深鉢形土器 (加曽利E式系統)
28	1	一の谷西遺跡	深鉢形土器 (加曽利E式系統)
29	1	一の谷西遺跡	土器片 (称名寺式)
30	1	一の谷西遺跡	深鉢形土器 (称名寺式)
31	1	一の谷西遺跡	深鉢形土器 (称名寺式)
32	1	殿平賀遺跡	鉢形土器 (堀之内1式)
33	1	貝の花遺跡	深鉢形土器 (堀之内1式)
34	1	柿の木台遺跡	深鉢形土器 (堀之内1式)
35	1	貝の花遺跡	深鉢形土器 (堀之内2式)
36	1	貝の花遺跡	注口土器 (堀之内2式)
37	1	貝の花遺跡	注口土器 (堀之内2式)
38	1	後田遺跡	注口土器 (堀之内2式)
39	1	後田遺跡	注口土器 (加曽利B1式)
40	1	貝の花遺跡	注口土器 (加曽利B3式～曾谷式)
41	2	貝の花遺跡	土器片 (加曽利B1式)
42	1	貝の花遺跡	土器片 (加曽利B2式古段階)
43	1	後田遺跡	土器片 (加曽利B2式古段階)
44	1	貝の花遺跡	深鉢形土器 (加曽利B2式古段階)
45	1	後田遺跡	深鉢形土器 (加曽利B2式新段階)
46	1	後田遺跡	浅鉢形土器 (加曽利B2式新段階)
47	1	貝の花遺跡	浅鉢形土器 (加曽利B2式新段階～加曽利B3式)
48	1	貝の花遺跡	浅鉢形土器 (加曽利B2式新段階～加曽利B3式)
49	1	貝の花遺跡	深鉢形土器 (加曽利B2式新段階)
50	1	貝の花遺跡	土器片 (加曽利B2式新段階・東北系)
51	3	後田遺跡	土器片 (加曽利B2式新段階・東北系)
52	1	貝の花遺跡	土器片 (加曽利B3式)
53	1	貝の花遺跡	土器片 (曾谷式)
54	1	貝の花遺跡	深鉢形土器 (曾谷式)
55	2	貝の花遺跡	土器片 (安行1式)
56	2	貝の花遺跡	土器片 (安行2式)
57	1	貝の花遺跡	深鉢形土器 (安行3a式)
58	1	貝の花遺跡	鉢形土器 (安行3a式)
59	5	貝の花遺跡	土器片 (姥山式)
60	1	貝の花遺跡	皿形土器 (安行3c式)
61	1	貝の花遺跡	浅鉢形土器 (安行3c式)
62	6	貝の花遺跡	土器片 (安行3c式)
63	1	貝の花遺跡	浅鉢形土器 (大洞C1式)
64	6	貝の花遺跡	土器片 (安行3d式)
65	1	貝の花遺跡	浅鉢形土器 (前浦1式)
66	1	貝の花遺跡	浅鉢形土器 (前浦1式)
67	5	貝の花遺跡	土器片 (前浦式)
68	1	貝の花遺跡	鉢形土器 (安行3d式)
69	1	貝の花遺跡	台付壺形土器 (安行3d式)

(2) 博物館開館30周年・千葉県誕生150周年・松戸市制施行80周年記念 館蔵資料展「東北の伝統こけしと郷土玩具」

◆展示意図

寄贈された館蔵コレクションのうち、東北6県で製作されている伝統こけしと郷土玩具をとりあげて、伝統工芸についての理解を深める。

◆主催 松戸市立博物館(企画担当 山田尚彦<当館学芸員>)

◆後援 (公財)松戸市文化振興財団、(一社)松戸市観光協会、北総沿線地域活性化協議会、千葉テレビ放送株式会社

◆協力 新京成電鉄株式会社、流鉄株式会社

◆会期 令和5年7月15日(土)～令和5年8月27日(日)[37日間]

◆会場 松戸市立博物館 企画展示室

◆観覧者数 3,144人

◆観覧料 無料

◆印刷物 ①ポスターB2判 300枚

②ちらし A4判 9,000枚

③「東北の伝統こけし こどものためのかいせつしょ」

A3判二つ折り500部(内部印刷、以下同)

④「こどもワークシート」4種(こけし編2種、郷土玩具編2種) A4判二つ折り1,700部

⑤「缶バッジ」4種(「こどもワークシート」回答者用 こけし2種、郷土玩具2種) 895個

⑥「こけしのしおり」(色鉛筆による塗り絵 11種) 761枚



◆関連企画

学芸員講演会(松戸市立博物館友の会共催/会場:当館講堂)

演題 「動くおもちゃと動かすおもちゃー館蔵郷土玩具資料からー」

対象者 一般

日時 8月20日(日) 13:00-15:00

講師 山田尚彦(当館学芸員)

参加人数 25人

◆展示資料

※会期中、会場内で下記の映像を常時上映した。

「宮城の伝統こけし」23分・「仙台つつみ人形」20分(いずれも東北放送文化事業団製作)

展示資料リスト(東北の伝統こけし)

no.	資料番号			系統	製作者氏名
1	200101	246		山形系	会田栄治
2	200101	247		山形系	会田栄治
3	200101	248		山形系	会田栄治
4	200101	249		山形系	奥山広三
5	200101	250		山形系	小林栄蔵
6	200101	251		山形系	小林孝太郎
7	200101	252		山形系	小林清次郎
8	200101	253		山形系	小林清次郎
9	200101	254		山形系	小林誠太郎
10	200101	255		山形系	小林忠次郎
11	200101	256		作並系	鈴木昭二
12	200101	257		作並系	鈴木昭二
13	200101	258		作並系	平賀謙次郎
14	200101	259		作並系	平賀忠
15	200101	260		作並系	平賀貞蔵
16	200101	157		鳴子系	秋山忠男
17	200101	158		鳴子系	五十嵐勇
18	200101	159		鳴子系	伊藤松一
19	200101	160		鳴子系	伊藤松一
20	200101	161		鳴子系	伊藤松三郎
21	200101	162		鳴子系	伊藤松三郎
22	200101	163		鳴子系	大沼君子
23	200101	164		鳴子系	大沼健吾
24	200101	165		鳴子系	大沼健三郎
25	200101	166		鳴子系	大沼力
26	200101	167		鳴子系	大沼秀雄
27	200101	168		鳴子系	岡崎才吉
28	200101	169		鳴子系	岡崎仁治
29	200101	170		鳴子系	岡崎斉一
30	200101	171		鳴子系	岡崎斉司
31	200101	172		鳴子系	岡崎斉司
32	200101	173		鳴子系	岡崎斉司
33	200101	175		鳴子系	岸正規
34	200101	176		鳴子系	熊谷正
35	200101	177		鳴子系	後藤希三
36	200101	178		鳴子系	小山今朝記
37	200101	179		鳴子系	桜井昭二
38	200101	180		鳴子系	桜井昭二
39	200101	181		鳴子系	桜井昭二
40	200101	182		鳴子系	佐藤実
41	200101	183		鳴子系	佐藤実
42	200101	184		鳴子系	高橋正吾

no.	資料番号			系統	製作者氏名
43	200101	186		鳴子系	高橋武男
44	200101	187		鳴子系	高橋松子
45	200101	188		鳴子系	高橋盛雄
46	200101	189		鳴子系	早坂せつ子
47	200101	190		鳴子系	松田初見
48	200101	191		鳴子系	遊佐福寿
49	200101	192		鳴子系	遊佐福寿
50	200101	193		鳴子系	遊佐恭雄
51	200101	262		鳴子系	伊豆護
52	200101	263		鳴子系	遊佐福寿
53	200101	24		遠刈田系	猪狩勝彦
54	200101	25		遠刈田系	大沼昇治
55	200101	26	1	遠刈田系	大沼昇治
56	200101	26	2	遠刈田系	大沼昇治
57	200101	26	3	遠刈田系	大沼昇治
58	200101	26	4	遠刈田系	大沼昇治
59	200101	26	5	遠刈田系	大沼昇治
60	200101	27		遠刈田系	大葉亀之進
61	200101	28		遠刈田系	菊池孝太郎
62	200101	29		遠刈田系	斉藤良輔
63	200101	30		遠刈田系	作田栄一
64	200101	31		遠刈田系	作田隆
65	200101	32		遠刈田系	桜井良雄
66	200101	33		遠刈田系	佐藤丑蔵
67	200101	34		遠刈田系	佐藤英太郎
68	200101	35		遠刈田系	佐藤英太郎
69	200101	36		遠刈田系	佐藤英太郎
70	200101	37		遠刈田系	佐藤好一
71	200101	38		遠刈田系	佐藤好一
72	200101	39		遠刈田系	佐藤好一
73	200101	40		遠刈田系	佐藤好一
74	200101	41		遠刈田系	佐藤三蔵
75	200101	42		遠刈田系	佐藤忠
76	200101	43		遠刈田系	佐藤忠
77	200101	44		遠刈田系	佐藤哲郎
78	200101	45		遠刈田系	佐藤哲郎
79	200101	46		遠刈田系	佐藤照雄
80	200101	47		遠刈田系	佐藤照雄
81	200101	48		遠刈田系	佐藤照雄
82	200101	49	1	遠刈田系	佐藤富雄
83	200101	49	2	遠刈田系	佐藤富雄
84	200101	49	3	遠刈田系	佐藤富雄

no.	資料番号			系統	製作者氏名
85	200101	49	4	遠刈田系	佐藤富雄
86	200101	49	5	遠刈田系	佐藤富雄
87	200101	50	1	遠刈田系	佐藤富雄
88	200101	50	2	遠刈田系	佐藤富雄
89	200101	50	3	遠刈田系	佐藤富雄
90	200101	50	4	遠刈田系	佐藤富雄
91	200101	50	5	遠刈田系	佐藤富雄
92	200101	51	1	遠刈田系	佐藤富雄
93	200101	51	2	遠刈田系	佐藤富雄
94	200101	51	3	遠刈田系	佐藤富雄
95	200101	51	4	遠刈田系	佐藤富雄
96	200101	51	5	遠刈田系	佐藤富雄
97	200101	52		遠刈田系	佐藤富雄
98	200101	53		遠刈田系	佐藤富雄
99	200101	54		遠刈田系	佐藤富雄
100	200101	64		遠刈田系	佐藤富治海
101	200101	65		遠刈田系	佐藤富治海
102	200101	68		遠刈田系	佐藤文男
103	200101	69		遠刈田系	佐藤文男
104	200101	70		遠刈田系	佐藤文男
105	200101	71		遠刈田系	佐藤文吉
106	200101	72		遠刈田系	佐藤文吉
107	200101	73		遠刈田系	佐藤文吉
108	200101	75		遠刈田系	佐藤文吉
109	200101	76		遠刈田系	佐藤文吉
110	200101	77		遠刈田系	佐藤文吉
111	200101	79		遠刈田系	佐藤文吉
112	200101	81		遠刈田系	佐藤文助
113	200101	82		遠刈田系	佐藤文助
114	200101	83		遠刈田系	佐藤護
115	200101	84		遠刈田系	佐藤護
116	200101	85		遠刈田系	佐藤護
117	200101	86		遠刈田系	佐藤護
118	200101	87		遠刈田系	佐藤護
119	200101	88		遠刈田系	佐藤護
120	200101	89		遠刈田系	佐藤護
121	200101	90		遠刈田系	佐藤守正
122	200101	92		遠刈田系	佐藤守正
123	200101	93		遠刈田系	佐藤守正
124	200101	94		遠刈田系	佐藤守正
125	200101	95		遠刈田系	佐藤守正
126	200101	96		遠刈田系	佐藤守正
127	200101	98		遠刈田系	佐藤好秋

no.	資料番号			系統	製作者氏名
128	200101	99		遠刈田系	佐藤好秋
129	200101	101		遠刈田系	佐藤米蔵
130	200101	102		遠刈田系	高橋広平
131	200101	103		遠刈田系	高橋広平
132	200101	104		遠刈田系	村上玉次郎
133	200101	105		遠刈田系	我妻敏
134	200101	106		遠刈田系	我妻芳夫
135	200101	265		遠刈田系	佐藤文吉
136	200101	267		遠刈田系	佐藤文助
137	200101	268		遠刈田系	佐藤守正
138	200101	269		遠刈田系	佐藤守正
139	200101	270		遠刈田系	佐藤守正
140	200101	194		土湯系	阿部一郎
141	200101	196		土湯系	阿部シナ
142	200101	198		土湯系	阿部勝英
143	200101	200		土湯系	阿部広史
144	200101	201		土湯系	阿部広史
145	200101	202		土湯系	阿部広史
146	200101	205		土湯系	今泉源治
147	200101	206		土湯系	今泉源治
148	200101	207		土湯系	今泉源治
149	200101	208		土湯系	今泉源治
150	200101	209		土湯系	今泉源治
151	200101	211		土湯系	小幡敏夫
152	200101	212		土湯系	齊藤弘道
153	200101	213		土湯系	佐久間常雄
154	200101	214		土湯系	佐久間虎吉(二代)
155	200101	215		土湯系	佐藤久弥
156	200101	216		土湯系	佐藤佐志馬
157	200101	222		土湯系	瀬谷重治
158	200101	223		土湯系	瀬谷重治
159	200101	224		土湯系	高橋忠蔵
160	200101	231		土湯系	渡辺忠雄
161	200101	108		弥治郎系	井上ゆき子
162	200101	109		弥治郎系	井上ゆき子
163	200101	111	1	弥治郎系	大泉清見
164	200101	111	2	弥治郎系	大泉清見
165	200101	111	3	弥治郎系	大泉清見
166	200101	111	4	弥治郎系	大泉清見
167	200101	111	5	弥治郎系	大泉清見
168	200101	111	6	弥治郎系	大泉清見
169	200101	111	7	弥治郎系	大泉清見
170	200101	115		弥治郎系	鎌田うめ子

no.	資料番号			系統	製作者氏名
171	200101	116		弥治郎系	鎌田孝市
172	200101	117		弥治郎系	鎌田孝市
173	200101	119		弥治郎系	鎌田文市
174	200101	120		弥治郎系	国分栄一
175	200101	124		弥治郎系	国分栄一
176	200101	125		弥治郎系	佐藤辰雄
177	200101	126		弥治郎系	佐藤伝
178	200101	127		弥治郎系	佐藤伝喜
179	200101	135		弥治郎系	新山左京
180	200101	138		弥治郎系	新山久志
181	200101	140		弥治郎系	新山久志
182	200101	141		弥治郎系	新山福雄
183	200101	142		弥治郎系	本田亀寿
184	200101	143		肘折系	奥山庫治
185	200101	144		肘折系	奥山庫治
186	200101	145		肘折系	佐藤重之助
187	200101	146		肘折系	佐藤昭一
188	200101	149		肘折系	佐藤昭一
189	200101	150		肘折系	佐藤昭一
190	200101	151		肘折系	佐藤昭一
191	200101	152	1	肘折系	佐藤昭一
192	200101	152	2	肘折系	佐藤昭一
193	200101	152	3	肘折系	佐藤昭一
194	200101	153		肘折系	佐藤昭一
195	200101	154		肘折系	佐藤昭一
196	200101	156		肘折系	佐藤巳之助
197	201703	11		肘折系	鈴木征一
198	200101	16		南部系	坂下隆男
199	200101	17		南部系	佐藤英吉
200	200101	18		南部系	佐藤一夫
201	200101	19		南部系	煤孫実太郎
202	200101	20		南部系	佐藤忠雄
203	200101	21		南部系	煤孫実太郎
204	200101	22		南部系	高橋金三
205	200101	23		南部系	高橋金三
206	200101	1		津軽系	奥瀬鉄則
207	200101	2		津軽系	奥瀬鉄則

no.	資料番号			系統	製作者氏名
208	200101	3		津軽系	奥瀬鉄則
209	200101	4		津軽系	奥瀬鉄則
210	200101	5		津軽系	小島俊幸
211	200101	6		津軽系	佐藤善二
212	200101	7		津軽系	佐藤善二
213	200101	8		津軽系	佐藤佳樹
214	200101	9		津軽系	島津誠一
215	200101	10		津軽系	長谷川辰雄
216	200101	11		津軽系	村元文雄
217	200101	12		津軽系	毛利専蔵
218	200101	13		津軽系	盛秀太郎
245	200101	113		蔵王系	岡崎昭一
220	200101	234		蔵王系	秋山一雄
221	200101	235		蔵王系	秋山一雄
222	200101	236		蔵王系	秋山一雄
223	200101	237		蔵王系	阿部進矢
224	200101	238		蔵王系	阿部常吉
225	200101	239		蔵王系	石山和夫
226	200101	240		蔵王系	大宮正安
227	200101	241		蔵王系	岡崎幾雄
228	200101	242		蔵王系	岡崎直志
229	200101	243		蔵王系	斉藤健男
230	200101	244		蔵王系	斉藤松助
231	200101	245		蔵王系	田中敦夫
232	200101	14		木地山系	阿部平四郎
233	200101	15		木地山系	小椋久太郎
234	201703	1		木地山系	小椋久太郎
235	201703	2		木地山系	小椋久太郎
236	201703	3		木地山系	小椋久太郎
237	201703	4		木地山系	小椋久太郎
238	201703	5		木地山系	小椋久太郎
239	201703	6		木地山系	小椋久太郎
240	201703	7		木地山系	小椋久太郎
241	201703	8		木地山系	小椋久太郎
242	201703	9		木地山系	小椋久太郎
243	201703	10		木地山系	小椋久太郎
245	200101	261		木地山系	小野寺正徳

展示資料リスト(郷土玩具)

no.	資料番号		資料名	製作地(県)	製作者氏名
1	199801	47	下川原焼(天神)	青森県	高谷充治
2	199801	72	下川原焼(堂内天神)	青森県	高谷充治
3	199801	130	下川原焼(内裏雛)	青森県	高谷充治
4	199801	163	下川原焼	青森県	高谷充治
5	199801	164	下川原焼	青森県	高谷充治
6	199801	172	下川原焼	青森県	高谷充治
7	199801	213	下川原焼	青森県	高谷充治
8	199801	353	下川原焼(福助)	青森県	高谷充治
9	199801	354	下川原焼	青森県	高谷充治
10	199801	373	下川原焼	青森県	高谷充治
11	199801	1270	弘前馬コ	青森県	宮川勉
12	199801	1273	弘前馬コ	青森県	宮川勉
13	199801	1242	八幡駒	青森県	
14	199801	1243	八幡駒	青森県	
15	199801	1246	八幡駒	青森県	大久保直次郎
16	199801	1247	八幡駒	青森県	高橋知男
17	199801	1249	八幡駒	青森県	
18	199801	1417	八幡駒	青森県	
19	199801	1567	えんぶり人形(達磨)	青森県	雇地純一郎
20	199801	1967	えんぶり烏帽子	青森県	雇地純一郎
21	199801	1969	扇ねぶた	青森県	大瀬徳一
22	199801	1257	チャグチャグ馬	岩手県	
23	199801	1262	先陣駒	岩手県	工藤隆三
24	199801	1267	南部駒	岩手県	
25	199801	1268	南部駒	岩手県	工藤隆三
26	199801	1281	チャグチャグ馬	岩手県	
27	199801	1284	春駒	岩手県	工藤隆三
28	199801	1420	チャグチャグ馬	岩手県	
29	199801	1255	チャグチャグ馬	岩手県	
30	199801	57	花巻土人形(天神)	岩手県	松岡シズ
31	199801	199	チャグチャグ馬	岩手県	松岡シズ
32	199801	351	花巻土人形(牛乗り童子)	岩手県	松岡シズ
33	199801	560	金ベコ	岩手県	松岡シズ
34	199801	580	花巻の金ベコ	岩手県	
35	199801	1241	チャグチャグ馬	岩手県	
36	199801	1256	吉沢駒	岩手県	
37	199801	1264	チャグチャグ馬	岩手県	小田島アサ
38	199801	1265	古代駒	岩手県	
39	199801	1266	古代駒	岩手県	
40	199801	1269	桐馬	岩手県	菊地忠八
41	199801	1274	チャグチャグ馬	岩手県	小田島アサ
42	199801	74	附馬牛人形(天神)	岩手県	佐々木孝和
43	199801	75	附馬牛人形(天神)	岩手県	佐々木孝和
44	199801	76	附馬牛人形(牛乗り天神)	岩手県	佐々木孝和
45	199801	84	附馬牛天神(牛乗り天神)	岩手県	佐々木孝和
46	199801	937	どんころ(六角ごま)	宮城県	

no.	資料番号		資料名	製作地(県)	製作者氏名
47	199801	17	堤人形(天神)	宮城県	芳賀強
48	199801	18	堤人形(天神)	宮城県	芳賀強
49	199801	37	堤人形(天神)	宮城県	芳賀強
50	199801	128	堤人形(内裏雛)	宮城県	
51	199801	141	堤人形(土笛・鳩)	宮城県	芳賀強
52	199801	301	堤人形(獅子舞)	宮城県	
53	199801	506	仙台張子(虎)	宮城県	本郷けさの
54	199801	553	仙台張子(虎)	宮城県	
55	199801	582	仙台張子(俵牛)	宮城県	本郷けさの
56	199801	616	仙台張子(松川だるま)	宮城県	本郷けさの
57	199801	635	仙台張子(松川だるま)	宮城県	本郷けさの
58	199801	725	堤人形(芥子)	宮城県	芳賀強
59	199801	1080	仙台張子(黒馬)	宮城県	本郷けさの
60	199801	1116	仙台張子(夫婦福助)	宮城県	本郷けさの
61	199801	1376	堤人形(子)	宮城県	芳賀強
62	199801	1946	堤人形(子)	宮城県	芳賀強
63	199801	1966	堤人形(伊達政宗)	宮城県	佐藤吉夫
64	199801	1250	木ノ下駒	宮城県	菅野実
65	199801	1251	木ノ下駒	宮城県	菅野実
66	199801	1114	首振なまはげ	秋田県	
67	199801	14	八橋土人形(天神)	秋田県	高松茂子
68	199801	77	八橋土人形(天神)	秋田県	高松茂子
69	199801	78	八橋土人形(天神)	秋田県	高松茂子
70	199801	83	八橋土人形(牛乗り天神)	秋田県	高松茂子
71	199801	357	八橋土人形(えずめっこ)	秋田県	道川
72	199801	52	中山土人形(天神)	秋田県	樋渡昭太
73	199801	99	中山土人形(天神)	秋田県	樋渡昭太
74	199801	112	中山土人形(内裏雛)	秋田県	樋渡義一
75	199801	152	中山土人形(鳩)	秋田県	樋渡義一
76	199801	759	土鈴(生剥)	秋田県	樋渡義一
77	199801	765	土鈴(生剥)	秋田県	樋渡義一
78	199801	970	中山土人形(串姉コ)	秋田県	樋渡義一
79	199801	988	中山土人形(串姉コ)	秋田県	樋渡義一
80	199801	1768	なまはげ	秋田県	
81	199801	561	山形張子(ねまり寅)	山形県	岩城久太郎
82	199801	4	相良人形(堂内天神)	山形県	相良隆
83	199801	15	相良人形(天神)	山形県	相良隆
84	199801	134	相良人形(内裏雛)	山形県	相良隆
85	199801	193	相良人形(馬)	山形県	相良隆
86	199801	298	相良人形(子抱き)	山形県	相良隆
87	199801	317	相良人形(二人獅子舞)	山形県	相良隆
88	199801	322	相良人形(前帯女郎)	山形県	相良隆
89	199801	1743	笹野一刀彫(鶏)	山形県	八代目藤エ門
90	199801	1747	笹野一刀彫(鶏)	山形県	石山武
91	199801	1748	笹野一刀彫(鶏)	山形県	
92	199801	1758	笹野一刀彫(お鷹ぼっぼ)	山形県	石山武
93	199801	974	庄内姉様	山形県	太田正子

no.	資料番号		資料名	製作地(県)	製作者氏名
94	199801	33	酒田土人形・鶴渡川原人形(天神)	山形県	大石文子
95	199801	81	酒田土人形・鶴渡川原人形(天神)	山形県	大石文子
96	199801	358	酒田土人形・鶴渡川原人形(太鼓打)	山形県	大石文子
97	199801	24	中湯川土人形(天神)	福島県	青柳守彦
98	199801	34	中湯川土人形(天神)	福島県	青柳守彦
99	199801	35	中湯川土人形(天神)	福島県	青柳守彦
100	199801	36	中湯川土人形(天神)	福島県	青柳守彦
101	199801	219	中湯川土人形(卯)	福島県	青柳守彦
102	199801	220	中湯川土人形(卯)	福島県	青柳守彦
103	199801	548	会津張子(会津白虎)	福島県	久
104	199801	557	会津張子(赤べこ)	福島県	栗城栄
105	199801	573	古代べこ	福島県	
106	199801	575	会津張子(黒ベコ)	福島県	
107	199801	576	会津張子(赤べこ)	福島県	栗城栄
108	199801	577	会津張子(赤べこ)	福島県	栗城栄
109	199801	589	会津張子(赤べこ)	福島県	栗城栄
110	199801	638	会津張子(起姫・会津起上り小坊師)(青)	福島県	山田利正
111	199801	1083	会津張子(馬)	福島県	栗城栄
112	199801	1084	会津張子(馬)	福島県	栗城栄
113	199801	1119	会津張子(内裏雛)	福島県	山田利正
114	199801	1133	会津張子(会津天神)	福島県	栗城栄(三代目)
115	199801	1810	会津張子(起姫・会津起上り小坊師)	福島県	山田利正
116	199801	1855	会津張子(赤べこ)	福島県	栗城栄
117	199801	533	三春張子(向かい虎)	福島県	橋本貞雄
118	199801	1030	三春張子(龍車)	福島県	橋本家
119	199801	1039	三春張子(玉うさぎ)	福島県	橋本芳信
120	199801	1088	三春張子	福島県	橋本芳信
121	199801	1105	三春張子(獅子舞)	福島県	橋本家
122	199801	1142	三春張子(天神)	福島県	橋本家
123	199801	1143	三春張子(天神)	福島県	橋本芳信
124	199801	1253	三春駒	福島県	橋本家
125	199801	597	白河だるま	福島県	佐川平吉
126	199801	648	白河だるま	福島県	佐川平吉
127	199801	1287	あだたら山うずら車	福島県	
128	199801	1454	岳達磨	福島県	斉藤正太郎
129	199801	1823	黒塚人形	福島県	
130	199801	534	三春張子(向かい虎)	福島県	
131	199801	1043	とっと車	福島県	

(3) 博物館開館30周年・千葉県誕生150周年・松戸市制施行80周年記念企画展「あの日の“まつど”—写真でふりかえる150年—」

◆展示意図

千葉県誕生150周年・松戸市制施行80周年の節目にあたり、数多くの写真を中心とする市内に伝わる貴重な資料から、松戸市域の明治から平成をふりかえってもらうことを目的とした。写真に記録された風景からは、“まつど”という一地域に限定されない普遍的な近・現代の時代像が伝わってくる。来場者がそれぞれのふるさとへ思いを馳せるとともに、多様化する現代社会を見つめ直すきっかけとなるような展覧会を目指した。



◆主催 松戸市立博物館(企画担当 林幸太郎・中山文人〈当館学芸員〉)

◆後援 (公財)松戸市文化振興財団、(一社)松戸市観光協会、北総線沿線地域活性化協議会、千葉テレビ放送株式会社

◆協力 新京成電鉄株式会社、流鉄株式会社

◆会期 令和5年9月23日(土・祝)～令和5年11月12日(日)[44日間]

◆会場 松戸市立博物館 企画展示室

◆観覧者数 8,489人

◆観覧料 無料

◆印刷物

①チラシ	A 4 版	30,000枚	
②ポスター	B 1 版	5 枚	
	B 2 版	400枚	
	B 3 版	405枚	
	A 3 版	2,300枚	
③パンフレット	A 4 版	7,500部	展示会場において無料配布。
④展示資料一覧	A 4 版	3,000部	館内印刷 展示会場で配布。
⑤ワークシート	A 5 版	1,500部	館内印刷 展示会場で配布。

◆関連企画

(1) 歴史を語る③ ※応募締め切りの関係でチラシ等には掲載せず。

演題 明治期江戸川を行き交うヒト・モノ・カネ—煉瓦製造業者金町製瓦株式会社と松戸—

講師 中西啓太氏(東京大学文書館准教授)

日時 令和5年9月30日(土)13:00～15:00

参加人数 48名

(2) 学芸員講演会

演題 写真と文書でふりかえる“まつど”—松戸町・坂川普通水利組合・陸軍工兵学校—

講師 林幸太郎(当館学芸員)

日時 令和5年10月29日(日)10:00～12:00／13:00～15:00

参加人数 85名(2回合計)

(3) 企画展「あの日の“まつど”—写真でふりかえる150年—」見学会(会場:企画展示室)

対象者 市内小中学校教員

開催日時 令和5年11月9日(木)17時20分～18時45分

内容 千葉県教育研究会社会科部会松戸支会会員を中心とした、市内小中学校教員による企画展見学会。担当学芸員による展示概要の説明と質疑応答を行った。

講師 林幸太郎(当館学芸員)、平松澄明・鵜沼豊(学習支援専門員)

参加人数 10名(市内小学校7校)

◆展示資料

※写真以外の展示資料は、括弧付き数字で示した。

第1部「“まつど”のあゆみ」

1-1 明治・大正・昭和への誘い

No.	資料名	年代	作成	所蔵等
1	戸定邸東屋庭園からの松戸眺望	1889年5月4日		戸定歴史館所蔵(江崎禮二撮影)
2	東葛飾郡役所	(1914~1915年)		流山市立博物館所蔵(吉野誠撮影)
3	松戸町役場	(1914~1915年)		流山市立博物館所蔵(吉野誠撮影)
4	初代松戸町長 安蒜権左衛門	1906年6月29日		個人蔵(徳川昭武撮影)・戸定歴史館提供
5	松戸警察署	(1914~1915年)		流山市立博物館所蔵(吉野誠撮影)
6	千葉区裁判所松戸出張所・松戸税務署	(1914~1915年)		流山市立博物館所蔵(吉野誠撮影)
7	松戸郵便局	(1914~1915年)		流山市立博物館所蔵(吉野誠撮影)
8	簡易保険20周年・郵便年金10周年記念パレード(松戸郵便局前)	1936年		館蔵(小島ヨネ氏寄贈)
9	松戸駅構内の郵便物	(昭和戦前~战中)		館蔵(小島ヨネ氏寄贈)
10	千葉県立農事試験場	(1914~1915年)		流山市立博物館所蔵(吉野誠撮影)
11	千葉県立高等園芸学校 講堂	(大正後期)		山室功氏所蔵
12	千葉県立高等園芸学校 フランス式庭園	(大正後期)		山室功氏所蔵
13	株式会社東葛銀行	(1914~1915年)		流山市立博物館所蔵(吉野誠撮影)
14	株式会社松戸農商銀行	(1914~1915年)		流山市立博物館所蔵(吉野誠撮影)
15	山下医院	(1914~1915年)		流山市立博物館所蔵(吉野誠撮影)
16	板倉医院の建設工事	(明治末期~大正初期)		館蔵
17	岡医院	(1907年頃)		館蔵
18	小泉歯科医院	1919年		館蔵(椎名翠水『東葛飾郡案内』掲載)
19	松戸競馬場のレース	1908年5月		戸定歴史館所蔵(徳川昭武撮影)
20	相模台の松戸競馬場	(明治末期)		館蔵
21	松戸競馬場の自転車曲乗り	(明治末期)		館蔵
22	戸定邸	1893年8月		戸定歴史館所蔵(徳川篤敬撮影)
23	徳川家の人々(第1回華月会)	1906年5月12日		戸定歴史館所蔵(徳川厚撮影)
24	松戸町の航空写真	1937年6月10日		戸定歴史館所蔵(清水一郎撮影)
25	古ヶ崎の農家	1906年9月29日		戸定歴史館所蔵(徳川昭武撮影)
26	和名ヶ谷の農家	1907年4月2日		戸定歴史館所蔵(徳川昭武撮影)
27	大橋の農家家族	1907年7月24日		戸定歴史館所蔵(徳川昭武撮影)

28	苗代の作業	1908年	戸定歴史館所蔵(徳川昭武撮影)
29	古ヶ崎の麦刈り	1908年 6 月16日	戸定歴史館所蔵(徳川昭武撮影)
30	小山から戸定邸を望む	1889年 5 月 4 日	戸定歴史館所蔵(徳川昭武撮影)
31	小山浅間神社下の農家	1906年 8 月10日	戸定歴史館所蔵(徳川昭武撮影)
32	矢切の眺望	1908年12月	戸定歴史館所蔵(徳川昭武撮影)
33	主水新田の踏車	1909年 4 月	戸定歴史館所蔵(徳川昭武撮影)
34	江戸川の漁師	1907年 5 月19日	戸定歴史館所蔵(徳川昭武撮影)
35	古ヶ崎の漁師家	1909年 4 月	戸定歴史館所蔵(徳川昭武撮影)
36	小金町中金杉信用組合員の共同肥料運搬	(大正)	流山市立博物館所蔵(吉野誠撮影)
37	千駄堀の安蒜家	1907年 3 月26日	戸定歴史館所蔵(徳川昭武撮影)
38	金ヶ作の二年後大根収穫	(1950年頃)	飯沼誠氏提供
39	六実青物市場の初荷	1933年 1 月	鎌ヶ谷市郷土資料館所蔵
40	松戸神社	1906年 8 月22日	戸定歴史館所蔵(徳川昭武撮影)
41	平賀本土寺の仁王門	1907年 1 月 9 日	戸定歴史館所蔵(徳川昭武撮影)
42	馬橋万満寺の仁王像大修理	1927年	山室功氏所蔵(『国宝大修理記念』絵葉書)
43	古ヶ崎の小僧弁財天	1908年 9 月	戸定歴史館所蔵(徳川昭武撮影)
44	根本の池田弁財天	1907年 4 月 2 日	戸定歴史館所蔵(徳川昭武撮影)
(1)	乍恐以書付奉願上候〔嘆願書綴〕	1870年 3 月	松戸新田村小前惣代 他 4 名→小菅県御役所 館蔵(芦田久嗣氏寄贈)
(2)	諸日記	1869~1870年	香実会社 館蔵(土屋亮平氏寄贈)
(3)	御用留	1872年	(秋山村渡辺家) 館蔵(渡辺知家氏寄贈)
(4)	御用留	1873年	千駄堀村戸長土屋七郎平 館蔵(土屋亮平氏寄贈)
(5)	郡会書類	1903~1907年	郡会議員 大塚一雄(明村上本郷) 館蔵
(6)	松戸案内	1915年11月発行	米井丁月 館蔵
(7)	東葛飾郡案内記	1914年12月発行	神田未緑 館蔵
(8)	松戸町報	1923~1925年	松戸町役場 館蔵
(9)	必勝馬予報(松戸冬季競馬三日目及四日目)	1908年	東京競馬新報社 山室功氏所蔵
(10)	松戸風景絵葉書	(昭和戦前)	福岡書店 山室功氏所蔵
(11)	帝都郊外の松戸	1934年 4 月発行	松戸町役場 館蔵
(12)	千葉県松戸町鳥瞰図	1937年	松井天山 山室功氏所蔵
(13)	昭和29年版市勢要覧(小金地区合併記念)	1955年 3 月発行	松戸市役所 館蔵
(14)	江戸川の漁師(ジオラマ)		小柳順一氏制作・所蔵
(15)	小金町見松園安蒜利吉邸宅	1894年	『日本博覧図』第11編千葉県後編(1896年発行)収録 館蔵

(16)	高木村千駄堀土屋七郎平邸宅	1894年	『日本博覧図』第9編千葉県初編(1895年発行)収録	館蔵(土屋亮平氏寄贈)
1-2 交通の発展と商工業				
No.	資料名	年代	作成	所蔵等
45	松戸近傍の馬子	(明治後期)		戸定歴史館所蔵
46	戸定邸付近の田舎道	(明治後期)		戸定歴史館所蔵(徳川昭武撮影)
47	戸定邸付近の田舎道	1906年8月12日		戸定歴史館所蔵(徳川昭武撮影)
48	小金町金杉信用組合員の道路修繕	(大正)		流山市立博物館所蔵(吉野誠撮影)
49	戸定邸に向かう人力車	1911年4月		戸定歴史館所蔵
50	自動車に乗る有栖川宮威仁親王と徳川昭武	1907年12月2日		戸定歴史館所蔵
51	松戸を走る日本鉄道海岸線(常磐線)の蒸気機関車	1906年2月4日		戸定歴史館所蔵(徳川昭武撮影)
52	常磐線鉄橋と川船	(明治末期)		館蔵
53	松戸駅前の人力車	1911年4月11日		戸定歴史館所蔵
54	松戸駅	(大正)		戸定歴史館所蔵
55	北小金駅の駅員	(大正)		流山市立博物館所蔵(吉野誠撮影)
56	馬橋駅の駅員会	1925年5月10日		流山市立博物館所蔵(吉野誠撮影)
57	六実駅	(大正後期～昭和戦前)		青木源内氏所蔵
58	六実駅前の東屋商店	(大正後期～昭和戦前)		山口美栄子氏提供
59	常磐線電化記念祝賀会の駅前アーチ	1936年		館蔵
60	旧水戸街道の常磐線電化記念祝賀会パレード	1936年		館蔵
61	葛飾橋	(1914～1915年)		流山市立博物館所蔵(吉野誠撮影)
62	葛飾橋鉄橋化工事後の渡り初め	1927年7月28日		館蔵
63	松戸の市	1907年1月		個人蔵(徳川昭武撮影)・戸定歴史館提供
64	近江屋(渡辺仁兵衛醸造場)	(1914～1915年)		流山市立博物館所蔵(吉野誠撮影)
65	金町製瓦株式会社	1905年		個人蔵(徳川昭武撮影)・戸定歴史館提供
66	戸定邸から金町製瓦株式会社を望む	1893年		戸定歴史館所蔵(徳川篤敬撮影)
67	大膳屋(立澤商店)	(1914～1915年)		流山市立博物館所蔵(吉野誠撮影)
68	納屋河岸の伏見屋製材所	(1914～1915年)		流山市立博物館所蔵(吉野誠撮影)
69	小山の高橋製粉工場	(1914～1915年)		流山市立博物館所蔵(吉野誠撮影)
70	平潟遊郭	(1914～1915年)		流山市立博物館所蔵(吉野誠撮影)
71	旧水戸街道沿いの鈴鈴木孝太郎商店	(昭和戦前～戦中)		山室功氏提供
(17)	常磐線上野松戸間電車開通記念(絵葉書)	1936年12月発行	鉄道省	山室功氏所蔵

(18)	常磐線電化記念写真帖	1936年12月発行	椎名宗康編・日新時報社発行	館蔵(山崎修一氏寄贈)
(19)	常磐線電化記念の文箱	(1936年)	松戸町	館蔵(山口博子氏寄贈)
(20)	松戸町味噌白酒醸造竹内仁兵衛	1894年	『日本博覧図』第11編千葉県後編(1896年発行)収録	館蔵
(21)	松戸町酒類醸造渡辺仁兵衛(近江屋)	1894年	『日本博覧図』第11編千葉県後編(1896年発行)収録	館蔵
(22)	松戸町酒類并醤油販売竹内清兵衛	1894年 8 月	『日本博覧図』第11編千葉県後編(1896年発行)収録	館蔵
(23)	馬橋村醤油醸造酒類販売小金屋本店竹内清三郎	1894年 8 月	『日本博覧図』第11編千葉県後編(1896年発行)収録	館蔵
(24)	松戸町繁盛双六	1936年		昭和の杜博物館複写所蔵・山室功氏画像提供

1-3 川と生きる

No.	資料名	年代	作成	所蔵等
72	江戸川の高瀬船	1908年		戸定歴史館所蔵(徳川昭武撮影)
73	江戸川の五大力船(中央)と高瀬船	1906年 3 月20日		戸定歴史館所蔵(徳川昭武撮影)
74	納屋河岸の荷積み	1907年 7 月 6 日		戸定歴史館所蔵(徳川昭武撮影)
75	通運丸	(明治末期)		個人蔵(徳川昭武撮影)・戸定歴史館提供
76	通運丸	1908年		個人蔵(徳川昭武撮影)・戸定歴史館提供
77	松戸寄港場の通運丸	1905年		個人蔵(徳川昭武撮影)・戸定歴史館提供
78	大向の渡船場(松戸寄港場)	1907年		個人蔵(徳川昭武撮影)・戸定歴史館提供
79	江戸川曳船汽船株式会社の第一江戸川丸	1912年 1 月		青木源内氏所蔵
80	松戸合同運送合資会社の役員	(1927~1936年)		青木源内氏所蔵
81	江戸川の小船	1906年 8 月19日		戸定歴史館所蔵(徳川昭武撮影)
82	矢切の渡船場	1909年		戸定歴史館所蔵(徳川昭武撮影)
83	柳原水閘の完成	1904年		館蔵
84	江戸川から見た柳原水閘	1904年		館蔵
85	柳原水閘の建設工事	(1903~1904年)		館蔵
86	柳原水閘の建設工事	(1903~1904年)		館蔵
87	柳原水閘の建設工事	(1903~1904年)		館蔵
88	柳原水閘建設工事の作業員	(1903~1904年)		館蔵
89	坂川普通水利組合の全景(上本郷付近)	1909年		館蔵
90	樋野口排水機の据付工事	1909年		館蔵
91	樋野口排水機の据付工事	1909年		館蔵
92	樋野口排水機の据付工事	1909年		館蔵
93	坂川普通水利組合員	(1909年頃)		館蔵
94	樋野口排水器の裏側	1909年 8 月		青木源内氏所蔵
95	樋野口排水機	(1914~1915年)		流山市立博物館所蔵(吉野誠撮影)
96	樋野口排水機	(昭和戦前)		山室功氏所蔵

97	松戸町を流れる坂川	1907年 1 月		個人蔵(徳川昭武撮影)・戸定歴史館提供
98	六和餅販売組合の人びと	(大正)		流山市立博物館所蔵(吉野誠撮影)
(25)	葛飾県廻米御用旗	(1870年)		青木源内氏所蔵
(26)	御用留	1870年	(秋山村渡辺家)	館蔵(渡辺知家氏寄贈)
(27)	約定書〔陸運元会社分社入社願・約定書其外一件綴〕	1874年12月	松戸駅 梨本太兵衛・青木源内 他 2 名→陸運元会社 佐久間庸則	青木源内氏所蔵
(28)	松戸駅・松戸寄港場の時刻表	1917年 6 月		館蔵
(29)	松戸寄港場の通運丸(ジオラマ)			小柳順一氏制作・所蔵
(30)	江戸川の高瀬舟・湯船(ジオラマ)			小柳順一氏制作・所蔵
(31)	坂川水利組合設置之儀ニ付情願書〔坂川水利組合設置之儀ニ付請願書等合綴〕	1902 年 4 月	東葛飾郡小金町外 3 ケ町村用悪水路坂川組合員	館蔵
(32)	千葉県東葛飾郡坂川普通水利組合 排水工事実況	1909年10月発行	東京石川島造船所	館蔵
(33)	坂川治水記要	1911年 4 月発行	坂川普通水利組合代表者 石川赳夫	館蔵
(34)	坂川普通水利組合10周年記念徳利	(1913年)	坂川普通水利組合	館蔵
(35)	坂川沿岸用排水改良事業絵はがき	(昭和戦前)	坂川普通水利組合	館蔵

1-4 学び舎からみる“まつど”

No.	資料名	年代	作成	所蔵等
99	松戸尋常小学校の児童(女子)	(1899年頃)		中部小学校所蔵
100	松戸尋常高等小学校	(1914~1915年)		流山市立博物館所蔵(吉野誠撮影)
101	松戸尋常高等小学校の校舎新築工事	1912年 3 月		青木源内氏所蔵
102	松戸尋常小学校南部校舎の新築落成式	1925年		青木源内氏所蔵
103	松戸尋常高等小学校 尋常科卒業生(男子)	1926年		中部小学校所蔵
104	松戸尋常高等小学校 尋常科卒業生(女子)	1926年		中部小学校所蔵
105	高木尋常高等小学校 本校	1936年 3 月		館蔵
106	高木尋常高等小学校 五香六実分校	1936年 3 月		館蔵
107	高木尋常高等小学校 教職員	1936年 3 月		館蔵
108	高木尋常高等小学校 尋常科 2 年生	1936年 3 月		館蔵
109	小金尋常高等小学校の増築上棟式	(明治末期~大正)		流山市立博物館所蔵(吉野誠撮影)
110	小金尋常高等小学校 尋常科卒業生(男子)	1928年 3 月		丸山善一郎氏提供
111	小金尋常高等小学校 尋常科卒業生(女子)	1928年 3 月		丸山善一郎氏提供
112	馬橋尋常高等小学校の棟上式	1933年12月29日		館蔵
113	県立千葉中学校松戸分校の第 1 回卒業生	1904年 3 月19日		青木源内氏所蔵

114	静修女学校の第3回卒業生(松戸の裁縫学校)	1910年3月25日		青木源内氏所蔵
115	小金青年夜学会幸田支部会	(大正)		流山市立博物館所蔵(吉野誠撮影)
116	陸軍工兵学校正門前の行進	(昭和戦前～戦中)		館蔵(前田久子氏寄贈)
117	校庭の整列	(昭和戦前～戦中)		館蔵(前田久子氏寄贈)
118	安岡正臣師団長の視察	1940年1月15日		館蔵(前田久子氏寄贈)
119	学生集合写真	(昭和戦前～戦中)		館蔵(前田久子氏寄贈)
120	江戸川の架橋演習	(大正後期～昭和戦前)		館蔵(春山善良氏寄贈)
121	江戸川の架橋演習「一斉架設縁材結束」	(大正後期)		山室功氏所蔵
122	八柱作業場の御野立所	1926年10月28日		山室功氏所蔵
123	八柱作業場の戦車肉薄攻撃訓練	(昭和戦前～戦中)		館蔵(春山善良氏寄贈)
124	摂政宮裕仁親王(昭和天皇)の行啓	1926年10月28日		山室功氏所蔵
125	江戸川を渡る摂政宮裕仁親王	1926年10月28日		山室功氏所蔵
126	陸軍工兵准尉杉田源兵衛	(昭和戦中)		館蔵(前田久子氏寄贈)
127	第6回開校記念会・行啓記念会	1926年		山室功氏所蔵
128	工兵学校学生の相撲	1926年		山室功氏所蔵
129	看護長自慢の琵琶	1926年		山室功氏所蔵
(36)	沿革誌	1873～1907年	松戸尋常小学校	中部小学校所蔵
(37)	日誌	1891年	松戸尋常小学校	中部小学校所蔵
(38)	日誌	1891年	松戸高等小学校	中部小学校所蔵
(39)	学籍簿	1887～1901年	松戸高等小学校	中部小学校所蔵
(40)	沿革誌	1918～1925年	松戸尋常高等小学校	中部小学校所蔵
(41)	日誌	1923年	松戸尋常高等小学校	中部小学校所蔵
(42)	扁額「松戸学校」	1884年	千葉県令船越衛書	中部小学校所蔵
(43)	チャイム代わりに使われた鐘	(近代)		小金小学校所蔵
(44)	〔日誌・沿革誌綴〕	(1886～1904年)	栗ヶ沢尋常小学校・千駄堀小学校栗ヶ沢分校・金ヶ作小学校	高木小学校所蔵
(45)	沿革誌	1873～1942年	高木尋常高等小学校	高木小学校所蔵
(46)	村誌草案	(大正)		高木小学校所蔵
(47)	松戸町誌	1917年	松戸町	館蔵
(48)	小金町誌	1917年	小金町	館蔵
(49)	摂政宮行啓記念盃	(1926年)	陸軍工兵学校	館蔵(鈴木千香枝氏寄贈)
(50)	陸軍工兵学校昭和14年度下士官候補者心得規則	1939年	陸軍工兵学校	館蔵(関山純也氏寄贈)
(51)	陸軍工兵准尉正装一式	(昭和戦前)	杉田源兵衛氏着用	館蔵(前田久子氏寄贈)
(52)	陸軍工兵学校第七期幹部候補生(卒業アルバム)	1942年	陸軍工兵学校	山室功氏所蔵

1-5 戦時下の松戸「市」誕生

No.	資料名	年代	作成	所蔵等
130	通信省中央航空乗員養成所松戸飛行場の完成	1940年3月		館蔵
131	松戸飛行場建設工事の勤労奉仕	1939年		小島真氏提供
132	松戸飛行場の輸送班	1941年		山室功氏所蔵
133	松戸飛行場での第45振武隊の見送り	1945年		江口静子氏所蔵・鎌ヶ谷市郷土資料館提供

134	「屠龍」に乗り込む第45振武隊員	1945年		江口静子氏所蔵・鎌ヶ谷市郷土資料館提供
135	松戸神社での出征兵士見送り	(昭和戦中)		浅井静治氏提供
136	出征直前の富田政雄氏と家族	1944年1月4日		館蔵(富田和宗氏寄贈)
137	小島七郎氏の出征	1944年6月15日		館蔵(小島ヨネ氏寄贈)
138	松戸郵便局の職員	1944年		館蔵(小島ヨネ氏寄贈)
139	松戸町・明村の消防組(松戸警察署前)	(大正)		館蔵
140	旧水戸街道の消防組員整列(宮前町相州屋商店前)	(大正後期～昭和戦前)		館蔵
141	松戸消防組第一部	(昭和戦前)		館蔵
142	千葉県連合防空訓練統監立田清辰県知事の視察(松戸町役場前)	1939年7月		館蔵
143	松戸防空監視隊女子隊員の応召者送別	1944年		館蔵(鈴木イチ氏寄贈)
144	東部国民小学校の自衛隊	(1944年頃)		館蔵
145	松戸尋常高等小学校の戦没者慰霊祭	(昭和戦中)		館蔵
146	松戸町役場と町会議員	(大正後期～昭和戦前)		館蔵
147	市制施行直前の松戸町役場職員	(昭和戦中)		館蔵
148	八柱村役場と村長・収入役	1914年		館蔵(神田未緑『東葛飾郡案内記』掲載)
149	高木村役場の村長・助役・収入役	1936年		館蔵
150	六実駅前の松戸市政記念会	1943年6月28日		鎌ヶ谷市郷土資料館所蔵
(53)	出征旗	1943年12月		館蔵(富田和宗氏寄贈)
(54)	出征旗	1944年6月		館蔵(小島ヨネ氏寄贈)
(55)	消防服(松戸町消防組 第三部下横町)	(大正～昭和戦中)		中部小学校所蔵
(56)	消防頭巾	(大正～昭和戦中)		中部小学校所蔵
(57)	小金町消防組の纏	(大正～昭和戦中)		小金小学校所蔵
(58)	市制施行関係書綴	1942～1943年	松戸市役所	館蔵
(59)	松戸市民の皆様へ!	1943年4月1日	松戸市長臨時代理 門六郎	館蔵
(60)	市制施行関係書綴	1943年	松戸市役所	館蔵
(61)	市制第91条第2項並第5項・市制町村制施行令第1条関係書綴	1943年	松戸市役所	館蔵

第2部 『広報まつど』にみるくらしの変化

2-1 民主主義の模索

No.	資料名	年代	作成	所蔵等
(62)	オート三輪(くろがね 1957年型 KE4型)	1957年	日本内焼機製造	館蔵
(63)	日本商工別明細図・松戸市	1957年	日本交通社	山室功氏所蔵
151	ゴミ収集車(旧市庁舎前)	(1959年頃か)		館蔵(旧広報課写真)
152	市立六中の部活! 三輪運転講習	1955年		館蔵(旧広報課写真)
153	『松戸市報』第1号より市長あいさつ(記事)	1950年1月15日		館蔵(旧広報課写真)
154	市議会議員選挙開票風景	1958年		館蔵(旧広報課写真)
155	公明選挙(『広報まつど』105号記事)	1959年3月15日		館蔵(旧広報課写真)
156	公明選挙の塔(五香駅前)	1963年		館蔵(旧広報課写真)

157	身近な問題からかえりみる人権 (『広報まつど』89号記事)	1957年11月15日		館蔵(旧広報課写真)
158	ゆうれい一家(『広報まつど』97号記事)	1958年7月15日		館蔵(旧広報課写真)
※(64-1)～(64-26)は『松戸市報』および『広報まつど』				
(64-1)	地方選挙のあらまし	1951年3月15日	松戸市	広報広聴課所蔵
(64-2)	投票のし方をわかりやすく説明します	1951年4月19日	松戸市	広報広聴課所蔵
(64-3)	婦人会貯蓄組合を作りました／市の財政事情の公表(1面からの続き)	1951年8月15日	松戸市	広報広聴課所蔵
(64-4)	地域で弘報会を作しましょう～戦時中の町内会・隣組への反省から～	1951年9月15日	松戸市	広報広聴課所蔵
(64-5)	住民票事始め／国民健康保険制度の周知／検察審査員は義務です	1952年3月15日	松戸市	広報広聴課所蔵

2-2 病気とのたたかい

No.	資料名	年代	作成	所蔵等
159	消毒車勢ぞろい(旧市役所前)	1958年		館蔵(旧広報課写真)
160	街中のドブ消毒	(1959年か)		館蔵(旧広報課写真)
161	松戸市役所衛生課の家屋消毒作業	1959年		館蔵(旧広報課写真)
162	消毒前は畳を上げて	(1959年か)		館蔵(旧広報課写真)
163	松戸の善照寺裏手から旧水戸街道西側を流れる坂川のゴミ捨て状況	(戦後)		館蔵(旧広報課写真)
164	松戸3丁目坂川でのゴミ収集	1954年		館蔵(旧広報課写真)
165	街角のゴミ箱からリアカーへ	(1959年か)		館蔵(旧広報課写真)
166	田畑の脇の、落ちると危険でハエも群がる肥溜めにはフタを	(1959年頃か)		館蔵(旧広報課写真)
167	田んぼの消毒	(戦後)		館蔵(旧広報課写真)
168	町内清掃の女性達	(1955年頃)		館蔵(旧広報課写真)
169	小金町メインストリートのどぶさらい(旧水戸街道)	1956年		館蔵(旧広報課写真)
170	住民総出のドブさらい(馬橋)	1969年		館蔵(旧広報課写真)
171	最初の松戸市立病院(小山の浅間神社そば)	1954年		館蔵(旧広報課写真)
172	消毒設備と簡易トイレ(市立病院伝染病棟)	1964年		館蔵(旧広報課写真)
173	国立松戸療養所(高塚新田の現東松戸病院)	1953年		館蔵(旧広報課写真)
174	常盤平衛生処理場(金ヶ作終末処理場)	1959年		館蔵(旧広報課写真)
(64-6)	総力特集 ハエ・カ退治虎の巻／殺虫剤の種類と使い方	1957年4月15日	松戸市	広報広聴課所蔵
(64-7)	夏の胃腸病と伝染病院／家畜の病気も注意	1957年7月15日	松戸市	広報広聴課所蔵
(64-8)	今夏も赤痢・日本脳炎に厳重警戒／田畑に旗！ 農薬散布に注意を	1959年6月15日	松戸市	広報広聴課所蔵
(64-9)	下水道整備宣言！	1975年3月20日	松戸市	広報広聴課所蔵

2-3 開発

No.	資料名	年代	作成	所蔵等
175	新京成線松戸駅開業	1955年		館蔵(旧広報課写真)
176	危険な土取り場で遊ぶ子どもたち	1955年		館蔵(旧広報課写真)
177	小山・上本郷間の電話線工事(旧水戸街道の松戸善照寺前)	1955年		館蔵(旧広報課写真)
178	現代的な台所での家事(常盤平団地)	1960年		館蔵(小櫃亮氏撮影・寄贈)
179	常盤平団地ですくすく育つ	1960年		館蔵(小櫃亮氏撮影・寄贈)
180	常盤平駅前でグリコ	1961年		館蔵(小櫃亮氏撮影・寄贈)
181	増強された樋野口排水機	1961年		館蔵(旧広報課写真)
182	市川・松戸線の舗装工事	1964年		館蔵(旧広報課写真)
183	二毛作用の陸田化工事(栗山から下矢切にかけて)	1964年		館蔵(旧広報課写真)
184	小金原団地への引っ越し	1969年		館蔵(旧広報課写真)
185	すぐやる課にフィリピンからの視察	1971年		館蔵(旧広報課写真)
186	子と清水遺跡発掘調査(常盤平)	1972～1975年		館蔵(旧広報課写真)
187	新松戸駅開業式(松本清市長あいさつ)	1973年		館蔵(旧広報課写真)
188	ようやく消えゆくプレハブ校舎	1974年		館蔵(旧広報課写真)
(64-10)	人口6,600人、都市化直前の松戸市図	1955年1月1日	松戸市	広報広聴課所蔵
(64-11)	伸びゆく大松戸市	1957年1月15日	松戸市	広報広聴課所蔵
(64-12)	農村のリニューアル	1959年2月15日	松戸市	広報広聴課所蔵
(64-13)	旧陸軍八柱演習場の稔台開拓農地、15年でやむなく工業団地と宅地へ	1960年3月15日	松戸市	広報広聴課所蔵
(64-14)	最初にして最大の宅地開発・常盤平完成／樋野口排水機場グレードアップ	1961年12月15日	松戸市	広報広聴課所蔵
(64-15)	1961年のできごと	1962年1月1日	松戸市	広報広聴課所蔵
(64-16)	消える文化財の事前調査／新葛飾橋工事開始	1962年9月15日	松戸市	広報広聴課所蔵
(64-17)	交通事故死はいまの3倍	1962年10月20日	松戸市	広報広聴課所蔵
(64-18)	校舎増築ラッシュ	1965年8月20日	松戸市	広報広聴課所蔵
(64-19)	1967年のできごと	1968年1月1日	松戸市	広報広聴課所蔵

2-4 “まつど”点描

No.	資料名	年代	作成	所蔵等
189	市制5周年市民演芸大会(松戸常盤館)	1948年		館蔵(旧広報課写真)
190	古ヶ崎の田植え	1954年		館蔵(旧広報課写真)
191	松戸駅西口旧水戸街道(左の特徴的なファザードは常盤館)	1954年		館蔵(旧広報課写真)
192	松戸新田に建てられた市営住宅	1954年		館蔵(旧広報課写真)
193	北小金駅南口	1954年		館蔵(旧広報課写真)
194	北小金駅前通り	1954年		館蔵(旧広報課写真)
195	かつての小金宿を通る旧水戸街道(北小金駅南側)	1955年		館蔵(旧広報課写真)
196	北小金の旧水戸街道を歩く農家の女性たち	1955年		館蔵(旧広報課写真)

197	旧八坂神社前の放置自転車(北小金駅南口通り)	1979年	館蔵(旧広報課写真)
198	再開発前の北小金駅南口	1982年	館蔵(旧広報課写真)
199	旧水戸街道松戸駅西口入口交差点	1957年	館蔵(旧広報課写真)
200	旧水戸街道(松戸駅西口)	(1958年頃)	館蔵(旧広報課写真)
201	市民の失業対策でもあった松戸駅東口駅前道路修繕	1955年	館蔵(旧広報課写真)
202	公益質屋(旧松戸町役場建物を利用)	1957年	館蔵(旧広報課写真)
203	バス乗降客でごった返す松戸駅西口	1963年	館蔵(旧広報課写真)
204	松戸駅西口商店街	(1961年頃)	館蔵(旧広報課写真)
205	資源リサイクル開始以前のゴミ2分類の頃(松戸駅西口商店街)	1976年	館蔵(旧広報課写真)
206	62年前の坂川	1961年	館蔵(旧広報課写真)
207	中・高卒業生への就職壮行会	1961年	館蔵(旧広報課写真)
208	市外からの重量車両が未舗装道路を傷めている(葛飾橋から旧水戸街道にかけて)	(1955年以降か)	館蔵(旧広報課写真)
209	重い土取りトラックが市道をえぐる	1959年	館蔵(旧広報課写真)
210	松戸競輪場と北松戸駅周辺(工業団地整備以前)	(1950年代後半)	館蔵(旧広報課写真)
211	ゴミ焼却場(上本郷)	(1959年頃か)	館蔵(旧広報課写真)
212	常盤平団地建設前の金ヶ作駅を通過する電車	1956年	館蔵(旧広報課写真)
213	砂場の覇者@常盤平団地	1960年	館蔵(小櫃亮氏撮影・寄贈)
214	常盤平駅前	(1960年代)	館蔵(旧広報課写真)
215	六実駅に近いアメリカ軍基地周辺	(1960年以前)	館蔵(旧広報課写真)
216	六実駅	(1960年頃)	館蔵(旧広報課写真)
217	移動図書館を楽しむ農家の女性たち	1959年	館蔵(旧広報課写真)
218	七右衛門新田の酪農農家	1959年	館蔵(旧広報課写真)
219	「昭和36年梅雨前線豪雨」のあとの市内	1961年	館蔵(旧広報課写真)
220	台風直撃、埋め立て地の崩落	1961年	館蔵(旧広報課写真)
221	台風24号の水害(馬橋駅西口)	1981年	館蔵(旧広報課写真)
222	大橋地区の苗代の苗取り	1961年	館蔵(旧広報課写真)
223	市北部二ツ木地区の旧水戸街道	1963年	館蔵(旧広報課写真)
224	小金原団地予定地の畑(栗ヶ沢)	1966年	館蔵(旧広報課写真)
225	小金城趾駅	1967年	館蔵(旧広報課写真)
226	上本郷駅北口	(1960年代)	館蔵(旧広報課写真)
227	八柱駅前ロータリー	(1960年代)	館蔵(旧広報課写真)
228	五香駅前ロータリー	(1970年前後か)	館蔵(旧広報課写真)
229	武蔵野線以前の幸谷駅と流鉄の車両	(1973年以前)	館蔵(旧広報課写真)
230	野菜の安売りデー	(1974年頃か)	館蔵(旧広報課写真)
231	串崎新田の耕地	1977年	館蔵(旧広報課写真)
232	ダストボックスでのゴミ収集	(1970年代)	館蔵(旧広報課写真)
233	46年前の馬橋駅前	1977年	館蔵(旧広報課写真)

234	松戸駅ホームの宮間市長・沼田 県知事・倉田参議院議員・報道陣	1982年		館蔵(旧広報課写真)
235	元山駅前の駐輪事情	1984年		館蔵(旧広報課写真)
236	松戸市街を葛飾区から遠望	1989年		館蔵(旧広報課写真)
237	坂川の多目的護岸で消防訓練 (松戸駅西側)	1999年		館蔵(旧広報課写真)
238	第3回松戸宿坂川献灯まつり	2009年		館蔵(旧広報課写真)
(64-20)	外食の語源は「外食券」／人口 の割に犯罪が多い50年代／投 票率向上に腐心する市役所	1954年2月15日	松戸市	広報広聴課所蔵
(64-21)	農村女性の生活改善／受胎調 節のすすめ／防犯啓発／アブ ラムシというヤツは	1956年4月15日	松戸市	広報広聴課所蔵
(64-22)	坂川に行ってみよう！	2006年8月1日	松戸市	広報広聴課所蔵
(64-23)	野鳥調べ2006	2006年8月15日	松戸市	広報広聴課所蔵
(64-24)	すぐやる課50周年	2019年9月15日	松戸市	広報広聴課所蔵
(64-25)	緊急事態宣言解除後の対応は 困っている人から	2020年6月1日	松戸市	広報広聴課所蔵
(64-26)	七右衛門新田のリサイクルセ ンターでゴミ処理を大規模に 集約	2022年3月15日	松戸市	広報広聴課所蔵

(4) 博物館開館30周年・千葉県誕生150周年・松戸市制施行80周年記念
博学連携展示「松戸探検 100年前からのくらしのうつりかわり」

◆展示意図

本展示会は、小学校3年生の社会科カリキュラムに対応したもので、100年ぐらい前の農家のくらしを展示し、さらに100年ぐらい前から撮影された松戸の写真によって、まちの姿の変化を表している。今のくらしへどのようにうつりかわってきたかを子どもたちに伝えている。



- ◆主催 松戸市立博物館(企画担当 青木俊也〈当館学芸員〉)
- ◆会期 令和6年1月16日(火)～3月20日(水・祝)(55日間)
- ◆会場 松戸市立博物館 企画展示室
- ◆観覧者数 6,550人
市内小学校19校見学
- ◆観覧料 無料
- ◆印刷物

ポスター	B 2判	10枚(館で製作・印刷)
チラシ	A 4判	10,000枚
探検手帳	A 4判	500部(館で製作・印刷)

◆関連企画

(1) 土曜ワークショップ(博物館友の会共催)

昔のくらしにまつわる様々な体験ができるワークショップを、会期中の毎週土曜日に開催した。

・「天秤棒で桶をかついでみよう」(会場：博物館エントランスロビー)

対象者 一般(こどもから大人まで)

開催日時 1月20日、2月3日、2月17日、3月2日、3月16日(全て土曜日)
13時00分～15時30分の間で随時

講師 博物館友の会有志

内容 水道がなかった頃、水汲みに使われていた桶を天秤棒で実際に担ぐ体験。屋内で実施のため、水は使用せずおもりで代用。担ぎ方を教わり、上手に運ぶコツを学んだ。

参加人数 165人

・「機織りをしてみよう」(会場：企画展示室ロビー)

対象者 一般(こどもから大人まで)

開催日時 1月27日、2月17日、3月16日(全て土曜日)
13時00分～15時30分の間で随時

講師 博物館友の会サークル・はたくさの会有志

内容 古い布を裂いて作った緯糸(よこいと)を使って、機織り機で布を織る体験。

参加人数 96人

・「風呂敷をつかってみよう」(会場：企画展示室)

対象者 一般(こどもから大人まで)

開催日時 1月27日、2月10日、2月24日、3月9日(全て土曜日)
13時00分～15時30分の間で随時

講師 博物館友の会有志

内容 風呂敷でさまざまな形の物を包み、昔のくらしの工夫を体験した。

参加人数 142人

(2)「紙芝居と昔のあそびを楽しむ日」(博物館友の会共催)(会場:企画展示室ロビー)

対 象 者 一般(こどもから大人まで)

開催日時 3月17日(日)

紙芝居 ①13時00分～、②14時30分～

昔のあそび ③13時00分～15時30分の間の紙芝居をしていない時

講 師 紙芝居/紙芝居屋てるさん(峯岸照恭氏)、昔のあそび/博物館友の会有志

内 容 紙芝居・けん玉・こまなど、昔の子どもたちの世界を再現し、体験した。

参加人数 121人(①35人 ②38人 ③48人)

(3)小学生学芸員 米づくり展示解説会(会場:企画展示室)

開催日時 2月4日(日)①14時00分～14時30分、②15時00分～15時30分

内 容 一年間を通じて、田んぼで米づくりを体験した小学生6名が、その成果をパネルにまとめ、来場者に向けて解説会を行なった。

参加人数 48人(①28人 ②20人)

◆展示資料

<1>住まう

(1)農家の住まい

資料名	
農家(模型1/20)	農家の間取り(模型1/20)

<2>食べる

(1)かまど

資料名				
かまど(2点)(鋳物、模型1/1)	まき	火吹き竹(2点)	十能	火挟み
火消し壺	七輪(2点)	洪うちわ(2点)	炭入れ	鉄瓶

(2)ご飯を炊く

資料名				
米櫃	一升杓(2点)	五合杓(2点)	一合杓	一斗杓
斗かき	米研ぎ桶	あげざる	羽釜(2点)	飯櫃(2点)
杓文字	飯櫃入れ			

(3)おかずを煮炊きする

資料名				
鉄鍋	銅行平鍋	杓子	焼き網	焙烙
せいろ	すり鉢	すりこ木	おろし金(金属製)	おろし金(陶製)
かつお節削り	脚付きまな板	杓文字掛け	あげざる	酒徳利
醤油徳利				

(4)食卓

資料名				
普段のお膳	飯茶碗(2点)	汁碗(2点)	四つ椀	行事のお膳
ちゃぶ台(2点)	土瓶	茶碗(4点)		

(5)水まわりのくらし

資料名					
井戸車	釣瓶桶	手押しポンプ	手桶	水甕	柄杓
流し台	洗い桶	天秤棒	水桶	背負い籠	

(6)食べ物の保存

資料名		
蠅帳(2点)	甕(3点)	漬け物樽(2点)

<3>着る

(1)着物

資料名			
女の単衣の着物	女の袷の着物と羽織	男の袷の着物と羽織	男子の袷の着物と羽織

(2)着物がどんな糸で織られているか、見てみよう!

資料名			
木綿の着物	木綿の着物の素材(綿花・木綿糸・紬糸・木綿布)	麻の着物	麻の着物の素材(麻・麻糸・麻布)
絹の着物	絹の着物の素材(繭・真綿・絹糸・絹布・紬糸・紬布)		

(3)裁縫

資料名			
針箱	くけ台	尺差し	裁ち板

(4)洗濯

資料名			
たらい	金だらい	洗濯板	洗濯石鹸
鋏	火のし	炭火アイロン	

<4>くらす

(1)夏のくらし

資料名				
蚊帳	蚊遣りぶた	うちわ	すだれ屏風	すだれ

(2)冬のくらし

資料名				
火鉢	五徳	火箸	灰ならし	鉄瓶
炭おこし	十能(炭運び)	炭入れ	やぐら炬燵(2点)	行火
湯たんぽ(陶製)	湯たんぽ(ブリキ製)	掻い巻き布団	敷布団	

(3)掃除

資料名		
座敷ほうき	ぞうきん	バケツ

(4)明かり

資料名				
燭台・しん切り	手燭	行灯	がんどう	小田原提灯
ランプ(2点)	蛍光灯スタンド			

(5) 聞く

資料名	
蓄音機	ラジオ

(6) 昔の道具ではかってみよう！

資料名		
一合杓	五合杓	一升杓
一斗杓	斗かき	身長計(尺と寸の目盛りを併記)

< 5 > 写真で見る松戸のうつりかわり

(1) 知ってる場所、あるかな？～昭和時代などの松戸の写真～

展示内容	資料名称
大正から昭和時代にかけて撮影された市内各所の写真を、松戸市の地図とともに1枚の大きなパネルに表示し展示した。	小金城趾駅(1967年/昭和42年)
	北小金駅前(1954年/昭和29年)
	稲刈り(1952年/昭和27年)
	夏の姉妹(1951年/昭和26年)
	農家の働く妻と姉妹(1954年/昭和29年)
	流山鉄道:流鉄馬橋駅(1968年/昭和43年)
	台風24号の水害(馬橋駅西口)(1981年/昭和56年)
	畑の妻とその母(1954年/昭和29年)
	六間川(1935年/昭和10年頃)
	北松戸駅(1958年/昭和33年)
	小僧弁天(1936年/昭和11年頃)
	坂川排水機(樋野口)(1909年/明治42年)
	陸軍工兵学校(1936年/昭和11年以前)
	松戸小学校(1930年/昭和5年頃)
	千葉県立園芸高等学校(1929年/昭和4年以前か)
	凍った坂川(1935年/昭和10年頃)
	春雨橋と小僧さん(1936年/昭和11年)
	松戸角町(1936年/昭和11年以前)
	江戸川の釣り(1934年/昭和9年)
	葛飾橋(1936年/昭和11年以前)
	松戸町水泳場(1915年/大正4年)
	江戸川(1936年/昭和11年)
	矢切の渡し船(1968年/昭和43年)
	常盤平団地(1962年/昭和37年)
	団地の家族(1960年/昭和35年)
	子和清水(1958年/昭和33年)
	八柱霊園(1936年/昭和11年頃)
	六実ゴルフ場(1936年/昭和11年以前)
	六実駅改札(1983年/昭和58年)

(2)知ってる場所、あるかな?～昭和時代と令和時代の写真をくらべてみよう～

展示内容	資料名称
松戸市の地図上に示された27地点の昭和時代と令和時代の同じ地点の写真を並べて展示した。	幸田第一公園(1987年/2019年)
	新松戸駅(旧国鉄/J R)(1973年/2019年)
	小金城址駅(流鉄流山線)(1967年/2019年)
	旭町 坂川端の石造物(1986年/2019年)
	馬橋駅(流鉄流山線)(1954年/2019年)
	馬橋駅(旧国鉄/J R)(1968年/2019年)
	北松戸競輪場前踏切/北松戸競輪場前歩行者用の橋(旧踏切)(1973年/2019年)
	上本郷駅(新京成線)(1970年/2019年)
	古ヶ崎小僧弁天(1936年/2019年)
	松戸駅西口(1957年/2019年)
	松戸駅東口商店街(1971年頃/2019年)
	坂川市民清掃行動デー/坂川(1988年/2019年)
	下横町の旧渡道場(1977年/2019年)
	角町交差点(1985年/2019年)
	北小金駅前(1954年/2019年)
	北小金駅(旧国鉄/J R)(1954年/2019年)
	小金原若芝交差点(1986年/2019年)
	常盤平駅(新京成線)(1966年/2019年)
	常盤平スロープ歩道(1974年/2019年)
	五香駅前商店街(1970年頃/2019年)
	五香駅(新京成線)(1970年/2019年)
	六実駅(旧東武野田線/東武アーバンパークライン)(1970年/2019年)
	常盤平 子和清水(1986年/2019年)
	八柱霊園(1936年/2019年)
	河原塚古墳(1986年/2019年)
	八柱駅(新京成線)(1970年/2019年)
	運動公園体育館(1974年/2019年)

3 学習支援

(1) 講演会

■館長講演会

演 題 「川と向き合う江戸時代 坂川の改修をめぐって」
 対 象 者 一般
 開催月日 令和5年11月11日(土)
 講 師 渡辺尚志(当館館長)
 会 場 当館講堂
 参加人数 60人

■歴史を語る

第1回 演 題 「人類の誕生からホモ サピエンス(現生人類)へ」
 対 象 者 一般
 開催月日 令和5年4月22日(土)
 講 師 植木 武 氏(共立女子学園名誉教授・日本情報考古学会会長)
 会 場 当館講堂
 参加人数 30人(応募人数35人、抽選、当日受付なし)

第2回 演 題 「人類文化の行方―郷土研究・比較民俗研究から世界常民学へ」
 対 象 者 一般
 開催月日 令和5年5月14日(日)
 講 師 佐野賢治氏(神奈川大学名誉教授)
 会 場 当館講堂
 参加人数 25人

第3回 演 題 「明治期江戸川を行き交うヒト・モノ・カネ―煉瓦製造業者金町製瓦株式会社と松戸―」
 対 象 者 一般
 日 時 令和5年9月30日(土)
 講 師 中西啓太氏(東京大学文書館准教授)
 会 場 当館講堂
 参加人数 47人

■学芸員講演会(会場:当館講堂、13時00分～15時00分)

各学芸員が専門分野に関して講演した。

開催月日	タイトル	講師	参加人数 (うち友の会会員)
令和5年5月20日(土)	「土器の古さの測り方」	西村 広経	69人(17人)
8月20日(日)	「動くおもちゃと動かすおもちゃー館蔵郷土玩具資料からー」	山田 尚彦	25人(4人)
10月29日(日)	「写真と文書でふりかえる“まつど”―松戸町・坂川普通水利組合・陸軍工兵学校―」	林 幸太郎	85人(12人)
11月25日(土)	「森の田園都市―常盤平団地の緑地保全について―」	青木 俊也	24人(8人)
令和6年1月28日(日)	「埴輪からみた古墳時代の武人と武装」	藤原 哲	64人(15人)
2月18日(日)	「関宿城と小金城」	中山 文人	73人(24人)
3月16日(土)	「古文書からさぐる松戸の江戸時代 庚申講とはなんだろう」	富澤 達三	73人(4人)

(2) 講座

■古文書をよむ(近世入門編)(会場:当館実習室)

開催月日 令和6年1月21日(日)～3月17日(日)までの隔週日曜日(全5回)
講師 富澤 達三(当館学芸員)
内容 市内旧家の古文書をテキストに、当時の時代背景なども説明しながら、くずし字の解説をおこなった。
応募人数 47人(抽選)
参加人数 延べ108人(①21人②26人③23人④21人⑤17人)

■古文書をよむ(近世中級編Ⅰ)(会場:当館実習室)

開催月日 令和5年9月9日(土)～11月4日(土)までの隔週土曜日(全5回)
講師 和泉 清司氏(高崎経済大学名誉教授)
内容 本年度も千駄堀の名主・土屋亮平家文書の御用留を解説した。テキストは「嘉永二年西四月 南相馬御用留」(TR02419)を82-98頁まで読んだ。読了後「嘉永七年 御触書御用留」(TR02423)を4頁まで読んだ。
応募人数 44人(抽選)
参加人数 延べ123人(①26人②29人③22人④23人⑤23人)

■古文書をよむ(近世中級編Ⅱ)(会場:当館実習室)

開催月日 令和6年1月13日(土)～3月9日(土)までの隔週土曜日(全5回)
講師 出口 宏之氏(江東区文化財主任専門員)
内容 本年度も千駄堀の名主・土屋亮平家文書の御用留を解説した。テキストは「嘉永七年御触書御用留」(TR02423)で、1-17頁まで読んだ。
応募人数 35人(抽選)
参加人数 延べ131人(①27人②25人③28人④26人⑤25人)

■吾妻鏡を読む

開催月日 令和6年3月29日(金)～5月24日(金)までの隔週金曜日(全5回)
講師 中山 文人(当館学芸員)
内容 寿永3(1184)年2月14日条から2月23日条までを読み進めた。長大な「平宗盛返状」は、歴史学と文学の多くの先行研究を踏まえ、当時の社会状況と政治情勢の変化をたどりながら、平氏・源氏・王朝の立場の違いを意識して解説・分析した。
応募人数 31人
参加人数 延べ113人(①27人②22人③21人④22人⑤21人)

■古代の人口を考える(会場:当館実習室)

開催月日 令和5年10月1日(日)～11月19日(日)までの隔週日曜日(全5回)
講師 藤原 哲(当館学芸員)
内容 旧石器時代から平安時代までの人口の推計や変遷を検討した。
応募人数 25人
参加人数 延べ99人(①23人②19人③23人④17人⑤17人)

■パートナー講座

実施年月日	内容	主催者	派遣講師	参加人数
令和5年 6月24日(土)	松戸の江戸時代 庚申信仰と庚申講	東部地区社会福祉協議会	富澤達三 (当館学芸員)	49人
9月17日(日)	松戸の江戸時代	松戸シティガイド	富澤達三 (当館学芸員)	28人
11月4日(土)	「写真でふりかえる明治～昭和初期の松戸町」	松戸シティガイド	林幸太郎 (当館学芸員)	21人
11月25日(土)	「写真でふりかえる五香松飛台の歴史」	五香松飛台地区社会福祉協議会	林幸太郎 (当館学芸員)	50人
11月29日(水)	「戦国時代の松戸市域や東葛のようす」	東葛退職者連合協議会	中山文人 (当館学芸員)	23人
令和6年 1月20日(土)	「近現代の馬橋のあゆみ―高度経済成長期を中心に―」	馬橋地区社会福祉協議会	林幸太郎 (当館学芸員)	46人
令和6年 2月29日(木)	小金原の御鹿狩	小金地区社会福祉協議会	富澤達三 (当館学芸員)	80人

■その他講師派遣等

実施年月日	内容	主催者	派遣講師	場所	参加人数
令和5年 7月15日(土)	「戦国末期の関宿城攻防と周辺史 小金領からも眺めてみる」	関宿城博物館友の会	中山文人 (当館学芸員)	関宿城博物館	30人
10月13日(金)	明治大学学芸員養成課程特別講義講師「歴史系地域博物館の学芸員の活動―展示を中心に―」	明治大学	中山文人 (当館学芸員)	明治大学	96人
令和5年 11月18日(土)	古文書を読む2「史料から探る明治期の成瀬家と旧犬山藩士」	犬山城白帝文庫	林幸太郎 (当館学芸員)	犬山市民交流センター	40人
11月24日(金)	ゲットユアドリーム(中高生向けの職業紹介)	子どもの環境を守る会 J ワールド	林幸太郎 (当館学芸員)	松戸市立第六中学校	34人
令和6年3月 10日(日)	千葉県森林インストラクター会研修会	千葉県森林インストラクター会	西村広経 (当館学芸員)	21世紀の森と広場パークセンター多目的室	13人

(3) 体験学習

■こども体験教室「親も楽しむ 米づくりと展示づくり—小学生学芸員になろう—」(友の会共催)
(会場:21世紀の森と広場の水田・博物館実習室等)

対 象 者 小学4～6年生と保護者の方

開催月日 ①令和5年5月13日(土)田植え

②6月17日(土)田の草取り

③7月29日(土)案山子づくり

④9月23日(土)稲刈り

⑤10月7日(土)脱穀

⑥11月18日(土)かまどでご飯を炊く・展示づくり①

⑦12月9日(土)展示づくり②

⑧令和6年1月20日(土)展示づくり③

⑨2月4日(日)小学生学芸員展示解説会

内 容 21世紀の森と広場内の水田で、田植え、田の草取り、案山子づくり、稲刈り、脱穀までの一連の米づくりにおける作業を体験し、竈でご飯を炊き試食した。さらに、その作業を示したパネルをつくり、博学連携展示「松戸探検 100年前からのくらしのうつりかわり」のなかで小学生学芸員コーナーとして展示し、展示解説会を行なった。なお、この体験教室には博物館友の会有志の協力を受けた。

講 師 青木俊也・藤原哲(当館学芸員)、平松澄明(当館学習支援専門員)、友の会会員

応募人数 11人(小学生6人、保護者5人)(※定員6組)

参加人数 延べ48人(小学生31人、保護者17人)

(①2人②8人③9人④6人⑤6人⑥5人⑦2人⑧5人⑨5人)

■こども体験教室「親も楽しむ 土鈴づくり」(会場:実習室)

開催日	時間	対象者	講師	応募数	参加人数
令和5年 8月5日(土)	①10:00～11:00	小学生と保護者の方 ※児童だけの参加も可	西村広経 (当館学芸員)	31組	15組 (31人)
	②13:30～14:30				
内容:粘土で縄文時代の鈴(土鈴)を作る。					

■こども体験教室「親も楽しむ 勾玉づくり」(会場:実習室)

開催日	時間	対象者	講師	応募数	参加人数
令和5年 8月9日(水)	①10:00～11:00	小学生と保護者の方 ※児童だけの参加も可	藤原 哲 (当館学芸員)	43組	15組 (31人)
	②13:30～14:30				
内容:滑石を研磨して勾玉を作る。					

■竪穴宿泊体験

(運営をNPO法人 松戸子育てさばーとハーモニーに委託)

対 象 者 小学5～6年生

事前説明会

日 程 令和5年8月19日(土)10:00-11:00

参加人数 36人

宿泊体験

日 程 令和5年9月9日(土)～10日(日)、9月23日(土)～24日(日)

応募人数 20人

参加人数 12人(各回6人)

※事前説明会への参加を応募条件とし、志望動機等に基づいて参加者を選考した。

内 容 縄文時代文化の一端を体験してもらうため、復元竪穴住居に宿泊した。夕飯時には旧石器時代に行われていたと想定される石蒸し調理の体験を実施したほか、博物館見学、ドングリ加工体験等のプログラムを実施した。

■体験教室「裂き織りをしてみませんか」(友の会共催)

開催日	時間	対象者	講師	応募人数	参加人数
令和6年 2月7日(水) 2月8日(木)	① 9:40-10:20	一般	はたくさの会会員 (友の会サークル) 青木俊也 (当館学芸員)	17人	18人
	②10:40-11:20				
	③11:40-12:20				
	④13:40-14:20				
	⑤14:40-15:20				
内容:古い布を裂いて、新しい布に再生する。					

(4) ミュージアムシアター・プレイルーム

■ミュージアムシアター

公共上映の権利を有する映像ソフトを、講堂において毎日・月替わりで定時上映した。ただし、講演会等の開催時には、上映を中止した。

上映時間 午後1時15分、午後3時15分

土日祝日の午後1時15分上映分は「キッズシアター」として、子ども向けプログラムを上映した。

ミュージアムシアター

上映月	タイトル	上映日数	観覧者数	一日平均
令和5年4月	世界の祭・儀礼1 人生の節目の儀礼	24日	66人	2人
5月	日本の味・伝統食品 豆腐羹／出羽の六条豆腐	24日	56人	2人
6月	現代日本の形成過程第27巻 鉄道	20日	89人	4人
7月	日本の味・伝統食品 こんにゃく／昆布繁盛記	25日	47人	1人
8月	現代日本の形成過程第26巻 戦争と日本人	27日	82人	3人
9月	「朝日ニュース映画」で見る昭和1 昭和32年	25日	112人	4人
10月	「朝日ニュース映画」で見る昭和4 昭和40年	25日	134人	5人
11月	「朝日ニュース映画」で見る昭和7 昭和48年	25日	151人	6人
12月	日本の味・伝統食品 信州の寒天／九十九里の煮干し	22日	41人	1人
令和6年1月	世界の祭・儀礼4 大規模な集団で行う儀礼	21日	63人	3人
2月	現代日本の形成過程第40巻 エネルギー革命	25日	104人	4人
3月	日本の染と織2 阿波の藍／かいこ	26日	59人	2人

キッズシアター

上映月	タイトル	上映日数	観覧者数	一日平均
令和5年4月	大江山の鬼退治、小僧のネコの絵、貧乏神	9日	64人	7人
5月	馬方山姥、えびのお伊勢参り、なんの病	9日	40人	4人
6月	山梨とり、一軒家の婆さん、ムカデの医者むかえ	6日	17人	2人
7月	鶴の恩返し、宝ひょうたん、若返りの水	11日	44人	4人
8月	猫女房、ごんぞう虫、鼻高扇、	8日	28人	3人
9月	たわらの藤太、狐のお産、取っつく引っつく	9日	42人	4人
10月	ぶんぶく茶釜、三年寝太郎、鼻たれ小僧	8日	35人	4人
11月	最後の嘘、うれし・めでたや・ありがたや、食わず女房	8日	51人	6人
12月	和尚と小僧のかみがない、ふるやのもり、旅人馬	7日	22人	3人
令和6年1月	織姫と彦星、闇夜にカラス、髪そり狐	8日	15人	1人
2月	そそうの相九郎、オンバの皮、いもころがし	9日	36人	4人
3月	火男、ねずみのすもう、和尚と小僧のぷーぷーばたばた	10日	37人	3人

※上映時間はいずれも約25分

■プレイルーム

年齢を問わず、いつでも来館者が楽しみながら学べる場として、無料で開放している。

常設体験プログラムの他にも、企画展示やイベント等に合わせて、縄文土器の文様施文体験、こけしマラカス作りを実施した。

【令和5年度常設体験プログラム】

- ・プレイルームでぬりえ！（こむそう〔虚無僧〕・たてあなじゅうきょ〔竪穴住居〕等、12種類）
- ・パズルをたのしもう！（おししがかり〔御鹿狩〕の絵、じょうちゃん・もんちゃんの絵）
- ・アンギン編み体験
- ・アンギン衣装体験
- ・糸車による糸つむぎ（プレイルームスタッフによる実演）

令和5年度利用者総数 8,767人

(5) 館内公開

対象者 一般（こどもから大人まで）

開催月日 令和5年8月27日（日）

内容 博物館の多様な活動への理解を促進するため、通常非公開のバックヤード（車庫、荷解梱包室、燻蒸室、学芸員室、スタジオ、機械室、収蔵庫）を紹介・解説するもの。

講師 青木俊也・富澤達三・西村広経（当館学芸員）

応募人数 33人

参加人数 19名（大人12名・子ども7名）

(6) ガイドツアー（常設展示解説）

「人類の登場」から「都市へのあゆみ」まで、2名の展示解説員によるリレー方式の解説会を毎日随時受け付け行った（解説時間約30分）。なお、団体観覧者においては適宜開催した。

参加者408人

(7) 情報提供

■閲覧コーナー

購入図書及び関係諸機関との交換図書の閲覧サービスを行っている。蔵書の一部は開架で提供している。

・蔵書数（令和6年3月31日現在）

開架図書冊数 1,318冊

閉架図書冊数 43,915冊

合計 45,233冊

・閲覧コーナーの利用者数 1,696人

・閉架図書の利用状況

利用人数 74人

利用冊数 153冊

・視聴覚資料数

ビデオテープ 418巻

C D 89枚

D V D 49枚

■刊行物

令和5年度の刊行物は次の通りである。

・松戸市立博物館年報 第30号

A 4判69頁 500部 令和5年10月17日

・松戸市立博物館紀要 第31号

A 4判90頁 800部 令和6年3月31日

・松戸市立博物館調査報告書8「こどもミュージアム」展示開発に向けた制作途中報告書

A 4判112頁 600部 令和6年3月31日

■SNSによる情報発信

令和元年4月29日に当館公式Facebook、X(旧Twitter)、Instagramを開設し、最新情報を発信している。

■おうちミュージアム

令和2年1月以降、日本でも新型コロナウイルスが蔓延し、全国の博物館が閉館となるなか、3月4日に北海道博物館の呼びかけで、家で長時間を過ごす子どもたちのために全国の博物館が“おうちで楽しく学べる”アイデアをオンラインで提供する「おうちミュージアム」が始まった。当館も令和2年4月下旬から参加し、令和2年度から引き続き、ホームページから情報発信を行っている。

■まつどデジタルミュージアム

新型コロナウイルスが蔓延し、おうち時間が増える中、松戸の歴史や文化をもっと深く、広くお知らせしたい。そんな思いから、松戸市立博物館と戸城歴史館が収蔵する貴重な資料を中心にウェブ上で公開し、解説を加えたもので、令和4年3月末から稼働している。多種多様なコンテンツの実際は、下記のURLを参照のこと。

<https://matsudo-digital-museum.jp>

■ミュージアムショップ

刊行物とミュージアムグッズを販売している。

※価格は税込

ミュージアムグッズ		
ジグソーパズル	5種類	各900円
	1種類	1,200円
絵葉書	8種類	80円
テレホンカード	4種類	700円
※通運丸は売り切れ		
虚無僧ストラップ	2種類	750円
※青色は売り切れ		
一筆箋	4種類	300円
縄文土器レプリカ深鉢型土器		完売
クリアファイル (じょうちゃん・もんちゃん)		完売
クリアファイル (コシッキー1体・3体)	2種類	150円
A5ファイル	2種類	200円
じょうちゃん・もんちゃん コラボシール		200円
小風呂敷		680円
てぬぐい	2種類	550円
ダイカットメモ	2種類	300円
不織布トート	3種類	150円
トートバッグ	2種類	390円
ミニタオル		520円
機織りハンドメイドポーチ		1,700円
2DKの住まい (マスキングテープ)		560円
オリジナル計測野帳		310円

資料集・報告書	
松戸市立博物館歴史資料集1 東漸寺所蔵資料集	700円
松戸市立博物館歴史資料集2 青木源内家所蔵資料目録追加	700円
松戸市立博物館映像記録VTR 送り大師 東葛飾印旛大師講の人々	完売
松戸市立博物館報告書1 松戸の三匹獅子舞(VTR含む)	5,400円
松戸市立博物館報告書2 縄文時代以降の松戸の海と森の復元	1,200円
松戸市立博物館報告書3 松戸市民家調査報告書	完売
松戸市立博物館報告書4 松戸宿場町建築物調査報告書	2,100円
松戸市立博物館報告書5 農村松戸の民俗 -1960年代調査の記録-	800円
松戸市立博物館報告書6 松戸市役所広報課旧蔵写真目録	900円
松戸市立博物館館蔵資料目録1 プラスチック資料デザイン関係資料	2,300円
松戸市立博物館報告書7 森の住宅都市 常盤平団地の生活史1960-2022	1,200円

資料集・報告書	
松戸市立博物館調査報告書8 「こどもミュージアム」展示開発に向けた制作途中報告書	2,000円

図 録		
改訂版 常設展示図録(平成16年度)		完売
開設記念展 松戸写真館 -カメラがとらえた松戸の人々- (平成5年度)		完売
特別展 縄文土器の世界(平成5年度)		完売
企画展 救いの民俗 -地獄極楽冥土の旅-(平成6年度)		完売
特別展 馬と牧 -かつて松戸は牧場だった- (平成6年度)		完売
特別展 稲と魚 -水田をめぐる漁・猟・採集- (平成7年度)		900円
特別展 古墳時代の飾り馬 -馬利用のはじまりをさぐる- (平成7年度)		完売
企画展 小金城主高城氏 (平成8年度平成13年度再販)		完売
特別展 シルクロードとガンダーラ (平成8年度)		1,000円
特別展 福神の世界(平成9年度)		完売
特別展 ネアンデルタール人の復活 (平成10年度)		1,000円
企画展 水戸道中 -宿場と旅人- (平成10年度)		完売
特別展 貝塚を考える(平成10年度)		1,200円
企画展 戦後松戸の生活革新 -新しい暮らし方へのあこがれ- (平成12年度)		完売
企画展 中世の東葛飾 -いのり・くらし・まつりごと- (平成13年度)		1,200円
企画展 弥生人の脳発見! -とっとり青谷上寺地遺跡展- (平成14年度)		完売
企画展 はにわの十字路 -古代の東国の交流と地域性- (平成14年度)		1,000円
特別展 川の道 江戸川(平成15年度)		完売
企画展 昔のくらし探検(松戸版)(平成16年度)		500円
企画展 ベルシャ文明の曙 -文明の基層を探る-(平成17年度)		1,000円
企画展 戦国の城をさぐる -松戸市根本内歴史公園開園記念- (平成18年度)		完売
企画展 大名の旅 -本陣と街道- (平成19年度)		1,000円
特別展 縄文時代の東・西(平成20年度)		1,000円
企画展 人生儀礼の世界(平成21年度)		1,000円
企画展 湯浅喜代治 考古コレクション -夢を追った70年-(平成22年度)		1,000円
企画展 東日本の古墳と渡来文化 -海を越える人とモノ-(平成24年度)		完売
特別展 松戸の発掘60年史 -市内の遺跡を再検討-(平成25年度)		1,000円

図 録		
企画展	Plastic?/Plastic! － 高度経済成長とプラスチック－ (平成26年度)	1,000円
企画展	石斧と人－ 3 万年のあゆみ－ (平成28年度)	800円
企画展	本土寺と戦国の社会(平成29年度)	900円
特別展	ガンダーラ－ 仏教文化の姿と形－ (平成30年度)	1,000円
企画展	松戸と徳川将軍の御鹿狩(令和2年度)	1,000円
企画展	古墳時代のマジカルワールド (令和3年度)	1,000円

紀 要		
松戸市立博物館紀要	第1号	1,000円
松戸市立博物館紀要	第2号	1,000円
松戸市立博物館紀要	第3号	1,000円
松戸市立博物館紀要	第4号	700円
松戸市立博物館紀要	第5号	1,000円
松戸市立博物館紀要	第6号	1,000円
松戸市立博物館紀要	第7号	1,000円
松戸市立博物館紀要	第8号	1,000円
松戸市立博物館紀要	第9号	1,000円
松戸市立博物館紀要	第10号	1,000円
松戸市立博物館紀要	第11号	500円
松戸市立博物館紀要	第12号	500円
松戸市立博物館紀要	第13号	400円
松戸市立博物館紀要	第14号	500円
松戸市立博物館紀要	第15号	500円
松戸市立博物館紀要	第16号	600円
松戸市立博物館紀要	第17号	500円
松戸市立博物館紀要	第18号	500円
松戸市立博物館紀要	第19号	400円
松戸市立博物館紀要	第20号	500円
松戸市立博物館紀要	第21号	600円
松戸市立博物館紀要	第22号	500円
松戸市立博物館紀要	第23号	400円
松戸市立博物館紀要	第24号	300円
松戸市立博物館紀要	第25号	400円
松戸市立博物館紀要	第26号	500円
松戸市立博物館紀要	第27号	500円
松戸市立博物館紀要	第28号	700円
松戸市立博物館紀要	第29号	500円
松戸市立博物館紀要	第30号	600円
松戸市立博物館紀要	第31号	600円

松戸市史		
松戸市史	上巻	完売
松戸市史	上巻(改訂版)「原始・古代・中世」	3,000円
松戸市史	中巻「近世」	5,500円
松戸市史	下巻(一)「明治」	4,000円
松戸市史	下巻(二)「大正・昭和」	3,900円
松戸市史史料編(一)	「大熊家文書」	2,800円
松戸市史史料編(二)	「近世諸家文書」	完売
松戸市史史料編(三)	「萬満寺史料」	3,500円
松戸市史史料編(四)	「本土寺史料」	5,500円
松戸市史史料編(五)上	「秋谷家文書」	8,050円
松戸市史史料編(五)下	「秋谷家文書」	7,500円
松戸市史史料編(六)	「東漸寺史料」	5,000円
松戸市古文書目録(一)	「諸家文書」	1,100円
松戸市古文書目録(二)	「諸家文書」	1,500円
松戸市古文書目録(三)	「本土寺文書他」	2,000円
松戸市古文書目録(四)	「秋谷家文書」	2,500円
松戸市史考古資料集1	大谷口遺跡の土師器と須恵器	300円
松戸市史考古資料集2	千駄堀寒風台遺跡出土遺物を中心とする 考古資料	300円
松戸市史考古資料集3	関場遺跡第2地点出土旧石器資料報告・ 寒風台遺跡出土石器整理報告	300円
松戸市史考古資料集4	上本郷遺跡出土縄文時代後期から 晩期を中心とする考古資料	400円

4 連携事業

(1) 博学連携プログラム

①受入

■博物館実習

令和5年度博物館実習生

班	所 属
第1班	日本大学 文理学部 史学科 4年生
	八洲学園大学 生涯学習学部 生涯学習学科 正科生
	川村学園女子大学 文学部 日本文化学科 4年生
	実践女子大学 文学部 美学美術史学科 4年生
第2班	奈良大学 文学部 文化財学科 4年生
	東洋大学 文学部 日本文学文化学科 4年生
	大正大学 文学部 歴史学科 文化財・考古学コース 4年生
	鶴見大学 文学部 文化財学科 4年生

(1) 合同実習

月 日	午 前	午 後
7月30日(日)	実習内容説明、館内バックヤード見学	常設展・企画展見学

(2) 個別実習

第1班 8月3日～8月9日

月 日	午 前	午 後
8月3日(木)	近世・近代文書資料の整理	同左
8月4日(金)	こども体験教室「土鈴をつくろう」準備	同左
8月5日(土)	こども体験教室「土鈴をつくろう」補助	同左
8月6日(日)	葛飾区郷土と天文の博物館見学	流山市立博物館見学
8月8日(火)	企画展示、又はリニューアル展示の開発	同左
8月9日(水)	展示計画の研究発表	実習まとめ・レポート執筆など

第2班 8月3日～8月9日

月 日	午 前	午 後
8月3日(木)	近世・近代文書資料の整理	同左
8月4日(金)	こども体験教室「勾玉をつくろう」準備	同左
8月5日(土)	こども体験教室「勾玉をつくろう」補助	同左
8月6日(日)	葛飾区郷土と天文の博物館見学	流山市立博物館見学
8月8日(火)	企画展示、又はリニューアル展示の開発	同左
8月9日(水)	展示計画の研究発表	実習まとめ・レポート執筆など

■「千葉県教育研究会松戸支会社会科教育部会」による企画展の見学会

連携対象：松戸市内小中学校社会科教員

開催月日：令和5年11月9日（木）

内 容：担当学芸員が企画展「あの日の“まつど”—写真でふりかえる150年—」の概要を解説後、見学を実施した。

参加人数：10人

■MCR学級生による企画展の見学会

連携対象：MCR（Matsudo Child-raising Class※学校家庭教育の一環として市内在住の小中学生保護者のための学びの場）

開催月日：令和5年10月31日（火）

内 容：担当学芸員が企画展「あの日の“まつど”—写真でふりかえる150年—」の概要を講堂で解説後、見学を実施した。

参加人数：33人

②派遣

■出前講座

市内の小学校・中学校を対象とし、当該校からの要請に応え、博物館学芸員及び学習支援専門員が、通常の授業の中でゲストティーチャーとして指導・支援を行った。

・専修大学松戸中学校

対 象 者 2年生

開催日時 令和5年11月25日（土）10：40～11：25

内 容 講演内容「享保改革のなかの御鹿狩」。徳川幕府8代将軍の吉宗が、享保改革のなかでおこなった、小金原御鹿狩の意義について、浮世絵の画像などを投影しながら講演した。

講 師 富澤 達三（当館学芸員）

参加人数 2年生177名および教員8名

③事業

■博物館でアート

対 象 者 小学校4年生以上

開催日時 ①令和5年6月11日（日）14：00～16：00

②令和5年7月30日（日）14：00～16：00

③令和5年8月19日（土）14：00～16：00

④令和5年8月27日（日）14：00～16：00

⑤令和5年10月15日（日）14：00～16：00

内 容 博物館の環境を活用して造形活動を行った。令和5年度は色鉛筆を使った浮世絵の塗り絵とオリジナル金屏風、クラフトバンド（紙製のバンド）を使った縄文時代の編物（小物入れ作り）を体験した。

講 師 平松 澄明・鶴沼 豊（学習支援専門員）

参加人数 合計26人 ①5人②5人③8人④4人⑤4人

■第8回博物館アワード

趣 旨 博学連携の一環として、博物館の機能並びに環境を生かしたコンクールを開催することにより、児童生徒の博物館に対する理解を深めるとともに、博物館の積極的な活用を推進する機会とする。



募集概要 (1) 募集内容並びに募集対象者

①歴史に関する自由研究部門

小学生3・4年の部、小学生5・6年の部、中学生の部

②歴史に関するイラスト部門

小学生3・4年の部、小学生5・6年の部、中学生の部

(2) 募集期間

令和5年9月1日(金)～9月15日(金)

(3) 表彰

①自由研究部門各部の最優秀作品に対して市長賞、教育長賞、博物館長賞、審査委員長賞各1点、さらに各部3点に優秀賞、その他30点に佳作

②イラスト部門各部の最優秀作品に対して市長賞、教育長賞、博物館長賞、審査委員長賞各1点、さらに各部3点に優秀賞、その他56点に佳作

応募点数

	小学生3・4年の部	小学生5・6年の部	中学生の部	合計
自由研究部門	54	59	57	170
イラスト部門	46	74	230	350

応募校数

自由研究部門 26校

イラスト部門 33校

■第8回博物館アワード作品展

展示意図 第8回博物館アワード(歴史自由研究部門、歴史イラスト部門)に応募した小中学生の入賞、入選作品を展示した。

主 催 松戸市立博物館

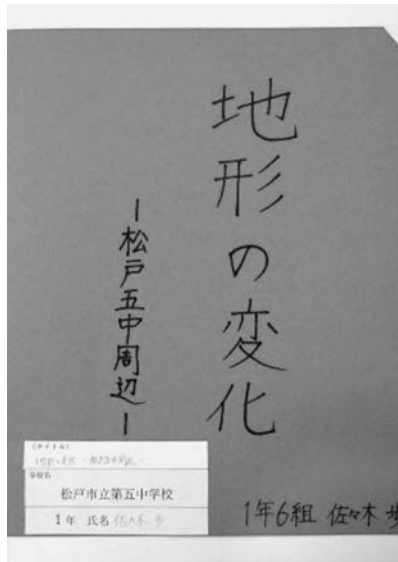
会 期 令和5年11月25日(土)～12月10日(日)

会 場 松戸市立博物館 企画展示室

観 覧 料 無料

作 品 数 自由研究部門 43点

イラスト部門 272点



自由研究部門 市長賞
「地形の変化」
(松戸第五中学校 1年)



自由研究部門 教育長賞
「ユニバーサルデザインかるた」
(ハケ崎小学校 4年)



自由研究部門 博物館長賞
「水にまつわる松戸の歴史」
(相模台小学校 5年)



自由研究部門 審査委員長賞
「松戸中央公園七変化」
(相模台小学校 3年)



イラスト部門 市長賞
「絶えなく続く玩具の歴史」
(牧野原小学校 6年)



イラスト部門 教育長賞
「松戸神社」
(河原塚中学校 3年)



イラスト部門 博物館長賞
「土偶に込めた想い」
(高木第二小学校 6年)



イラスト部門 審査委員長賞
「光彩を放つ清水寺」
(河原塚中学校 2年)

■森のこども館はくぶつかんチーム

主 催 松戸市立博物館・森のこども館

対 象 者 小学生

趣 旨 体験型学習を通年の連続講座として実施し知識・経験を蓄積していくことで、歴史・文化に関する関心と理解を養う。

日 時 ①令和5年5月21日(日)10:30-11:30

②令和5年6月17日(土)10:30-11:30

③令和5年8月20日(日)10:30-11:30

④令和5年10月22日(日)10:30-11:30

⑤令和5年12月17日(日)10:30-11:30

⑥令和6年2月18日(日)10:30-11:30

場 所 森の工芸館、松戸市立博物館実習室ほか

内 容 ①館蔵資料展見学

②貝塚発掘の疑似体験

③石蒸し料理

④種実の採集効率に関する実験・検証

⑤縄文原体の復元製作及び文様の差異の検証

⑥1年間のふり返し

刊 行 物 連続講座の内容を紹介したパンフレットを刊行。印刷部数2,500部。市内各所で配布。

参加人数 5名

講 師 西村広経(当館学芸員)

(2) その他

■野菊野こども館ワークショップ「縄文の謎にせまる」

連携対象 野菊野こども館

対 象 者 小学生

開催月日 令和5年8月2日(水)13:30～15:00

内 容 縄文土器の実物に触れながら、施文技法を体験した。

場 所 野菊野こども館

講 師 西村広経(当館学芸員)

参加人数 8人

■ドングリ加工体験(常盤平児童館ネイチャーゲーム)

連携対象 野菊野こども館

対 象 者 小学生

開催月日 令和5年11月4日(土)13:30～15:30

内 容 常盤平児童館主催イベントネイチャーゲームの1コーナーとしてドングリ加工体験を実施した。

場 所 野菊野こども館

講 師 西村広経(当館学芸員)

参加人数 236人

5 調査・研究

(1) 研究員の活動

柴田 徹(有限会社考古石材研究所)

研究テーマ

「産地判別不可となった黒曜石の産地推定方法の確立」

成果

産地判別不可となった黒曜石について、散布図中のドットの分布と岩石学的特徴を組み合わせることにより、産地推定が可能であることを明らかにすることができた。その成果は『松戸市立博物館紀要』第31号で公表した。

渋谷 文雄(渋谷文雄一級建築士事務所)

研究テーマ

「縄文時代前期における大型住居址の建築史学的研究」

成果

幸田貝塚と同時代にあたる秋田県杉沢台遺跡における大型住居址を取り上げ、柱穴位置や規模について検討した。その成果は『松戸市立博物館紀要』第31号で公表した。

上守 秀明(公益財団法人千葉県教育振興財団文化財センター)

研究テーマ

「幸田貝塚発掘調査の再検討」

成果

幸田貝塚第1次～14次調査の図面類の整理・内容把握を終え、台帳化した。過去に展示図録で公表された遺構分布図と住居番号との対応関係が概ね明らかになった。

(2) 学芸員の活動

富澤 達三 専門分野：日本近世史・歴史民俗資料学

研究テーマ「動物から探る松戸の近世」「図像資料から探る松戸の近世」

[年間活動]

- ・講演会講師 学芸員講演会「古文書からさぐる松戸の江戸時代 庚申講とはなんだろう」(令和6年3月16日)

[外部機関等協力活動]

- ・神奈川大学日本常民研究所非文字資料研究センター、研究協力者(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

[所属学会]

- ・地方史研究協議会、関東近世史研究会、明治維新史学会、日本民俗学会、国際浮世絵学会

藤原 哲 専門分野：考古学

研究テーマ：「古代の武器・軍事組織の研究」

[年間活動]

- ・こども体験教室「親も楽しむ勾玉づくり」(令和5年8月6日)
- ・講座「古代の人口を考える」令和5年10月1日(日)～11月19日(日)までの隔週日曜日(全5回)
- ・講演会講師 学芸員講演会「埴輪からみた古墳時代の武人と武装」(令和6年1月28日)

[執筆]

- ・「武人形埴輪と武装」『季刊考古学』165号 特集古墳時代の甲冑(令和5年10月25日)
- ・「博物館のリニューアル事業について」『関東の博物館』48号(令和6年3月10日)

- ・「南関東における歴史人口の長期動態－千葉県松戸地域の事例から－」『松戸市立博物館紀要』第31号（令和6年3月31日）

[所属学会]

日本考古学協会、考古学研究会

西村 広経 専門分野：先史考古学

研究テーマ：「縄文時代後期中葉土器群の研究」「先史時代における社会複雑化過程の研究」

[年間活動]

- ・館蔵資料展「どきどきクロノロジー」担当（令和5年4月29日～6月11日）
- ・講演会講師 学芸員講演会 「土器の古さの測り方」（令和5年5月20日）

[外部機関等協力]

- ・ワークショップ講師 「縄文土器のひみつ」（野菊野こども館 令和6年8月2日）
- ・千葉大学非常勤講師 博物館資料論A （令和6年2月5日～令和6年3月4日）

[執筆]

- ・「土器型式編年論 後期」『縄文時代』34（令和5年5月27日）
- ・「考古学展示の理解を助ける参加型企画の実践」『松戸市立博物館紀要』第31号（令和6年3月31日）

[所属学会]

日本考古学協会 考古学研究会 青森県考古学会 早稲田大学考古学会 縄文時代文化研究会

林 幸太郎 専攻分野：日本近現代史

研究テーマ：「近代における開墾事業の実態と地域社会への影響に関する研究」
「華族・士族の社会的役割に関する研究」

[年間活動]

- ・企画展「あの日の“まつど”—写真でふりかえる150年—」共同担当（令和5年9月23日～11月12日）
- ・学芸員講演会「写真と文書でふりかえる“まつど、—松戸町・坂川普通水利組合・陸軍工兵学校—」（令和5年10月29日）

[外部機関等協力活動]

- ・犬山城白帝文庫 古文書を読む2「史料から探る明治期の成瀬家と旧犬山藩士」（犬山市民交流センター、令和5年11月18日）
- ・出前講座講師「ゲットユアドリーム」（松戸市立第六中学校、令和5年11月24日）
- ・八街市史編さん委員会近現代専門部会専門委員（令和5年4月1日～令和6年3月31日）
- ・公益財団法人徳川黎明会徳川林政史研究所非常勤研究員（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

[執筆]

- ・（共編著）『あの日の“まつど”—写真でふりかえる150年—』松戸市立博物館（令和5年9月21日）
- ・（共著）『人・物・お金にみる山村の暮らし—江戸時代の“かしも生活”④—』（公益財団法人徳川黎明会徳川林政史研究所、令和6年3月31日）

[所属学会]

明治維新史学会、地方史研究協議会、首都圏形成史研究会、千葉歴史学会、駒沢史学会

山田 尚彦 専門分野：日本民俗学・文化人類学

研究テーマ：「地域社会における民俗芸能の継承と葛藤に関する研究」
「近代知識の大衆化に関する歴史社会学的研究」

[年間活動]

- ・館蔵資料展「東北の伝統こけしと郷土玩具」担当（令和5年7月15日～8月27日）
- ・講演会講師 学芸員講演会「動くおもちゃと動かすおもちゃ—館蔵郷土玩具資料から—」松戸市立博物館（令和5年8月20日）

[執筆]

- ・「未来の家（Monsanto House of the Future）と工業化住宅—中村資料補遺」『松戸市立博物館紀要』

第31号 松戸市立博物館（令和6年3月31日）

[外部機関等協力活動]

・日本民具学会第19期評議員（令和4年10月1日～令和7年9月30日）

[所属学会]

日本文化人類学会、日本民具学会、文化資源学会、日本写真学会、メディア史研究会、文化財保存修復学会

中山 文人 専門分野：日本中世史・博物館学

研究テーマ：関東中世史の研究

[年間活動]

- ・企画展「あの日の“まつど”―写真でふりかえる150年―」共同担当（令和5年9月23日～11月12日）
- ・講演会講師 学芸員講演会「関宿城と小金城」松戸市立博物館（令和6年2月18日）
- ・講座講師「吾妻鏡を読む」（全5回、令和6年3月29日～5月24日）

[外部機関等協力活動]

- ・講演会講師 関宿城博物館友の会第1回勉強会「戦国末期の関宿城攻防と周辺史―小金領からも眺めてみる」（令和5年7月15日）
- ・明治大学学芸員養成課程特別講義講師 「歴史系地域博物館の学芸員の活動―展示を中心に―」（令和5年10月13日）
- ・パートナー講座講師 東葛退職者連合協議会「戦国時代の松戸市域や東葛のようす」（令和5年11月29日）

[執筆]

- ・（共編著）『あの日の“まつど”―写真でふりかえる150年―』松戸市立博物館（令和5年9月21日）

[所属学会]

千葉歴史学会、千葉城郭研究会、歴史学研究会、地方史研究協議会

青木 俊也 専門分野：民俗学

研究テーマ「戦後生活史展示の研究」「公団住宅団地生活史の研究」「葬墓習俗の研究」

[年間活動]

- ・体験教室講師「親も楽しむ 米づくりと展示づくり―小学生学芸員なろう―」（令和5年5月13日から令和6年2月4日まで 全9回）
- ・体験教室講師「裂き織りをしてみませんか」（令和6年2月7日、8日）
- ・講演会講師 学芸員講演会「森の田園都市 常盤平団地の緑地保全について」（令和5年11月25日）

[執筆]

- ・編集執筆 松戸市立博物館報告書8『「こどもミュージアム」展示開発に向けた制作途中報告書』（令和6年3月31日）
- ・執筆 「新しい「常盤平団地生活史展示」つくるための「展示の思考」」『松戸市立博物館紀要』第31号（令和6年3月31日）

[外部機関等協力活動]

- ・パートナー講座講師(松戸史談会)「森の住宅都市 常盤平団地の生活史」（令和5年6月14日）
- ・神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究科非常勤講師「博物館歴史資料学特論」（令和5年9月1日～令和6年3月31日）

[所属学会]

日本民俗学会、群馬歴史民俗研究会

6 資料の収集と利用

(1) 資料の収集

一次資料収集

受贈

・山口 美栄子 様



「出征旗」



「鉄砲」

・岡田 公治 様

「マッチ箱（東屋商店広告用）」

6点

「ぼたん園髪洗粉」

1点

「棟上用揃」

1点

「飛行服」

1点

「飛行帽」

1点

「革手袋」

1点

「革靴」

1点

「ブーツ」

1点



「飛行帽」(左)と「革手袋」

・渡辺 和幸 様

「渡辺寛氏所蔵文書」

99点



「恩田商店関係写真」

・富田 和宗 様

「出征旗」

1点

「〔富田政雄写真〕」

2点

「富田政雄著

『流れ去った時空 少年期のあの時間』」

1点

「富田政雄著

『傷ついた心のらくがき—亡き妻に捧ぐ—』」

1点

「富田政雄著・杉浦正八編纂

『八坂神社の生成と行事』」

1点



「消防頭巾」

・個 人

「消防頭巾」

1点

・新京成電鉄株式会社 様

「旧日本陸軍用用地境界標」

2点

・鍋嶋 輝好 様

「武蔵野線開業記念乗車券」

1点

・青木 源内 様

「松戸合同運送合資会社封筒」

2点

「帝国在郷軍人会東葛飾郡中部連合分合会封筒」

2点

・恩田 知加也 様

「恩田商店関係写真」

3点

・個 人

「陸軍衛生部正装一式」

1点

「思出集編纂募金御芳名簿（工兵会）」

1点

「独工11会会員名簿」

1点

「小川勇次氏写真」

1点

「独立工兵第二十三聯隊史」

1点

・津川 清 様

「津川清氏所蔵文書」

12点

・湯浅 郁香 様

「鉄砲」

3点

・待山 順俊 様

	「待山重雄氏所蔵文書」	250点
	「袴」	2点
	「着物」	2点
	「野良着」	4点
	「田舟」	1点
・米倉 利幸 様		
	「菊池秋雄『日本梨品種の果皮の色及其遺伝に就て』」	1点
・流山市立博物館 様		
	「幸田貝塚貝層断面パネル」	1点

寄託

・上本郷獅子講中 様	「上本郷獅子講中史料」	528点
	「上本郷獅子舞 獅子頭羽根飾り」	3点
・松戸 雅男 様	「錦果園関係資料」	55点
・石井 正人 様	「石井包人家文書」	1,227点

二次資料収集

受贈図書 215冊（団体19冊、個人196冊）

購入図書 38冊

交換図書 555冊

図書交換機関等 402カ所

購入逐次刊行物 38タイトル

受贈及び交換逐次刊行物 190タイトル

(2) 博物館資料の貸し出し

本年はなし

(3) 博物館資料の特別利用（令和5年4月1日～令和6年3月31日申請分）

No.	利用日	利用者	利用形態	目的	利用資料・点数
1	令和5年 4月10日～6月30日	秋田県立近代美術館	写真掲載	展示パネル・広報・SNSに掲載	片口土器集合写真(幸田貝塚出土) 1点
2	令和5年5月	個人	写真掲載	『邦楽ジャーナル』5月号に掲載	虚無僧寺 一月寺写真 1点
3	令和5年4月1日	サイバー・ネットコミュニケーションズ株式会社	写真掲載	『社会科資料集6年』(正進社発行)に掲載	幸田貝塚出土深鉢形土器 1点
4	令和5年5月30日	個人	調査・ 写真撮影	松戸市内出土の古銭の状態調査	行人台遺跡出土銭貨176点
5	令和5年8月中旬	個人	写真掲載	『(仮)庚申塔探訪記』に掲載	庚申講資料写真 1点
6	令和5年7月15日～ 令和6年2月25日	千葉県教育振興財団	図版掲載	展示パネルに利用	広重「富士三十六景下総小金原」1点
7	令和5年6月13日	株式会社 Art Stone Entertainment	写真撮影・ 動画撮影	バーチャルユーチューバーを使用した博物館の紹介・PR	館内設備、常設展など
8	令和5年6月11日	千葉県環境生活部自然保護課	写真掲載	千葉県誕生150周年記念行事オープニングイベント用のポスターに掲載	楊洲周延 温故東の花第五篇 將軍家於小金原御猪狩之図など 2点
9	令和5年7月24日	テレビ朝日映像株式会社	写真掲載	「じゅん散歩」番組内で使用	「二十世紀梨誕生の地」碑写真 1点

No.	利用日	利用者	利用形態	目的	利用資料・点数
10	令和5年8月1日	株式会社 ABCアーク	写真掲載	『親子で読める！歴史を遊びながら学べる！(小) 歴史Kids(大)』Vol.1に掲載	重要文化財幸田貝塚出土品(深鉢14) 1点
11	令和5年7月26日	個人	調査	3Dスキャンによる3次元データの取得、観察による資料調査	貝の花遺跡出土土器5点
12	令和5年7月19日	JCOM株式会社	動画撮影・使用	番組「GREEN ROCKETS TRY STATION」で放映	竪穴住居ほか
13	令和5年8月14日	株式会社 ABCアーク	写真掲載	『親子で読める！歴史を遊びながら学べる！(小) 歴史Kids(大)』Vol.1(電子版)に掲載	重要文化財幸田貝塚出土品(深鉢14) 1点
14	令和5年7月20日	株式会社 松戸よみうり新聞社	写真掲載	「ブリッジ」令和5年7月号に掲載	「竪穴住居」など写真18点
15	令和5年8月～ 令和7年7月	株式会社読売テレビエンタープライズ	動画使用	台湾ケーブルVIDEOLANDで放映	二十世紀梨 原木
16	令和5年7月24日～ 12月31日	NHK千葉放送局 経営管理企画センター新浦安G	写真掲載	NHK千葉放送局公式Twitterへ掲載	「新八柱駅」など10点
17	令和5年9月5日	千葉県総合企画部報道広報課	写真掲載	千葉県広報紙「ちば県民だより」に掲載	松戸覚之助肖像写真1点
18	令和5年8月20日	金ヶ作陣屋研究会	写真掲載	『わがふるさと金ヶ作陣屋と村の物語』(自費出版)へ転載	松戸市史 中巻 近世編&上巻(改訂版)「図43 享保7年実測の小金牧各内牧の略図」など9点
19	令和5年8月17日	まっどアソビティ	動画撮影	映像制作およびweb公開	総合展示室・主題展示室・企画展示室
20	令和5年8月30日～ 9月1日	個人	写真撮影	卒業論文の調査のため	貝の花遺跡5号住居跡出土土器80点
21	令和5年10月1日	丹波古陶館	写真掲載	丹波古陶館／篠山能楽資料館友の会の研究誌、芸術文化雑誌『紫明』第53号に掲載	深鉢形土器1点
22	令和5年11月30日	株式会社 有斐閣	図版掲載	『戦後日本社会論——「六子」たちの戦後(仮題)』に掲載	常盤平団地の2DK俯瞰図
23	令和5年9月～ 10月30日	戎光祥出版株式会社	写真掲載	『歴史研究』715号に掲載	河岸模型1点
24	令和5年9月21日～ 12月7日	株式会社 こどもりびんぐ あんふあん編集部	写真掲載	『あんふあん』12月号に掲載	竪穴住居の写真ほか2点
25	令和5年10月22日	個人	写真撮影	研究の調査のため	貝の花遺跡出土注口土器4点・後田遺跡出土注口土器2点
26	令和5年10月21日～	千葉県環境生活部自然保護課	図版掲載	千葉県ホームページへの掲載	楊洲周延 温故東の花第五篇 將軍家於小原御猪狩之図など2点
27	令和5年10月21日	303BOOKS株式会社	写真撮影・写真掲載	『令和の暮らし』に掲載	常盤平団地の2DK生活再現展示1式
28	令和5年10月20日	和名ヶ谷小学校	映像利用	教育・研究の資料とするため	DVD-R「三匹獅子舞 概要編 和名ヶ谷」1点
29	令和5年11月10日	こどもりびんぐ「あんふあん」編集部	写真掲載	保育園児とママの情報誌『ぎゅって』12月号の掲載	竪穴住居の写真1点
30	令和5年10月5日～ 12月13日	株式会社 いき出版	写真掲載	『写真が語る 松戸市の80年』に掲載	「扇屋デパート開店、東松戸駅東口」など写真77点
31	令和5年12月4日～ 12月23日	個人	図版利用	「武蔵野美術大学 助教・助手展2023」への出品	令和4年度企画展「こどもミュージアム」ポスター1点
32	令和5年11月	個人	図版掲載	『城跡の村の江戸時代』に掲載	寛永元年「[官途状]」(高橋家文書No.6など6点
33	令和5年10月31日	個人	写真撮影・写真掲載	日本史の学習コンテンツの資料としてWEBサイトとYouTubeに掲載	竪穴住居の外観など4点

No.	利用日	利用者	利用形態	目的	利用資料・点数
34	令和5年12月16日	一般社団法人路上博物館	写真撮影	博物館資料を題材とした作品制作のため	深鉢形土器(子和清水遺跡) 3点・土偶(貝の花遺跡) 3点
35	令和5年11月25日	株式会社URコミュニティ千葉北住まいセンター	写真利用	松戸市小金原団地「写真展」イベントでの写真展示	「北小金団地予定地」など写真26点
36	令和5年12月16日	インフィニティー・コミュニケーションズ株式会社	写真掲載	千葉県外外国人向けFacebookページにて、松戸市立博物館を紹介するため	常盤平団地の写真など3点
37	令和5年12月19日～	株式会社 いき出版	写真掲載	『写真が語る 松戸市の80年』に掲載	扇屋デパート開店 松戸駅東口の写真など73点
38	令和5年12月21日	個人	調査	卒業論文に関する資料調査のため	貝の花遺跡 第28号住居跡出土土器22点
39	令和6年1月10日	松戸市立博物館友の会	写真撮影・写真掲載	『友の会会報』に掲載	三春張子1点
40	令和6年1月17日	個人	写真掲載	根本内小学校における平和授業(戦争体験を語る)で使用	中部小学校慰霊祭(戦時中)の写真など5点
41	令和6年1月12日	プラモ合同会社	動画撮影・使用	BSフジ「統計ミステリーQ あなたの知らない日本」で放映	二十世紀梨の原木関連展示1式
42	令和6年3月1日～	株式会社 敬文舎	写真利用	『縄文社会と弥生社会』を電子化し、『eBook Library』で配信するため	貝を捨てた土坑＝下水遺跡2点・竪穴住居＝下水遺跡1点
43	令和6年1月14日	株式会社 よみうり新聞社	写真掲載	『松戸よみうり第893号』に掲載	墨書土器(『國厨』)2点・鍔帯金具2点
44	令和6年2月20日	株式会社 よみうり新聞社	写真掲載	松戸商工会議所会報紙『ブリッジ2月号』に掲載	墨書土器(「國厨」「石世」)など7点
45	令和8年1月31日～令和12年3月31日	サイバー・ネットコミュニケーションズ株式会社	写真掲載	株式会社帝国書院発行、文部科学省検定高校歴史総合教科書に掲載	常盤平団地の再現展示の写真1点
46	令和6年1月26日	路上博物館 3D撮影旅団	写真撮影	博物館資料を題材とした作品制作のため	深鉢形土器(幸田貝塚出土)3点
47	令和6年2月1日	個人	調査	金ヶ作地域の歴史研究のため	土屋武氏所蔵文書3点
48	令和6年2月13日～9月30日	府中市役所	写真掲載	『新 府中市史 近世 通史編』に掲載	金龍山一月寺旧蔵虚無僧法器の写真1点
49	令和6年3月1日	千葉県農林水産部生産振興課	写真掲載	JA全農とっとり機関誌『因伯之果樹 令和6年3月号』に掲載	松戸覚之助氏肖像写真など4点
50	令和6年3月29日	株式会社 新泉社	写真掲載	『貝輪の考古学―日本列島先史時代におけるオオツタノハ製貝輪の研究』に掲載	中峠遺跡出土イモガイ製品1点
51	令和7年4月1日～令和11年3月31日(予定)	株式会社 NHKエデュケーショナル	動画撮影・使用	令和7年度版 中学校美術教科書 準拠学習者用デジタル教科書、指導者用デジタル教科書に映像を収録	幸田貝塚出土土器1点
52	令和6年1月20日～3月17日	練馬区立石神井公園ふるさと文化館	図版利用	企画展「ナニコレ!? ねりまコレクション 収蔵品のなぞを解明しよう」の展示資料の説明のため	くけ台のイラスト(『昔のくらし探検(松戸編)p28)1点
53	令和6年3月27日～28日	個人	調査・写真撮影	学術調査のため	子和清水遺跡出土土器32点
54	令和6年4月5日	個人	写真撮影・写真利用	作品制作・アトリエに展示のため	土偶(貝の花遺跡)1点
55	令和6年4月5日～4月12日	新潟交通株式会社	写真掲載	募集旅行用チラシに掲載	「常盤平団地の誕生」居間1点
56	令和6年3月15日～4月20日	株式会社 かみゆ	写真掲載	『だからわかるシリーズ 日本近現代史』に掲載	「常盤平団地の誕生」居間の写真1点

(4) 資料の燻蒸等

[収蔵庫燻蒸]

殺虫・殺卵・殺菌を目的とする密閉燻蒸を行った。

期 間：令和5年6月19日（月）～6月26日（月）

対 象：第1～第4収蔵庫

委 託 先：関東港業（株）

使用薬剤：酸化プロピレン（商品名アルプ）

[燻蒸庫燻蒸]

①殺虫・殺卵を目的とする燻蒸庫燻蒸を行った。

②殺虫・殺卵・殺菌を目的とする燻蒸庫燻蒸を行った。

期 間：①令和5年11月28日（火）～12月12日（火）

②令和6年2月28日（水）～3月6日（水）

対 象：①（歴史資料）

②古文書・有形民俗資料

委 託 先：関東港業（株）

使用薬剤：①二酸化炭素

②酸化プロピレン（商品名アルプ）

[博学連携展資料燻蒸]

殺虫・殺卵を目的とする包み込み燻蒸を行った。

期 間：令和5年4月13日（木）～4月17日（月）

対 象：博学連携展展示資料

委 託 先：関東港業（株）

使用薬剤：二酸化炭素

[野外展示・復元竪穴住居]

殺虫を目的とする駆除作業を行った。

期 間：令和5年6月22日（木）～6月23日（金）

対 象：復元竪穴住居3棟

委 託 先：関東港業（株）

使用薬剤：フェノトリン炭酸製剤（商品名ミラケンS）

7 令和5年度 企画展・館蔵資料展アンケート結果

■ 調査方法と設問内容

調査は、アンケート用紙を企画展示室前ロビーに置き、記入を利用者の任意に任せた調査票自己記入式で行った。

各アンケートに共通する設問は、回答者の年齢、住所、来館回数、博物館に関する情報をどうやって入手したか、交通手段、職業、行動グループ、展示についての印象・感想である。

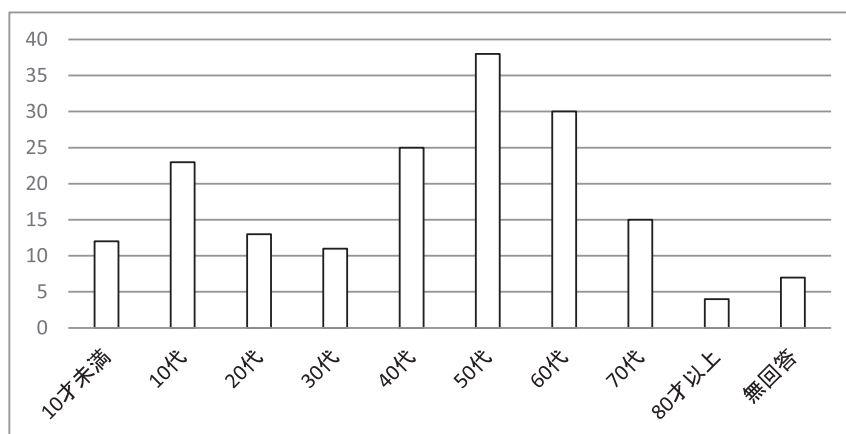
以下に、回答者の傾向を端的に示した“年齢”、“来館回数”、“満足度”という計3項目の結果をとりあげる。

(1) 館蔵資料展「どきどきクロノロジー」

- 観覧者数 4,041人
- アンケート有効回答者数 178件(回答率 44 %)
- 調査期間 令和5年4月29日(土祝)～6月11日(日)

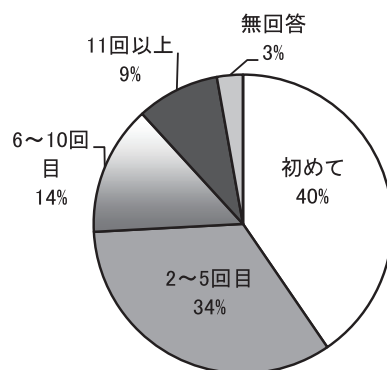
■ 回答者の年齢(件)

	計
10才未満	12
10代	23
20代	13
30代	11
40代	25
50代	38
60代	30
70代	15
80才以上	4
無回答	7
計	178



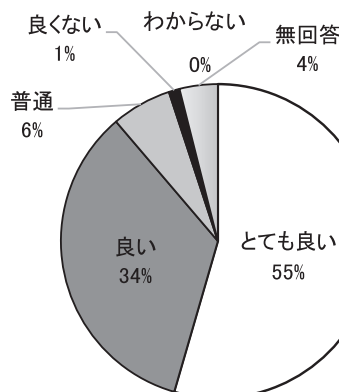
■ 来館回数(件)

初めて	72
2～5回目	60
6～10回目	25
11回以上	16
無回答	5
総計	178



■ 回答者の満足度(件)

展示について	
とても良い	97
良い	61
普通	11
良くない	2
わからない	0
無回答	7
総計	178

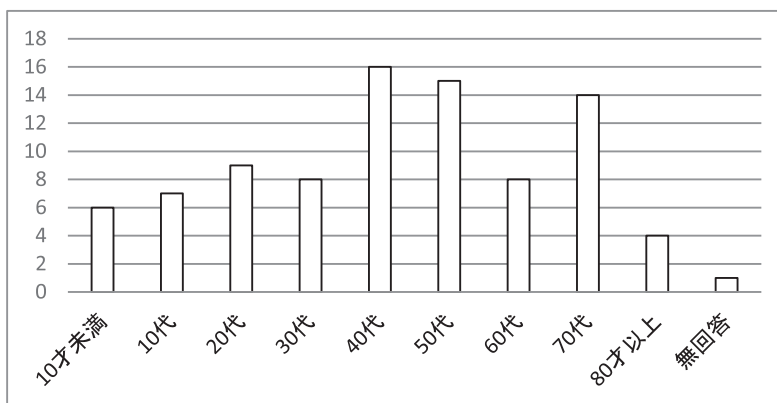


(2) 館蔵資料展「東北の伝統こけしと郷土玩具」

- 観覧者数 3,144人
- アンケート有効回答者数 88件(回答率 2.8%)
- 調査期間 令和5年7月15日(土)～8月27日(日)

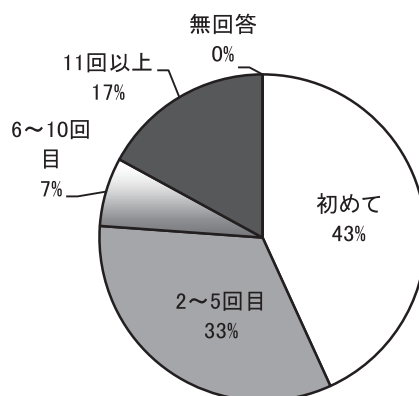
■回答者の年齢(件)

	計
10才未満	6
10代	7
20代	9
30代	8
40代	16
50代	15
60代	8
70代	14
80才以上	4
無回答	1
計	88



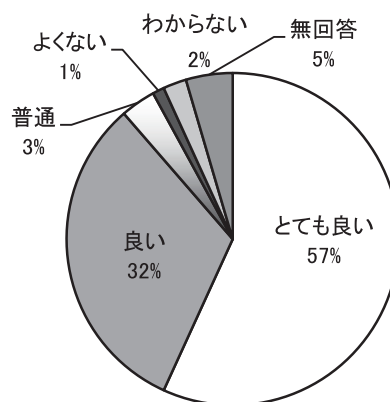
■ 来館回数(件)

初めて	38
2～5回目	29
6～10回目	6
11回以上	15
無回答	0
計	88



■ 回答者の満足度(件)

展示について	
とても良い	50
良い	28
普通	3
よくない	1
わからない	2
無回答	4
計	88

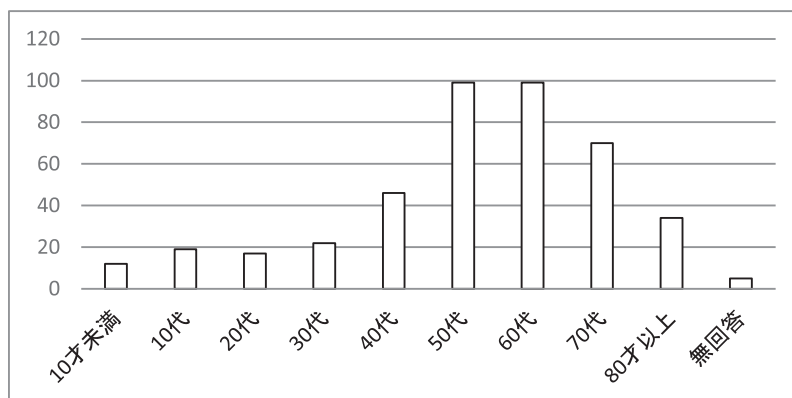


(3) 企画展「あの日の“まつど”—写真でふりかえる150年—」

- 観覧者数 8,489人
- アンケート有効回答者数 423件(回答率5.0%)
- 調査期間 令和5年9月23日(土・祝)～11月12日(日)

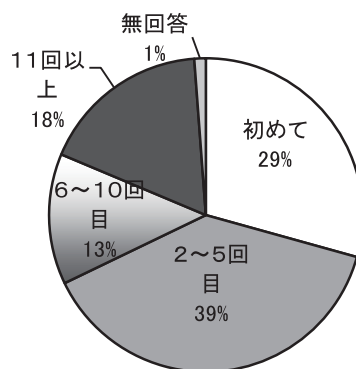
■ 回答者の年齢(件)

	計
10才未満	12
10代	19
20代	17
30代	22
40代	46
50代	99
60代	99
70代	70
80才以上	34
無回答	5
計	423



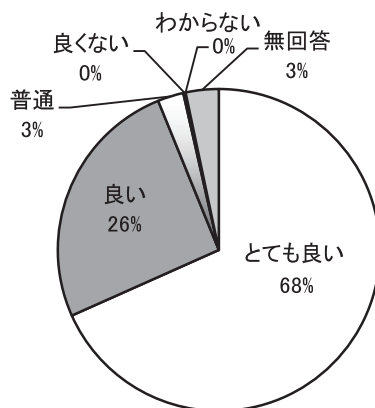
■ 来館回数(件)

初めて	124
2～5回目	163
6～10回目	57
11回以上	74
無回答	5
計	423



■ 回答者の満足度(件)

展示について	
とても良い	289
良い	108
普通	11
良くない	1
わからない	0
無回答	14
総計	423

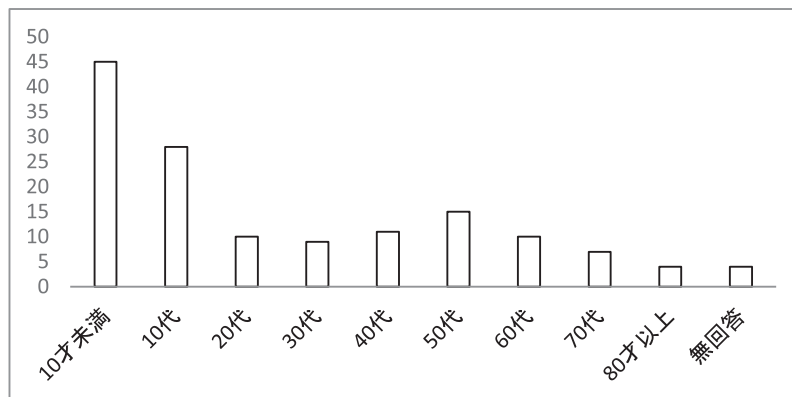


(4) 博学連携展示「松戸探検 100年前からのくらしのうつりかわり」

- 観覧者数 6,550人
- アンケート有効回答者数 143件(回答率 2.2%)
- 調査期間 令和6年1月16日(火)～3月20日(水・祝)

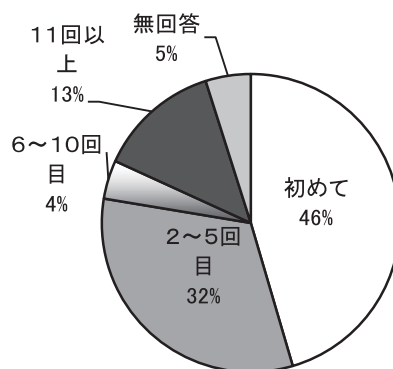
■ 回答者の年齢

	計
10才未満	45
10代	28
20代	10
30代	9
40代	11
50代	15
60代	10
70代	7
80才以上	4
無回答	4
計	143



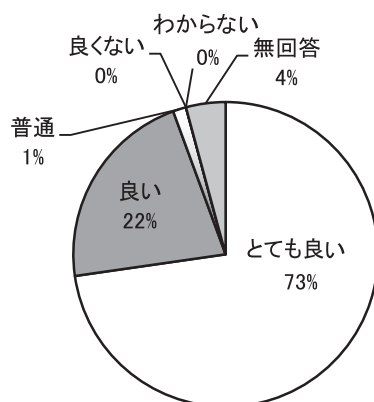
■ 来館回数(件)

初めて	65
2～5回目	46
6～10回目	6
11回以上	19
無回答	7
計	143



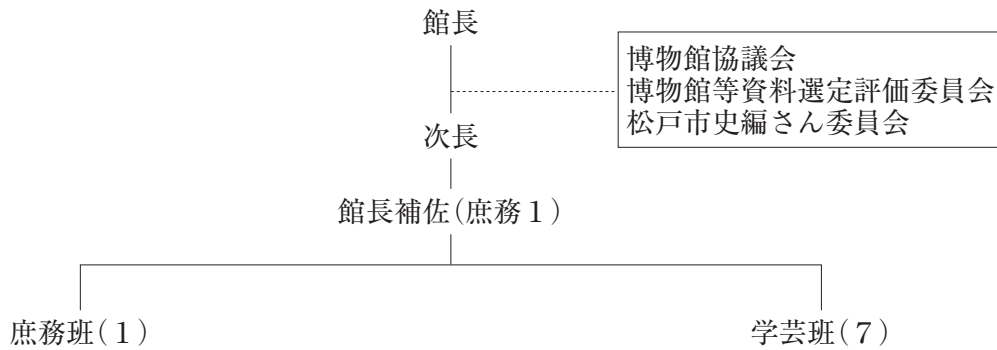
■ 回答者の満足度(件)

展示について	
とても良い	104
良い	31
普通	2
良くない	0
わからない	0
無回答	6
総計	143



IV 組織と運営

1 組織



2 歳出予算

(単位 千円)

事業 科目	予算額	内訳			
		管理 運営	展示 事業	学習 支援	資料 収集
報酬	304	204	0	0	100
賃金	0	0	0	0	0
報償	1,023	0	483	290	250
旅費	265	150	0	0	115
需用	32,044	23,529	4,316	1,406	2,793
役務	3,104	901	1,733	120	350
委託	118,971	96,204	14,831	564	7,372
使用	13,312	9,851	2,325	740	396
工事	0	0	0	0	0
原材	20	20	0	0	0
備品	3,904	1,000	363	118	2,423
負担	89	0	0	0	89
計	173,036	131,859	24,051	3,238	13,888

3 事務事業

事務事業名	事務事業の主な内容
博物館管理運営事業	施設の維持管理を目的としており、館利用者が安全で快適な環境で学習できるよう施設を整備する。また、博物館協議会において、適正な事業方針を審議する。
博物館展示事業	総合展示・主題展示・野外展示・映像展示で構成し、市民に郷土の歴史と文化への理解を深めてもらう。また、年4回程度、企画展・資料展・学習資料展を実施する。
博物館学習支援事業	歴史講座・体験教室・講演会等の開催、デジタル情報の提供、学校教育との連携などを図り、松戸の歴史文化等にかかわる最新情報を様々な媒体を通して提供する。
博物館歴史資料収集調査事業	松戸を中心とする歴史・文化・自然史等に関する資料の収集・保存及び調査研究を行い市民の共有の資産として後世に伝える。
市史編さん事業	市民に郷土の歴史を知ってもらい、郷土に対する誇りを育てるため、松戸市史の編さんを行う。 平成10年度に市長から諮問のあった『松戸市史 上巻』の改訂については、平成26年度に『松戸市史 上巻(改訂版)』の刊行を行ったので、現在は、市長からの諮問案件はない。

4 各種委員会等

(1) 博物館協議会

委員名簿

(令和6年3月31日現在)

区分	氏名	役職等
1号委員 学校関係者	藤崎 裕二	松戸市立常盤平第三小学校校長
	大西 一樹	松戸市立柿ノ木台小学校教諭
2号委員 社会教育関係者	岡田 啓時	松戸市立博物館友の会相談役
	谷鹿 栄一	千葉県立美術館 主任上席研究員
第3号 委員家庭教育の 向上に資する 活動を行う者	竹内やよい	松戸市PTA連絡協議会会長
	頓田絵里子	松戸市子ども会 育成連絡協議会役員
4号委員 学識経験者	佐藤 孝之	東京大学名誉教授(近世史)
	小島 孝夫	成城大学教授(民俗学)
	日高 慎	東京学芸大学教授(考古学)
	百原 新	千葉大学大学院教授(古生態学)

任期2年 令和7年9月30日まで

※令和5年9月30日で大野寿、山口恵理子、百田清美、濱島正士が退任
令和5年10月1日に藤崎裕二、竹内やよい、頓田絵里子、百原新が就任

第1回協議会

令和5年7月22日(土)

会場：博物館実習室

議題：(1)令和4年度企画展「こどもミュージアムの報告について」
(2)博物館資料3Dアーカイブ事業について
(3)館蔵資料展「東北の伝統こけしと郷土玩具」内覧について

第2回協議会

令和5年11月12日(日)

会場：博物館実習室

議題：(1)会長・副会長の互選について
(2)「松戸市立博物館リニューアル基本構想・基本計画」について(こどもミュージアムについて)
(3)企画展「あの日の“まつど”一写真でふりかえる150年一」内覧について

第3回協議会

令和6年3月10日(日)

会場：博物館実習室

議題：(1)歴史資料所在調査の進捗について
(2)博学連携展示「松戸探検 100年前からのくらしのうつりかわり」内覧について

(2) 博物館等資料選定評価委員会

委員名簿

(令和6年3月31日現在)

氏名	専門	役職等
安蒜 政雄	考古	明治大学名誉教授
岡塚 章子	写真	江戸東京博物館 都市歴史研究室長
久保田昌希	歴史	駒澤大学名誉教授
佐野 賢治	民俗	神奈川大学名誉教授
小泉 雅弘	歴史	駒澤大学教授

任期2年 令和7年3月31日まで

※令和5年3月31日で渡辺尚志が退任
令和5年4月1日に小泉雅弘が就任

(3) 松戸市史編さん委員会

※「3 事務業務」にて記載のとおり、平成10年度に市長から諮問のあった事業については、平成26年度で終了したので、現在市長からの諮問案件はない。

5 博物館利用者数の統計

利用者総計 74,370人

利用者の内訳は以下の通りである。

常設展示観覧者数（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

月	開館日数(日)	有 料 観 覧 者 数 (人)					無 料 観 覧 者 数 (人)								観覧者 総計 (人)
		個 人		団 体		有料 観覧者 計	学習 活動	身体 障害者	70歳 以上	中学生 以下	視察等	友の会	無料 開放日	無料 観覧者 数	
		一 般	高校生 大学生	一 般	高校生 大学生										
4	25	700	21	0	0	721	0	71	59	295	12	6	424	867	1,588
5	25	802	36	0	0	838	59	72	44	232	27	11	549	994	1,832
6	20	433	20	45	2	500	512	45	36	128	20	9	125	875	1,375
7	25	602	31	17	0	650	218	64	29	253	14	3	0	581	1,231
8	27	901	41	0	0	942	39	112	57	450	35	5	0	698	1,640
9	25	709	57	0	0	766	96	100	57	232	26	11	0	522	1,288
10	26	889	58	10	0	957	173	128	174	234	21	11	0	741	1,698
11	25	940	41	8	0	989	73	124	123	321	33	11	707	1,392	2,381
12	22	447	26	16	0	489	131	56	39	220	22	3	0	471	960
1	22	646	37	88	0	771	269	55	37	240	35	7	0	643	1,414
2	25	853	27	0	0	880	1,123	82	45	389	65	5	0	1,709	2,589
3	27	836	42	39	0	917	192	67	48	477	12	11	0	807	1,724
計	294	8,758	437	223	2	9,420	2,885	976	748	3,471	322	93	1,805	10,300	19,720

企画展示等観覧者数

展覧会	開催期間	開館 日数 (日)	有 料 観 覧 者 数 (人)				無 料 観 覧 者 数 (人)								観覧者 総計 (人)	
			個人		団体		有料 観覧者 計	学習 活動	身体 障害者	70歳 以上	中学生 以上	視察等	友の会	無料 開放日		無料 観覧者 数
			一般	高校生 大学生	一般	高校生 大学生										
館蔵資料展 「どきどきクロノロジー」	R5.4.29～ R5.6.11	37													4,041	4,041
館蔵資料展 「東北の伝統こけしと郷土玩具」	R5.7.15～ R5.8.27	37													3,144	3,144
企画展「あの日の“まつど”一写 真でふりかえる150年―」	R5.9.23～ R5.11.12	44													8,489	8,489
博学連携展示「松戸探検 100年 前からのくらしのうつりかわり」	R6.1.16～ R6.3.20	55													6,550	6,550
小計															22,224	22,224
第 8 回博物館アワード作品展	R5.11.25～ R5.12.10	14													1,204	1,204
計															23,428	23,428

※令和5年度の館蔵資料展等は無料展示であり、観覧者の内訳を把握していない。

博物館無料ゾーン利用者

博 物 館 施 設 名	プレイルーム	映像展示	野外展示	講座・講演会等参加者	合 計
日 数（日）	294	290	284	－	－
利 用 者 総（人）	8,770	1,437	18,503	2,512	31,222

博物館利用者総計（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

単位：人

	令和4年度	令和5年度	前年度比較
常 設 展 示 観 覧 者 数	18,058	19,720	1,662
企画展・特別展示等観覧者数	18,548	23,428	4,880
博 物 館 無 料 ゾ ーン 利 用 者	30,609	31,222	613
利用者総計	67,215	74,370	7,155

博物館利用者総数の推移

単位：人

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利 用 者 総 数	69,790	71,738	78,148	74,481	73,628	81,412	57,676	42,645	65,885	67,215	74,370
常設展示観覧者数	16,968	17,052	17,593	15,942	16,437	20,777	12,666	12,389	18,636	18,058	19,720
企画展・特別展示等観覧者数	19,432	20,431	23,220	19,288	19,985	23,653	14,381	12,353	19,160	18,548	23,428
うち) 企画展観覧者数	2,576	2,641	3,809	2,917	4,153	8,959	5,109	5,109	6,216	2,922	8,489
その他展示観覧者数	16,856	17,790	19,411	16,371	15,832	14,694	9,272	9,682	12,944	15,626	14,939
講座・講演会等参加者数	3,259	3,291	3,052	5,999	6,910	6,554	2,598	399	861	1,886	2,512



6 来訪者(敬称略)

令和5年

4月28日	松戸経済新聞(取材)
7月14日	J:COM、松戸経済新聞(取材)
8月16日	早稲田システム開発株式会社(取材)
10月12日	日テレアックスオン株式会社(取材)

V 条 例 ・ 規 則

松戸市立博物館条例

(平成4年9月24日 松戸市条例第28号)

(趣旨)

第1条 この条例は、松戸市立博物館(以下「博物館」という。)の設置及び管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 本市は、市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、博物館を次のとおり設置する。

名 称	位 置
松戸市立博物館	松戸市千駄堀671番地

(管理)

第3条 博物館は、松戸市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が管理する。

(職員)

第4条 博物館に館長、学芸員その他必要な職員を置く。

(事業)

第5条 博物館は、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 歴史、考古、民俗、自然史等に関する実物、標本、模写、模型、文献、図表、フィルム等の資料(以下「博物館資料」という。)を収集し、保管し、及び展示すること。
- (2) 博物館資料に係る電磁的記録(電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によっては認識することができない方式で作られた記録をいう。)を作成し、公開すること。
- (3) 博物館資料に関する調査研究を行うこと。
- (4) 博物館資料に関する案内書、解説書、目録、図録、年報、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- (5) 博物館資料に関する講演会、講習会、研究会等を開催すること。
- (6) 博物館資料の利用に関し必要な説明、助言及び指導を行うこと。
- (7) 他の博物館、美術館、文書館、図書館、学校その他学術又は文化に関する施設との相互協力に関すること。
- (8) その他教育委員会が必要と認める事業

(観覧料)

第6条 博物館に展示されている博物館資料を観覧しようとする者は、別表に定める観覧料を納入しなければならない。

2 教育委員会は、特に必要と認める場合におい

ては、前項の観覧料を免除することができる。

3 既納の観覧料は、返還しない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、返還することができる。

(入館の制限及び退館)

第7条 教育委員会は、次の各号の一に該当すると認めるときは、入館を禁止し、又は退館させることができる。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれのあるとき。
- (2) 博物館の施設、展示品等を損壊するおそれのあるとき。
- (3) その他博物館の管理上支障があるとき。

(博物館協議会)

第8条 博物館法(昭和26年法律第285号)第23条第1項の規定により、博物館に松戸市立博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会は、委員10人以内で組織し、次に掲げる者のうちから、教育委員会が任命する。

- (1) 学校教育関係者
- (2) 社会教育関係者
- (3) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (4) 学識経験者

3 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 前2項に定めるもののほか、協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、教育委員会が規則で定める。

(委任)

第9条 この条例に定めるもののほか、博物館の管理に関し必要な事項は、教育委員会が規則で定める。

附 則

この条例は、公布の日から起算して8か月を超えない範囲内において教育委員会が規則で定める日から施行する。

(平成5年3月松戸市教育委員会規則第2号で、同5年4月29日から施行)

附 則(平成10年3月27日松戸市条例第11号)

この条例は、平成10年4月1日から施行する。

附 則(平成13年6月21日松戸市条例第23号)

この条例は、平成13年10月1日から施行する。

附 則(平成23年3月30日松戸市条例第11号)

この条例は、平成23年4月1日から施行する。

附 則(平成24年3月29日松戸市条例第7号)
この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(平成31年3月26日松戸市条例第18号抄)
(施行期日)

1 この条例は、平成31年10月1日から施行する。

附 則(令和5年3月30日松戸市条例第6号)
この条例は、令和5年4月1日から施行する。

別表(第6条関係)

区 分		観覧料(1人1回につき)	
		個人	団体(20人以上)
常設展示	一般	310円	250円
	高校生・大学生	150円	100円
	中学生以下	無料	無料
企画・特別展示	次の各号に掲げる額を超えない範囲内において、その都度展示内容に応じ、教育委員会が定める。ただし、中学生以下の者に係る観覧料にあっては、無料とする。		
	(1) 一 般	1,200円 (共通観覧料については、1,440円)	
	(2) 高校生・大学生	600円 (共通観覧料については、700円)	

松戸市立博物館管理運営規則

(平成5年3月26日松戸市教育委員会規則第3号)

(趣旨)

第1条 この規則は、松戸市立博物館条例(平成4年松戸市条例第28号。以下「条例」という。)第9条の規定により、松戸市立博物館(以下「博物館」という。)の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 博物館の開館時間は、午前9時30分から午後5時までとする。ただし、博物館への入館時間は、午後4時30分までとする。

2 松戸市教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、必要と認めるときは、前項に規定する開館時間及び入館時間を変更することができる。

(休館日)

第3条 博物館の休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、臨時に休館し、又は休館日を変更することができる。

(1) 月曜日

(2) 1月1日から4日まで及び12月28日から31日まで

(3) 館内整理日(毎月第4金曜日とする。ただし、その日が国民の祝日に関する法律(昭和23

年法律第178号)に規定する休日(以下「祝日法による休日」という。)である場合は、この限りでない。)

2 前項第1号の規定にかかわらず、同号に規定する日が祝日法による休日に当たるときは、その日後において、その日に最も近い祝日法による休日でない日を休館日とする。

(観覧券の交付)

第4条 条例第6条第1項の規定により、所定の観覧料を徴収したときは、観覧券(第1号様式)を交付するものとする。

(観覧料の免除等)

第5条 条例第6条第2項の規定により、観覧料を免除することができる場合は、次に掲げるとおりとする。

(1) 高校生、大学生及び大学生以下の者を引率する者が教育課程に基づく学習活動として観覧するとき。

(2) 博物館が開催する講演会、講習会、研究会等に参加する者が観覧するとき。

(3) 身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びその介護人(手帳の交付を受けている者1人につき1人に限る。)が観覧するとき。

(4) 市内に居住する70才以上の者が観覧するとき。

(5) 県民の日を定める条例(昭和59年千葉県条例第3号)第2条に定める日に観覧するとき。

(6) その他教育委員会が必要と認めたとき。

2 観覧料の免除を受けようとする者で前項第1号に該当するものは、あらかじめ博物館観覧料免除申請書(第2号様式)を教育委員会に提出し、承認を受けなければならない。

(観覧料の返還)

第6条 条例第6条第3項ただし書の規定により、観覧料の返還を受けようとする者は、博物館観覧料返還申請書(第3号様式)を教育委員会に提出し、承認を受けなければならない。

(資料の貸出し)

第7条 教育委員会は、次の各号に掲げる者に対し、博物館業務に支障がないと認めるときは、博物館で所蔵する資料を貸し出すことができる。

(1) 国立博物館、博物館法(昭和26年法律第285号)第2条第1項の規定による博物館及び同法第31条第1項の規定により博物館に相当する施設として指定を受けた施設の設置者

(2) 前号に掲げる者のほか、教育委員会において特に認める者

2 博物館資料の貸出しを受けようとする者は、

博物館資料貸出申請書(第4号様式)を教育委員会に提出し、博物館資料貸出許可書(第5号様式)の交付を受けなければならない。

- 3 博物館資料の貸出期間は、60日以内とする。ただし、教育委員会が必要があると認めるときは、これを延長することができる。

(文献等の閲覧等)

第8条 教育委員会は、必要があると認めるときは、博物館で所蔵する資料のうち文書及び図書(以下「文献等」という。)の閲覧又は複写(文書については、マイクロフィルムに保存されているものに限る。)をさせることができる。

- 2 文献等を閲覧しようとする者は、博物館文献等閲覧許可申請書(第6号様式)を教育委員会に提出し、博物館文献等閲覧許可証(第7号様式)の交付を受けなければならない。

- 3 博物館文献等閲覧許可証の有効期間は、交付の日から1年とする。

- 4 文献等の複写を希望する者は、博物館文献等複写申請書(第8号様式)により教育委員会の許可を受けなければならない。

(閲覧又は複写の制限)

第9条 教育委員会は、次の各号に掲げる文献等の閲覧又は複写を許可しないものとする。

- (1) 未公開及び未整理のもの
- (2) 保存に影響を及ぼすおそれがあると認められるもの
- (3) 寄託された文献等で寄託者の同意を得ていないもの
- (4) その他教育委員会が不適当と認めたもの

(入館者の遵守事項)

第10条 博物館の入館者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 施設、設備、展示資料等を汚損し、又は損傷しないこと。
- (2) 許可なく展示資料の写真撮影、模写等の行為を行わないこと。
- (3) 所定の場所以外において喫煙し、飲食し、又は火気を使用しないこと。
- (4) 無断で広告その他これに類するものを掲示又は配布しないこと。
- (5) 他人に危害を加え、又は迷惑となる行為をしないこと。
- (6) 前各号に定めるもののほか、教育委員会の指示に従うこと。

(所掌事務)

第11条 博物館の所掌事務は、別表のとおりとする。

(職務)

第12条 館長は、博物館の事務を掌理し、職員を指揮監督する。

- 2 次長は、館長を補佐し、所属の事務を統轄する。

- 3 館長補佐は、館長及び次長を補佐する。

- 4 その他の職にある者は、上司の命を受け、担任事務を処理する。

(博物館協議会の会長等)

第13条 条例第8条第1項に規定する博物館協議会(以下「協議会」という。)に会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

- 2 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(博物館協議会の会議等)

第14条 協議会の会議は、会長が招集し、議長となる。

- 2 協議会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。

- 3 会議の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

- 4 協議会は、特に必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、意見又は説明を聴くことができる。

- 5 協議会の会議は、公開を原則とする。ただし、協議会において会議を公開しないと認めたときは、この限りでない。

- 6 協議会の庶務は、文化財保存活用課において処理する。

- 7 前各項に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

(委任)

第15条 この規則に定めるもののほか必要な事項は、教育長が定める。

附 則

この規則は、平成5年4月29日から施行する。

附 則(平成6年3月31日松戸市教育委員会規則第9号)

この規則は、平成6年4月1日から施行する。

附 則(平成6年3月31日松戸市教育委員会規則第10号)

この規則は、平成6年4月1日から施行する。

附 則(平成7年3月2日松戸市教育委員会規則第5号)

この規則中、第5条第1項の改正規定は平成7年4月1日から、第11条に1号を加える改正規定は公布の日から施行する。

附 則(平成8年3月14日松戸市教育委員会規則第3号)

この規則は、平成8年4月1日から施行する。

附 則(平成10年3月26日松戸市教育委員会規則第9号)
この規則は、平成10年4月1日から施行する。

附 則(平成13年7月11日松戸市教育委員会規則第12号)
この規則は、平成13年10月1日から施行する。

附 則(平成14年3月4日松戸市教育委員会規則第1号)
この規則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則(平成20年3月31日松戸市教育委員会規則第8号)
この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則(平成23年3月30日松戸市教育委員会規則第3号)
この規則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則(平成24年3月30日松戸市教育委員会規則第4号)
この規則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(平成25年3月15日松戸市教育委員会規則第4号)
この規則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則(平成30年3月13日松戸市教育委員会規則第2号)
この規則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則(令和4年3月29日松戸市教育委員会規則第6号)
この規則は、令和4年4月1日から施行する。

附 則(令和5年1月30日松戸市教育委員会規則第1号)
この規則は、令和5年4月1日から施行する。

別表(第11条関係)

- ・博物館協議会に関する事。
- ・資料選定評価委員会に関する事。
- ・市史編さんに関する事。
- ・市史編さん委員会に関する事。
- ・関係団体との連絡調整に関する事。
- ・資料の収集、保存及び展示に関する事。
- ・資料の調査及び研究に関する事。
- ・資料に関する講座、講演会、研究会等の開催に関する事。
- ・資料に関する目録、解説書、図録、調査研究、報告書等の作成に関する事。
- ・資料に関する相談、情報提供に関する事。
- ・博物館資料に関する閲覧、貸出等についての許可に関する事。
- ・博物館資料の寄贈、寄託に関する事。
- ・他の博物館、図書館、学校等との連絡及び協力に関する事。
- ・その他博物館の専門的事項に関する事。

第1号様式～第8号様式 省略

松戸市立博物館等資料選定評価委員会条例

(平成26年12月25日松戸市条例第28号)

(設置)

第1条 地方自治法(昭和22年法律第67号)第138条の4第3項の規定に基づき、松戸市立博物館

等資料選定評価委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(所掌事務)

第2条 委員会は、松戸市立博物館及び松戸市戸定歴史館における歴史に関する資料(以下「歴史資料」という。)の収集を適正かつ円滑に行うため、松戸市教育委員会(以下「教育委員会」という。)の諮問に応じ、次に掲げる事項について調査審議する。

- (1) 歴史資料の真がんに関する事項
- (2) 歴史資料の価格の適否に関する事項
- (3) 歴史資料の寄贈及び寄託の受入れ又は購入の適否に関する事項
- (4) 前3号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める事項

(組織)

第3条 委員会は、委員5人以内をもって組織する。

(委員)

第4条 委員は、学識経験を有する者その他教育委員会が必要と認める者のうちから教育委員会が委嘱する。

2 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、また、同様とする。

(任期)

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(委員長及び副委員長)

第6条 委員会に委員長及び副委員長各1人を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第7条 委員会の会議は、委員長が招集し、委員長がその議長となる。

2 委員会は、委員の過半数の出席がなければ会議を開くことができない。

3 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(意見の聴取等)

第8条 委員会は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の専門的知識を有する者の出席を求め、意見若しくは説明を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

(委任)

第9条 この条例に定めるもののほか、委員会の組織及び運営に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、平成27年4月1日から施行する。
(特別職の職員の給与及び費用弁償の支給に関する条例の一部改正)
- 2 特別職の職員の給与及び費用弁償の支給に関する条例(昭和31年松戸市条例第15号)の一部を次のように改正する。
別表2に次のように加える。

松戸市立博物館等資料選定評価委員会委員	日額 20,000円
---------------------	------------

※「松戸市立博物館等資料選定評価委員会設置要綱」については、「松戸市立博物館等資料選定評価委員会条例」(平成26年12月25日松戸市条例第28号)として条例化されたことに伴い、平成27年3月31日付で廃止となった。

松戸市史編さん委員会条例

(昭和55年3月26日松戸市条例第3号)

(設置)

第1条 郷土をより深く理解することによつて市民の愛郷心を振起させ、あわせて市勢発展の基礎資料となる松戸市史を編さんするために、松戸市史編さん委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、市長の諮問に応じ、松戸市史の編さんについて調査審議する。

(組織)

第3条 委員会は、5人の編さん委員で組織し、次に掲げる者のうちから市長が委嘱又は任命する。

- (1) 学識経験者
- (2) 市の職員

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。

- 2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、これを代理する。

(招集及び会議)

第6条 会議は、委員長が招集する。

(委任)

第7条 この条例に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、昭和55年4月1日から施行する。
(松戸市誌編さん委員会条例の廃止)
- 2 松戸市誌編さん委員会条例(昭和28年松戸市条例第23号)は、廃止する。
(松戸市役所部課設置条例の一部改正)
- 3 松戸市役所部課設置条例(昭和38年松戸市条例第3号)の一部を次のように改正する。
第2条総務部の項中「市誌編さん」を「市史編さん」に改める。

松戸市立博物館研究員設置要綱

(目的)

第1条 この要綱は、松戸市立博物館(以下「博物館」という。)の資料整備並びに学校教育及び社会教育における博物館の活用に関し、専門的な調査研究に資するため、博物館に研究員をおく。

(定数)

第2条 研究員の定数は、8人を超えない範囲内において、館長が定める。

(委嘱)

第3条 研究員は、博物館の業務に関し、学識経験を有する者のうちから、博物館館長が委嘱する。

(任期)

第4条 研究員の任期は、1年とする。ただし、年度中途に委嘱された研究員の任期は、当該年度末までとする。

(職務)

第5条 研究員は、次に掲げる職務に従事する。

- (1) 博物館の資料の収集、保管、展示等に関する専門的、技術的な調査研究
- (2) 学校教育及び社会教育における博物館の活用に関する専門的な調査研究
- (3) その他博物館の事業に関する専門的な調査研究

(会議)

第6条 館長は、研究員の職務の円滑な遂行を図るため、必要と認めるときは、研究員の会議を開催することができる。

(委任)

第7条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、館長が定める。

附 則

この要綱は、平成5年12月1日から施行する。

博物館資料の利用に関する要綱

(目的)

第1条 この要綱は、松戸市立博物館管理運営規則(平成5年3月26日松戸市教育委員会規則第3号)に定めるもののほか、松戸市立博物館(以下「博物館」という。)の博物館資料(博物館法(昭和26年12月1日法律第285号)第2条第4項に規定する博物館資料をいう。)の利用に関し必要な事項を定めるものとする。

(資料の館外貸出し)

第2条 博物館資料(以下「資料」という。)の貸出しを受けたものは、任意の書式による当該資料の借用書を提出するものとする。

2 資料の貸出しを受けたものは、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 貸出資料の取扱いは、学芸員又はこれと同等の技能を有すると認められる者が行うこと。
- (2) 貸出資料の保管等のために要する費用は、全て貸出しを受けたものが負担すること。
- (3) 貸出資料を博物館資料貸出許可書(松戸市立博物館管理運営規則第5号様式)に記載された貸出目的以外の用に供してはならないこと。
- (4) 博物館資料貸出許可書に記載された事項を遵守すること。
- (5) 貸出資料を展示する場合は原則としてケース内展示とし、松戸市立博物館所蔵の旨を明示すること。
- (6) 貸出しを受けたものが貸出資料を滅失し又は毀損したときは、これによって生じた損害を賠償すること。
- (7) 博物館職員の指示に従うこと。
- (8) その他必要と認める条件。

3 貸出の条件に反する行為があるとき又は館務の都合により必要があるときは、貸出期間中であっても当該博物館資料の返還を求めることができる。この場合において生じた損害については、教育委員会はその責を負わないものとする。

(特別利用の申し込み)

第3条 資料を学術上の研究等のため特に利用しようとするものは、博物館資料特別利用申込書(様式第1号)を提出し、博物館資料特別利用承認書(様式第2号)の交付を受けるものとする。この場合において、対象の資料が寄託資料であるときは、所有者の承諾書を合わせて提出しなければならない。

2 前項の規定に関わらず、利用しようとする資料が博物館が所有し若しくは著作権を保有する写真資料等又は映画の著作物の場合は、写真資料等特別利用申込書(様式第3号)又は映像資料特別利用申込書(様式第4号)を提出し、写真資料等特別利用承認書(様式第5号)又は映像資料特別利用承認書(様式第6号)の交付を受けるものとする。

3 特別利用の承認を受けたものは、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 承認書に記載された目的以外の用に供してはならないこと。
- (2) 承認書に記載された事項を遵守すること。
- (3) 出版物等に掲載する場合は松戸市立博物館所蔵の旨を明示し、博物館(寄託資料にあっては博物館及び資料の所有者)に当該出版物等を1部寄贈すること。
- (4) 利用にあたっては、博物館職員の指示に従うこと。
- (5) その他必要と認める条件。

(寄贈)

第4条 博物館に資料を寄贈しようとするものは、博物館資料寄贈申込書(様式第7号)を提出し、博物館資料受領書(様式第8号)の交付を受けるものとする。

(寄託)

第5条 博物館に資料を寄託しようとするものは、博物館資料寄託申込書(様式第9号)を提出し、博物館資料受託書(様式第10号)の交付を受けるものとする。

2 受託した博物館資料の館外貸出及び特別利用は、寄託者の承諾がある場合のほかは、行うことができない。

3 博物館資料の寄託期間は、受託した日の属する年度の4月1日から起算して1年とする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、期間を延長することができる。

4 寄託者が寄託期間の満了前に寄託契約を終了し資料の返還を求めるときは、寄託資料返還申込書(様式第11号)を提出するものとし、資料の返還を受けた後に教育委員会に任意の書式によ

る受領書を提出するものとする。

- 5 博物館資料受託書を滅失又は破損したときは、寄託者はこれらの事由を記載した書面を提出して博物館資料受託書の再交付を受けなければならない。

(寄託資料の一時返還)

第6条 寄託資料の一時返還を求めるときは、寄託資料一時返還申込書(様式第12号)を提出する。

- 2 一時返還の期間は60日を限度とする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、期間を延長することができる。

(寄託資料の所有者変更)

第7条 寄託者の都合により受託資料の所有権が移転するときは、寄託者は寄託資料所有者変更届(様式第13号)又は博物館資料寄託申込書(様式第9号)を提出し、新たに博物館資料受託書(様式第10号)の交付を受けなければならない。

(資料の一時預かり)

第8条 博物館が調査のためにその所有に属さない資料の一時預かりをするときは、資料一時預かり書(様式第14号)を交付し、資料を返却したときは資料受領書(様式第15号)を受領するものとする。

(様式)

第9条 前条までの規定に関わらず、教育委員会が必要と認めるときは他の書式により行うことができる。

(委任)

第10条 この要綱の施行に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

- 1 この要綱は、令和5年7月1日から施行する。
- 2 松戸市立博物館資料取り扱い及び特別利用に関する要綱(平成5年12月1日施行)は廃止する。

松戸市立博物館紀要投稿規程

(目的)

第1条 この規程は、松戸市立博物館紀要(以下「紀要」という。)への投稿に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(資格)

第2条 紀要に投稿することができる者は、次の各号に定めるものとする。

- (1) 投稿時において松戸市立博物館の職員であ

る者

- (2) 投稿時において松戸市立博物館の研究員である者
- (3) 過去において松戸市立博物館の職員であった者
- (4) 松戸市立博物館が投稿を依頼した者
- (5) その他松戸市教育委員会が適当と認めた者

(審査)

第3条 原稿の掲載の可否は、松戸市立博物館紀要査読規程(平成23年10月1日施行。以下「査読規程」という。)にもとづいて松戸市立博物館紀要編集委員会(以下「編集委員会」という。)で査読の上決定し、著者に通知するものとする。

(投稿区分と枚数)

第4条 紀要の投稿区分と枚数は、次の各号に定めるところによる。

- (1) 論文70枚以内(400字詰原稿用紙換算)
- (2) 研究ノート50枚以内(同上)
- (3) 資料紹介30枚以内(同上)
- (4) その他 編集委員会の定めるところによる

2 前項の枚数には、本文、注、参考文献、図表を含めるものとする。

3 投稿する原稿は、未発表のものに限る(刊行予定のものは既発表とみなす)。

(投稿形式)

第5条 投稿の形式は、原則として電子文書によるものとし、電子メールの添付ファイルとして送信し、又は電子媒体を編集委員会事務局宛てに送付する方法によるものとする。併せて、電子文書とは別に、紙媒体に印字された原稿を一部送付する。

2 前項の規定にかかわらず、編集委員会が特に必要と認めたときは、紙媒体による投稿をすることができる。この場合における投稿部数は、4部とする。

3 前2項の原稿を投稿するときは、図1に示す投稿票を添付するものとする。

(締切)

第6条 投稿の締め切りは、毎年10月31日とする。

(校正)

第7条 原稿が受理された以後の本文の書き直しは、校正(明らかな誤字脱字を訂正することをいう。)を除き、これを認めない。

2 前項に規定する校正には、松戸市立博物館紀要執筆要領(以下「執筆要領」という。)にもとづいて形式を訂正することを含む。

3 著者による校正は初校のみとし、再校以後は編集委員会事務局が行うものとする。

(別刷の取り扱い及び掲載誌の贈呈)

第8条 著者には著作が掲載された号の紀要を5部贈呈する。

2 別刷が必要なときは、投稿時に編集委員会事務局あて必要部数を通知するものとし、別刷の作成に必要な経費は著者が負担する。

(委任)

第9条 この規程に定めるもののほか必要な事項は、松戸市立博物館長が別に定める。

附 則

この規定は、平成23年10月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年6月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

図1(用紙規格 J I S A 5)

投稿票

氏 名	
タイトル	
投稿区分	
原稿枚数(400字詰 原稿用紙換算)	

松戸市立博物館紀要編集委員会規程

(目的)

第1条 この規程は、松戸市立博物館紀要編集委員会(以下「編集委員会」という。)の設置に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(所掌事務)

第2条 編集委員会は、次の各号に掲げる事項について調査審議するものとする。

- (1) 松戸市立博物館紀要に投稿された原稿の掲載の可否に関すること。
- (2) その他松戸市立博物館紀要の編集・発行に関し必要な事項

(構成)

第3条 編集委員会の委員は、学識経験を有する者及び関係機関の職員のうちから2名以上の者を松戸市立博物館長(以下「館長」という。)が指名する。

2 編集委員会の委員長は、館長をもってあてる。

(会議)

第4条 編集委員会の会議は委員長が招集し、自ら議長となる。

(意見の聴取)

第5条 編集委員会は、会議に編集委員以外の者

の出席を求め、意見又は説明を聴くことができる。

(庶務)

第6条 編集委員会の庶務は、松戸市立博物館において処理する。

(委任)

第7条 この規程に定めるもののほか必要な事項は、松戸市立博物館長が別に定める。

附 則

この規程は、平成23年10月1日から施行する。

松戸市立博物館紀要査読規程

(目的)

第1条 この規程は、松戸市立博物館紀要(以下「紀要」という。)に投稿された原稿の査読に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(査読)

第2条 松戸市立博物館紀要編集委員会(以下「編集委員会」という。)は、紀要に投稿された論文、研究ノート及び資料紹介(以下「論文等」という。)について査読を行い、その結果を投稿者に通知するものとする。

2 編集委員会は、必要に応じて編集委員以外の者に査読を依頼することができる。

(査読方法)

第3条 編集委員会は、査読対象の論文等に関し、別表1に掲げる事項について評価を行う。

(判定)

第4条 編集委員会は、前条の評価に基づいて別表2に掲げる4段階の判定を行う。

2 前項の判定は、編集委員の過半数の賛成によって行うものとする。

(委任)

第5条 この規程に定めるもののほか必要な事項は、松戸市立博物館長が別に定める。

附 則

この規程は、平成23年10月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年6月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

別表1

1 形式

- (1) 表題・副題の適切さ
- (2) 章・節等の全体構成の適切さ
- (3) 原稿枚数の適切さ
- (4) 投稿区分の妥当性

2 内容

- (1) 素材及び資料の妥当性、提示方法
- (2) 論理展開の明確さ
- (3) 内容の正確さ、完成度
- (4) 結論の提示方法

3 図表等

- (1) 図表の必要性
- (2) 図表の作成、説明の適切さ

4 文献

- (1) 参照文献の妥当性、引用の適切さ

5 表現

- (1) 文章の表現力、読みやすさ

別表2

1 掲載可(再審査不要)

- (1) このままで掲載可
- (2) 指摘箇所訂正後に可

2 修正後再審査

- (1) 書き直し後に再審査
- (2) 投稿区分の変更を必要とする

3 掲載否

- (1) 既発表部分が多い
- (2) 「松戸市立博物館紀要」として不適當
- (3) 内容不可

4 判定不能

- (1) 一部他分野の専門家の判断を必要とする
- (2) その他

職員名簿（令和5年4月1日現在）

館長（非常勤）	渡辺 尚志
次長	染野 寿郎
館長補佐	加藤 尚美
主事	齋藤 美伽
主査・学芸員	富澤 達三
主査・学芸員	藤原 哲
主任主事・学芸員	西村 広経
主事・学芸員	林 幸太郎
再任用・学芸員	山田 尚彦
再任用・学芸員	中山 文人
再任用・学芸員	青木 俊也

人事異動

〈令和6年3月31日〉

退職：再任用・学芸員 山田 尚彦

松戸市立博物館年報 第31号

発行日 令和6年9月13日

編集・発行 松戸市立博物館

〒270-2252

千葉県松戸市千駄堀671番地

電話番号 047-384-8181（代表）

https://www.city.matsudo.chiba.jp/m_muse/

印刷 株式会社 弘文社

